

協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書
(令和4年度実績)

令和5年9月

仙 台 市

目 次

I	はじめに	1	頁
II	基本施策に関する事業	2	頁
	1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項	3	頁
	2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項	11	頁
	3 多様な主体による活動の促進に関する事項	16	頁
III	市民協働事業	35	頁

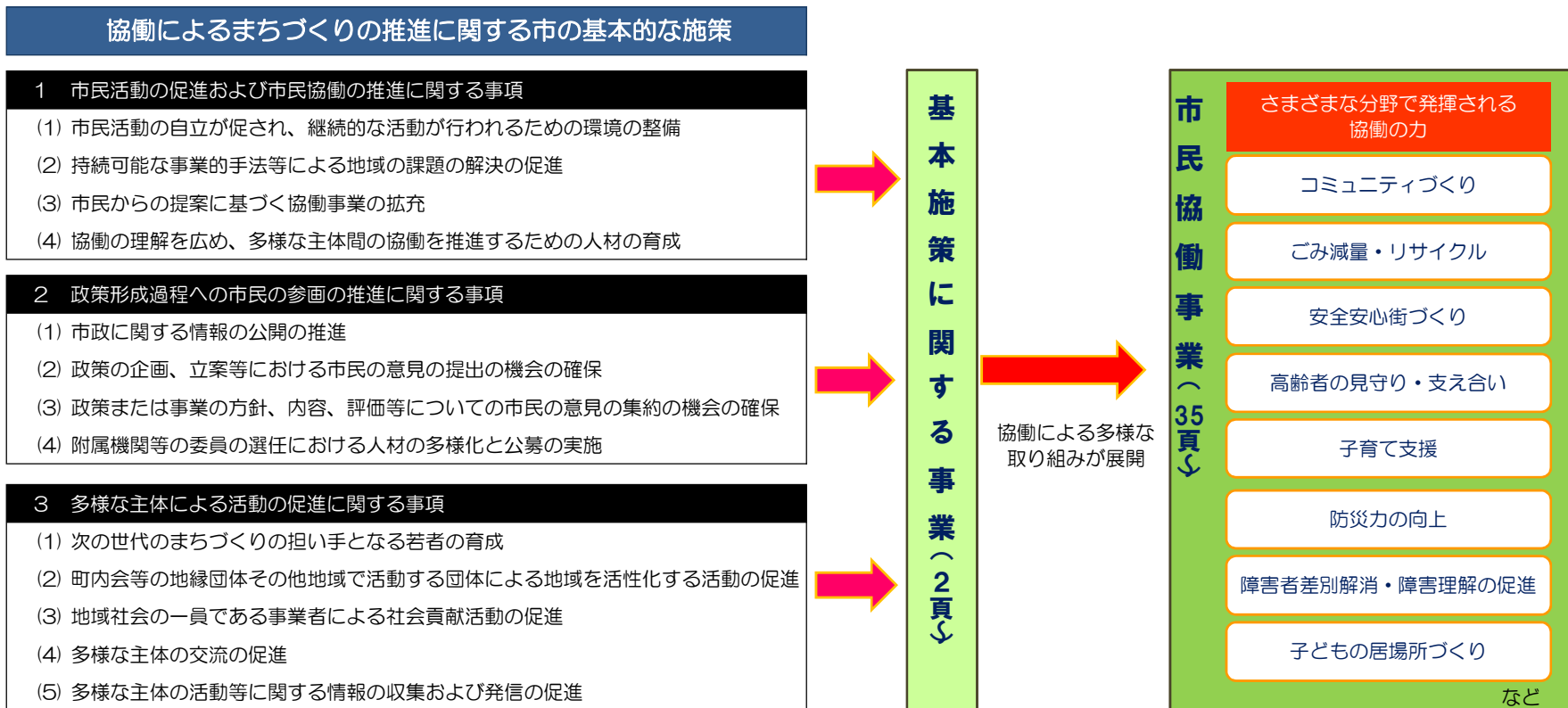
I はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」(以下「条例」という。)は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条[※]に基づき、令和4年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条…市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。

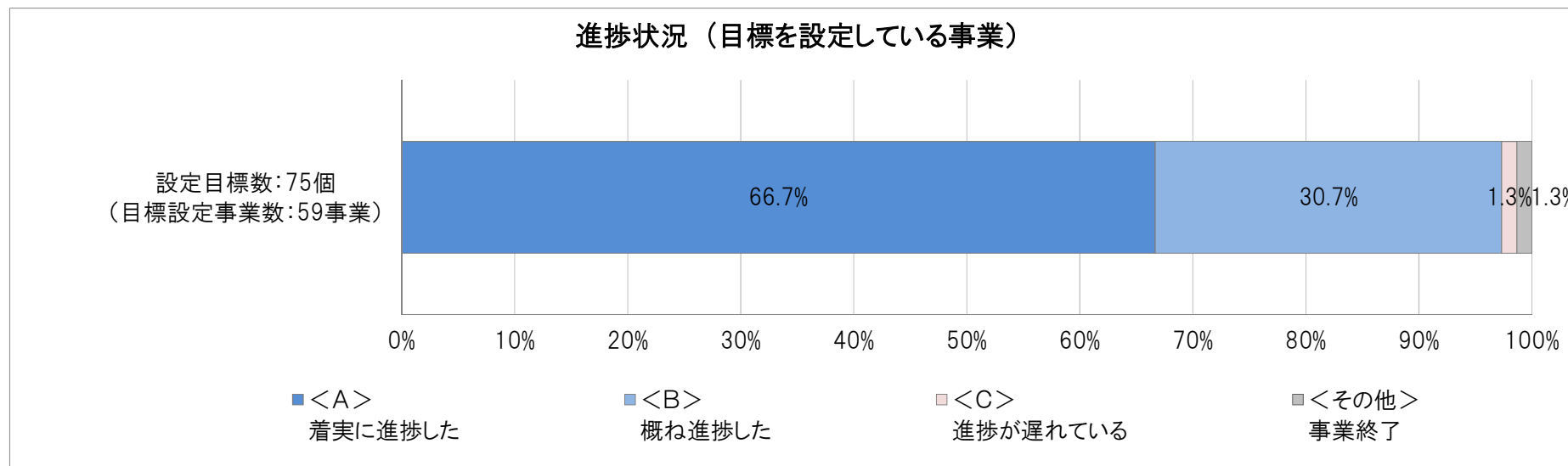


II 基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】

基本施策に関する事業として「仙台市協働まちづくり推進プラン2021(計画期間:令和3年度～令和7年度)」に掲載している89事業のうち、59事業について計75個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。



	<A> 着実に進捗した	 概ね進捗した	<C> 進捗が遅れている	<その他> 事業終了
全体：設定目標数75個(59事業)	50 (66.7%)	23 (30.7%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)
・市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項 分野1: 設定目標数21個(18事業)	13 (61.9%)	6 (28.5%)	1 (4.8%)	1 (4.8%)
・政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項 分野2: 設定目標数10個(8事業)	6 (60.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
・多様な主体による活動の促進に関する事項 分野3: 設定目標数44個(33事業)	31 (70.5%)	13 (29.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

基本施策に関する事業（令和4年度実績）

※特に記載のない場合は、令和5年3月31日時点の数値です。

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項							
<p>各拠点施設において活動場所の提供や研修・相談を実施したほか、専門家の派遣による助言や情報提供を行うなど、市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。また、事業的手法等により地域課題解決やまちの魅力の向上に資する取り組みを進めたほか、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動への助成や、市民からの提案に基づく協働事業を通して、協働の取り組みを推進しました。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、各種研修等を行い、多様な主体間の協働を推進するための人材育成に取り組みました。</p>							
(1) 市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備							
①	市民活動サポートセンターにおける市民活動支援	市民活動の拠点施設である市民活動サポートセンターにおいて、活動の場の提供や、市民活動や協働に関する情報収集・提供、相談対応などを継続的に行う。また、ウィズコロナを踏まえた新たな取り組みを支援するなど、社会情勢の変化に応じて、市民活動団体などに必要とされる情報提供や伴走支援を実施する。	利用団体数を毎年度720団体以上とする。	市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関誌の発行や市民活動・協働に関する展示の実施、動画コンテンツなどを活用した情報提供を行ったほか、継続的な相談対応による伴走支援を実施し、協働によるまちづくりの推進を図った。 利用団体数:511団体 ※「利用」について貸室の利用に加え、相談対応等も含めれば、997団体	B	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には届かなかったものの、相談対応等を通して、市民活動の促進に向けた支援を継続的に実施した。今後も市民活動や多様な主体による協働の拠点施設として、情報発信や交流機会の創出などにさらに取り組んでいく。	市民局 市民協働推進課
②	地域協働サポートプログラム	まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、住民や多様な主体が行う地域課題解決の取り組みや、区役所・総合支所と地域が協働し進める事業への支援を行う。	毎年度1つ以上の地域に対して伴走支援を行う。	2つの地域団体に対して、まちづくり活動に関する専門的人材（コーディネーター）を派遣し、それぞれの地域の実情に合わせた伴走支援を行った。	A	着実に進捗した。引き続き、本事業を通して、区役所・総合支所や地域などの多様な主体による地域課題解決に向けた協働の取り組みを支援していく。	市民局 地域政策課
③	地域課題解決プロボノ活用	活動や組織運営上の課題を抱える地域団体や市民活動団体に、一定の専門性やスキル、経験等を持ち社会貢献活動に取り組みたいと考える市民（プロボノ）が関わり、協働で課題解決に取り組む仕組みをつくる。	毎年度1つ以上の地域や団体を対象に実施する。	地域団体や市民活動団体とプロボノとの協働の仕組みづくりの検討に向けて、中間支援組織やプロボノを受け入れた経験がある団体等との意見交換やヒアリングなどを行った。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域団体等とプロボノとの協働による課題解決の取り組みは実施できなかったものの、関連団体との意見交換やヒアリング等を実施し、地域団体等とプロボノが協働で課題解決に取り組む仕組みづくりについて検討を進めた。市民活動が継続的に行われるための環境づくりに向けて、引き続き取り組んでいく。	市民局 市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
④	男女共同参画推進センターにおける各種支援等	男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。	毎年度男女共同参画推進フォーラムを開催し、令和7年度までの5年間における延べ参加団体数を180団体以上とする。	市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。 エル・パーク仙台利用者数(市民活動スペース):5,486人 エル・ソーラ仙台利用者数(市民交流・図書資料スペース):19,403人 フォーラム参加団体数:単年度実績41件、延べ参加団体数80件	A	目標に沿う水準で着実に進捗した。オンライン企画を取り入れるなどの工夫を施し、目標としていた単年度平均36団体を上回る参加となった。引き続き、多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。	市民局 男女共同参画課
⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供や相談対応を行い、活動の機運醸成を図る。	ボランティアセンターへの登録団体数を、令和7年度までに既存登録団体数754団体(令和2年12月1日時点)の20%増とする。(905団体)	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数:6講座 延べボランティア育成講座受講者数:130人 ボランティア登録団体数:616団体(新規登録103団体)	B	コロナ禍による影響はあったものの、目標に沿う水準で概ね進捗した。年度当初はコロナ禍で活動を中止している団体があるため登録団体数は減少したが、年度内に活動を始めた団体が増え、最終的には、昨年度より増加した。コロナ禍におけるボランティア活動の取り組み方を受け入れ先と共に考え、コーディネートをし、地域課題解決につながるよう、引き続き取り組んでいく。	健康福祉局 社会課
⑥	コロナ禍における文化芸術支援	①コロナ禍に対応した文化芸術未来プロジェクト助成事業 地域の芸術家や市民団体、民間施設等から、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた文化芸術環境モデルとなる企画や事業を公募し、試行・推進するための助成を行う。	コロナ禍における先進的な事業に対して助成を行う(15件程度)。	文化芸術活動の実績がある市内の個人・団体が主体となって実施する、以下の事業に対して経費を助成した。 ・文化芸術の力を活用して社会課題に向き合う協働事業 ・地域の文化芸術活動の基盤をつくる事業 ・大きな波及力をもつアートプロジェクト型事業 助成件数:17件	A	着実に進捗した。引き続き、文化芸術の力を活用した社会課題の解決に資する取り組みなど、公益性の高い文化芸術活動を支援していく。	文化観光局 文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] コロナ禍における文化芸術支援	②安全・安心な文化活動のための協働・支援事業 芸術家・文化芸術団体、舞台技術者、行政等の対話の場やネットワークを形成し、文化芸術活動の再興に向けた協働基盤づくりを推進する。また、文化活動に携わる市民団体が、コロナ禍においても活動を行えるように、専門家の助言などの支援の充実を図る。	—	令和3年度に事業終了。文化芸術活動における感染症対策のノウハウの共有等、当初の目的を達成したため、令和4年度以降は実施しないこととした。	—	—	文化観光局 文化振興課
		③多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の縮小や停止を余儀なくされている地域の文化芸術関係者の活動継続を支援するため、動画配信など多様なメディアを活用して市民に文化芸術を届ける創造的な活動に対し助成を行う。	多様なメディアを活用した文化芸術活動に対して助成を行う(200件程度)。	令和3年度に事業終了。当初、コロナ禍での動画配信などの多様なメディアを活用した事業を想定していたが、令和3年11月に会場収容率100%でのイベント開催が認められるなど、イベント開催時の制限が大幅に緩和されたことから、本市の文化振興に大きく寄与する活動の通常形での再開を後押しするため、事業見直しを行った。	—	—	文化観光局 文化振興課
⑦	まちづくり支援専門家派遣事業	市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	令和3年度～7年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 令和4年度派遣地区:9地区 令和3年度からの単年度平均:8.5地区	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標地区数には達しなかったものの、庁内説明会の実施や制度概要の周知を図るための市政出前講座を実施した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。	都市整備局 都市計画課
⑧	地域診断・課題発掘等支援	区役所・総合支所が地域と協働し、課題の発掘や整理等を行うにあたり、それぞれの実情や必要性に応じ、勉強会の開催や先進事例の視察を行うなど、機動的な取り組みを行う。	—	区役所・総合支所において、地域との協働によって地域課題の把握やその解決に向けた取り組みを実施した。 【青葉区】 町内会デジタル化推進等 【宮城野区】 みやぎの地域づくり支援 【若林区】 若林まちみがき推進 【太白区】 生出地区活性化支援等 【秋保総合支所】 秋保地区交流人口拡大 【泉区】 長命ヶ丘地域のまちづくり活動支援	—	予定通り取り組みを進めた。様々な形で区役所・総合支所が地域に入って課題の発掘や整理を実施した。引き続き、地域と協働しながら、それぞれの実情等に応じて取り組みを進める。	各区 まちづくり推進課 各区 地域力推進担当 宮城総合支所 地域活性化推進室 秋保総合支所 総務課 市民局 地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
(2) 持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進							
①	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	社会起業家への個別集中支援プログラムを実施し、当該分野特有の起業知識の修得や起業事例に触れる機会を提供するほか、起業支援センター「アシスタ」において、地域社会の課題解決を目指す起業に関する相談を受け付けるなど、市民活動サポートセンターとも連携し、起業の構想段階から開業後のフォローアップに至るまでの様々な支援を行う。	令和3年度～7年度に、社会起業家を毎年度10人以上輩出する。	<p>起業支援センター「アシスタ」、起業支援施設「INTILAQ東北イノベーションセンター」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントを実施したほか、市民活動サポートセンターと連携して「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「Social Impact Accelerator」を実施し、社会起業家を輩出した。</p> <p>輩出した社会起業家数：12人 トークイベントの実施数：9回(354人参加) 起業・創業なんでも相談DAY：12回(延べ399人参加)</p>	A	着実に進捗した。今後も継続して社会起業家への個別集中支援プログラムを実施するとともに、起業支援施設等と連携したイベントを開催するなどし、相談機会の提供に取り組む。	経済局 スタートアップ支援課 (産業振興課)
②	ストック活用型都市再生推進事業(せんだいリノベーションまちづくり)	都心のスモールエリアや地下鉄沿線のエリアなどで、低未利用地の不動産オーナーなどの協力を得ながら、民間による遊休不動産のリノベーション事業を推進することで、民間による新たなローカルコンテンツの創出を支援する。 また、上記エリアやその周辺エリアにおいて、事業者による公共空間でのにぎわいづくりに資する利活用事業が日常的に実施できるよう支援する。	令和5年度までに、民間による遊休不動産のリノベーション事業を3件実施できるよう支援する。	<p>せんだいリノベーションまちづくり実行委員会のメンバーが、定禅寺通沿道に所有する民間ビルの一部を「IDOBA」にリノベーションした。また、同メンバーが、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使ったイベントを行った。(2件)</p> <p>民間遊休不動産リノベーション事業：1件 (令和3年度からの累計件数：2件)</p> <p>【その他支援状況】 セミナー等の開催数：0回(平成28年度からの回数：計8回(市3回、民間5回)) 公共空間等イベント件数：2件</p>	A	遊休不動産リノベーションを1件、公共空間利活用を2件実施するなど目標に沿う水準で着実に進捗した。今後も、利活用事業の日常化、新たなローカルコンテンツの創出に向けた支援を継続する。	都市整備局 都心まちづくり課 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課
③	まち再生・まち育て活動支援事業	地元住民や事業者などが中心となったエリアマネジメントの取り組みを継続的に実施できるよう、都市再生推進法人を目指すまちづくり団体の組織構築や体制強化を支援する。また、様々な制度の活用も視野に入れながら、公共空間などにおけるにぎわいを創出するイベントの開催や、質の高い空間形成のための維持管理の活動を支援する。	令和5年度までに、都市再生特別措置法に基づく都市再生推進法人を目指す「仙台市都市再生まちづくり団体」として、3件の認定を行う。	<p>仙台市都市再生まちづくり団体の認定：0件 (令和3年度からの累計件数：1件)</p> <p>【その他支援状況】 仙台駅東まちづくり協議会の社会実験や活動支援：1件(認定済) 青葉通まちづくり協議会の社会実験や活動支援：1件 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会の社会実験や活動支援：1件 一般社団法人荒井タウンマネジメントの活動支援：1件(都市再生推進法人指定済) 八木山地区まちづくり研究会の活動支援：1件 泉中央駅前地区活性化協議会の活動支援：1件</p>	B	令和4年度の仙台市都市再生まちづくり団体認定の実績は0件だったが、令和3年度からの累計件数は1件であり、目標に沿う水準で概ね進捗している。また、まちづくり協議会が実施する社会実験を3件、活動支援を6件実施しており、今後もエリアマネジメント体制の構築やにぎわい創出に向けた支援を継続する。	都市整備局 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課 都心まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
④	まちなかウォークブル推進事業	<p>都心において、多様な人々の出会いや交流が生まれる人中心の都市空間へと転換していくため、居心地が良く巡り歩きたくなるようなウォークブルなまちなか空間の形成を推進する。</p> <p>道路や公園において、まちなかウォークブルに関する改修や再構成を実施するとともに、人々の滞在環境を向上させる空間づくりに関するデザイン検討や社会実験などを実施する。</p> <p>また、まちなかウォークブル区域内の民間事業者による、公共空間と一体的に人々の滞在快適性を向上させる空間整備やイベントなどの事業の実施を支援するとともに、まちづくり活動に取り組む民間事業者などによる、道路や公園の占用特例制度の活用を推進する。</p>	令和5年度までに、民間による公共空間での社会実験の延べ実施日数を30日以上できるように支援する。	<p>地域住民等が主体になって取り組む公共空間を活用した社会実験やイベント等の取り組みを支援した。</p> <p>計1,346日</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉通の利活用を検証する社会実験(2日) ・宮城野通における多様なモビリティの社会実験等(365日)および榴岡公園での新たなぎわいの創出とサービス向上を図る社会実験(241日) ・肴町公園における小規模拠点整備社会実験(363日)および晩翠通等におけるテラス席の設置(365日) ・定禅寺通等でのマルシェ等(10日) 	A	<p>目標を上回る水準で着実に進捗した。社会実験、イベント、テラス席の設置など、回遊性の向上やにぎわいの創出に資する取り組みを各地区合計1,346日実施した。今後も、さらに公共空間の滞在快適性の向上に資する事業の実施を支援していく。</p>	都市整備局 都心まちづくり課
(3) 市民からの提案に基づく協働事業の拡充							
①	クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進事業	<p>複雑・多様化する行政・地域課題の解決に当たり、民間企業等が提案しやすい環境づくりや、近未来技術の実証実験に係る手続きの煩雑さ解消のため、連携窓口「クロス・センダイ・ラボ」により提案等を一元的に受け付け、実現に向けた各種調整を行うことで、課題解決による市民サービスの向上や実証実験の促進を図る。</p>	—	<p>令和4年度は、窓口で受け付けた案件から連携事業9件、実証実験2件が実現した。</p> <p>また、連携事業のうち、仙台市が費用を一部負担する「課題設定型実証公募」(令和4年3月から開始)では、1件の連携が実現した。</p>	—	<p>着実に取り組みを進めた。引き続き「課題設定型公募」を推進するため、庁内ニーズの把握と課題の掘り下げに取り組む。</p>	まちづくり政策局 プロジェクト推進課
②	市民協働事業提案制度	<p>市民活動団体や地域団体、企業等から地域の課題解決や魅力向上に資する事業の提案を募集し、提案団体と市の関係部局の協働により、多様な主体が持つ専門性を生かした事業を実施する。</p>	毎年度4件以上の協働事業を実施する。	<p>令和4年度に実施した協働事業の件数は、令和3年度に事業提案の募集・審査を経て採択した事業が1件だったため、実施事業件数も1件となった。</p> <p>また、令和4年度は、実施中の協働事業の中間報告会をオンラインで開催し、報告資料をホームページで公開するとともに、令和5年度に実施する協働事業の提案募集に際しては、募集要項の改良や周知広報の工夫、事前相談等における提案内容の磨き上げの支援などに努めた。(令和5年度に実施する協働事業は5件採択)</p>	C	<p>令和4年度の実施事業件数は目標には達しなかったが、市民活動団体等からの事業提案を促し、多様な主体が持つ専門性を生かした協働事業の実施につなげられるよう、引き続き、本制度の周知広報や市民活動サポートセンターと連携した提案内容の磨き上げの支援などに努めている。</p>	市民局 市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
③	ユースチャレンジ！ コラボプロジェクト(若 者版・市民協働事業 提案制度)	若者にとって身近なまちづくりについて、若 者団体から事業提案を募集し、市と協働で 取り組むことにより、若者のアイデアを市の施 策に取り入れ若者の発想を生かしたまちづく りを推進する。	毎年度3件の協働事業を実 施する。	若者団体から身近なまちづくりに取り組む事 業の提案を募集・採択し、若者の視点・アイ デアを生かした事業を若者団体と協働で取り 組んだ。 実施事業件数:7件	A	着実に進捗した。引き続き、若 者への周知広報に工夫を図りな がら、若者の発想を生かしたまち づくりを推進していく。	市民局 市民協働推進 課
④	地域づくりパートナー プロジェクト推進助成 事業	地域の実情やまちづくりの各段階に応じ、課 題の現状分析・調査や、複数団体が連携・ 協働で行う取り組みなどに対して、必要な経 費を助成する。 i 課題調査検証助成 調査や課題整理等を行うための経費を助 成する。 ii 協働実践助成 複数団体の協働による課題解決に資する 取り組みに対して経費を助成する。 iii ソーシャルビジネス的手法による地域づくり 促進助成 事業者と地域団体の協働により、民間事業 の手法やノウハウを活用して行う地域課題解 決の取り組みに対して経費を助成する。	毎年度 i ~ iii あわせて6件 以上の助成を実施する。	社会や地域の課題解決に向けて、より効果 的な取り組みにつなげるための現状分析・調 査や、複数の団体が協働で課題解決を図る 取り組み、民間事業の手法やノウハウを生か した取り組みに対して、必要な経費を助成し た。 助成件数:8件 【内訳】 i 課題調査検証助成:2件 ii 協働実践助成:4件 iii ソーシャルビジネス的手法による 地域づくり促進助成:2件	A	着実に進捗した。引き続き、多 様な主体が連携・協働しながら 課題解決に取り組むまちづくりを 推進していく。	市民局 市民協働推進 課
(4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成							
①	ともにまちづくりを行う 職員の育成	①地域づくり職員研修 地域づくりに携わる職員を対象に研修を実 施し、担当職員の意識啓発やスキルアップを 図る。	—	新任まちづくり職員研修参加者数:32人 地域づくり担当職員研修参加者数:31人	—	予定通り取り組みを進めた。新 任まちづくり職員研修は引き続き 実施しながらも開催形式は検討 中である。地域づくり担当職員研 修は、引き続きケーススタディや ワークショップを実施し、実践的 な研修内容となるよう努めてい く。	市民局 地域政策課
		②協働推進人材育成事業 市職員をNPO等に派遣し、実体験を通じて 市民活動や協働に関する理解を深める研修 (NPO留学)などを実施し、多様な主体と連携 や調整を行う能力の向上を図る。	—	職員の派遣先団体と調整を行ったうえで参 加職員の庁内募集を行ったが、その後の新 型コロナウイルス感染症拡大の影響により、 職員の派遣は中止した。	—	新型コロナウイルス感染症の影 響により事業を中止したが、引き 続き、市民活動や協働の理解を 深める研修などを通して、多様な 主体間の連携を図り、協働による まちづくりを担う職員の育成に努 めていく。	市民局 市民協働推進 課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
②	市民活動サポートセンターにおける協働推進人材育成	市民活動サポートセンターにおいて、より多くの市民に協働の理解を広げられるよう、協働事例や協働のノウハウを紹介する企画を実施するほか、活動段階に応じたテーマ別の講座の開催や協働の実践者との連携による伴走支援等を行う。	協働の理解促進や機会創出に資する事業を、毎年度2事業以上実施する。	より多くの市民に協働に対する理解促進を着実に広げ、市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、動画配信による協働の基礎知識を伝える講座や、協働事例を紹介する企画を実施した。また、事業実施後のフォローアップとして参加者への聞き取りを実施し、関係機関とも連携しながら伴走支援を行った。 実施事業数:5事業	A	コロナ禍においても動画やオンラインを活用した事業を実施し、着実に進捗した。引き続き協働の理解促進や機会創出に取り組む。	市民局 市民協働推進課
③	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。 CSWのスキルアップを図り、市内各地域における地域住民主体の支えあい・助けあい体制づくりのための支援を行う。	CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、市内各地における地域住民主体の支えあい・助けあい体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。 CSW実践者研修会開催数:3回	A	着実に進捗した。今後も地域住民主体の体制づくりを進められるよう、関係機関と連携して支援を行う。	健康福祉局 社会課
④	地域包括支援センター運営事業(機能強化事業)	地域包括ケアシステムにおいて地域住民や関係機関とのネットワークづくりや地域資源の創出等に取り組む生活支援コーディネーターの資質向上を図り、地域の支えあい体制づくりを推進する。	生活支援コーディネーター向けの研修等を年2回以上開催する。	地域の生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを推進するために、必要な知識・技能等の習得を目的とした研修や情報交換会を行った。 開催数:3回 【内訳】 生活支援コーディネーター対象の研修:1回(受講者数:76人) 生活支援コーディネーターの情報交換会:2回(延べ参加者数:127人)	A	着実に進捗した。コーディネーターの資質向上や地域の支え合いづくり推進に資するよう、引き続き研修等を開催していく。	健康福祉局 地域包括ケア推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑤	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となる行う市民相互の育児援助活動であり、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を担うサプリーダーが中心となり、子育て負担の軽減や身近な地域の子育て支援の充実を図る。	—	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。 登録会員数 利用会員:2,499人 協力会員:447人 両方会員:101人 計:3,047人 サプリーダー:9人 活動回数:8,721回	—	感染症対策を講じながら入会説明会や講習会等を実施し、概ね予定通り取り組みを進めた。一方、利用会員の数に対して協力会員の数が少なく、また地域の偏りがあるため、その確保が課題となっているほか、複雑な援助や事例に対する対応のフォローなどが難しくなっている。今後とも、会員数の安定確保や、必要とする援助への適切な対応に努める。	こども若者局 総務課 (子供未来局 総務課)
⑥	市民センターにおける地域づくり支援	①住民参画・問題解決型学習推進事業 各区中央市民センターのコーディネートのもと、住民と市民センターの協働により地域課題を発見し、その課題解決への取り組みを学び、実践する事業を実施する。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	事業数:22 参加者数:333人 新規参加者数:45人 新規参加者の割合:1.3割	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標の2割には届かなかったものの、市民の興味関心を喚起する事例集「まなびのカタチ」の作成や、次年度に向けた事業内容の見直しに取り組んだ。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	教育局 生涯学習支援センター
		②子ども参画型社会創造支援事業 小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業を実施する。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	事業数:13 参加者数:267人 新規参加者数:172人 新規参加者の割合:6.4割	A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	教育局 生涯学習支援センター
		③若者社会参画型学習推進事業 若者が地域づくり活動への参加やさまざまな人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施する。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	事業数:5 講座数:84 参加者数:70人 新規参加者数:46人 新規参加者の割合:6.5割	A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	教育局 生涯学習支援センター

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項							
市ホームページの充実に加え、SNSやオープンデータの活用により、市政に関する情報公開を推進しました。また、各種計画等策定過程におけるパブリックコメントや市民参画イベント等をオンラインも併用しながら実施したことにより、多様な立場の市民意見の提出・集約の機会の確保に取り組みました。							
(1) 市政に関する情報の公開の推進							
①	多様なメディアの活用による市政情報の発信	市民に対してタイムリーでわかりやすい市政情報を伝えるため、市政だよりや市ホームページのほか、FacebookやLINE、YouTubeなどのソーシャルメディアを活用した情報発信を行う。また、効果的な広報を行うため、職員を対象とした研修を実施する。	ホームページの新規公開数と更新数合算を毎年度23,000件以上とする。(参考:令和元年度実績 22,721件)	市政だよりや市ホームページ、SNSなど多様なメディアを活用した情報発信を行った。また、効果的な広報を行うため、職員向けに、ホームページのCMS操作研修、ウェブアクセシビリティ研修、しっかりと伝わる広報研修、動画制作研修、動画制作個別相談会を実施したほか、階層別研修(課長Ⅱ部、係長Ⅱ部、5年目職員)において政策広報の研修を実施した。 令和4年度ホームページ新規公開件数: 4,885件 令和4年度ホームページ更新件数: 26,321件 令和4年度上記合算件数: 31,206件	A	着実に進捗した。ホームページの新規公開、更新件数は数値目標を達成し着実に進捗した。今後も、引き続き各種研修を実施し、効果的な広報を呼び掛けていく。	総務局 広報課
②	公文書館整備	保存期間が経過した公文書から歴史資料として重要な公文書を選別・保存し、広く市民に公開するため、旧貝森小学校校舎を公文書館に改修するとともに、収集資料を検索するためのシステムを構築し、開館と同時に供用できるよう整備する。また、公文書館事業を周知啓発するため、展示企画の検討を行う。	令和3年度 旧貝森小学校校舎改修工事竣工、収集資料検索システム構築 令和4年度 開館	6月:収集資料検索システムの構築終了 7月:令和4年3月の地震による被害に対する修繕工事が竣工 8月:収集資料の燻蒸実施 11月:公文書館設置準備室の事務室を公文書館予定施設内に移転 12月:収集資料検索システムへの登録作業開始、展示企画検討・展示品制作開始	B	地震による被害が発生し修繕工事の必要が生じたものの、当該修繕工事を含めハード面での整備はほぼ終了させることができた。 令和5年7月3日の開館に向け、館内展示の制作・掲出を行うとともに、公文書館の運営体制を整えていく。	総務局 文書法制課
③	オープンデータの利活用推進	「仙台市オープンデータ推進に関する方針」に基づき、各課が保有する行政情報のさらなるオープンデータ化を進める。また、オープンデータの利活用を推進するため、市ホームページ等を通じて普及・啓発を行っていく。	—	県内自治体で運営するオープンデータポータルサイトを宮城県と共に検討し、開設した。(宮城県) 仙台市オープンデータカタログ登録件数: 291件(令和4年度末時点) (対前年比+26件)	—	予定通りオープンデータの利活用に関する取り組みを進めた。引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。	まちづくり政策局 まちのデジタル推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
④	地域情報ファイルの活用推進	人口・地域団体・施設等の情報を小学校区単位で「地域情報ファイル」としてまとめ、市ホームページ等で公表することにより地域情報の提供を行う。	—	「地域情報ファイル」を市のホームページ等で公表した。また、市民等からの問い合わせに応じ、随時データを提供した。	—	予定通り取り組みを進めた。今後も必要に応じて情報の更新を検討する。	市民局 地域政策課
(2) 政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保							
①	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。「定禅寺通活性化検討会」(地元関係者を中心に構成)において、具体的な取り組みの検討を進める。	—	道路空間の再整備と公共空間を活用した官民連携の取り組みにより、定禅寺通エリアの魅力高め、都心全体の回遊性向上と活性化を図ることを目的とする「定禅寺通再整備方針」の取りまとめに向けた検討を推進し、3月に策定した。 公共空間利活用の取り組み(LIVING STREET PROJECT、イナトラほろ酔い縁日、ストリートアライアンス・ストリートショップ社会実験など)を実施した。 定禅寺通活性化推進事業や定禅寺通エリアのまちづくりについてお知らせするニュースレターを4回発行した。	—	定禅寺通再整備方針を策定するとともに、地域活動主体等による公共空間活用の実践支援、広報紙を4回発行するなど、着実に取り組みを進めた。今後も、定禅寺通再整備を進めるとともに、地域活動主体等による道路空間利活用への支援や地域課題解決に向けた事業の推進に取り組む。	都市整備局 都心まちづくり課 建設局 道路計画課 公園管理課 (まちづくり政策局 定禅寺通活性化室)
②	市役所本庁舎建替事業	市役所本庁舎の建替に伴い、市民広場との一体的利活用に向け、新庁舎低層部の事業可能性調査を実施するとともに、新庁舎低層部検討の進捗に合わせ、公開型のシンポジウムを開催するほか、本体設計・施工の進捗に合わせ、市民向け説明会を開催する。	—	仙台市本庁舎建替基本設計書および仙台市役所新本庁舎低層部等公民連携検討会の検討結果について、市民に広く周知するために説明会を2日間にわたり開催した。 市民説明会参加者数(2日間合計):82人 ライブ配信視聴者数(2日間合計):117人	—	予定通り取り組みを進めた。今後は建替事業の進捗に合わせ、市民向け説明会等を適宜行っていく。	財政局 本庁舎整備室
③	パブリックコメントの実施	基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する市の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。	—	パブリックコメント実施件数:18件 (1件当たりの平均意見数:31件)	—	予定通り取り組みを進めた。今後も幅広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。	市民局 広聴課
④	市政モニターによる意見募集	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎資料として活用する。	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱数:200人 アンケート調査の実施数:8回 平均回答率:93.2%	A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	市民局 広聴課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑤	市民の声制度	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	—	市長への手紙 : 875件 インターネット広聴等 : 2,930件 要望・陳情書 : 1,294件 電話・来庁(市政相談):1,059件 (一般相談):2,441件	—	予定通り取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	市民局 広聴課
⑥	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。					
		①「ココロン・カフェ」、「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい共生社会を目指して、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」では、障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、学生向けワークショップ「ココロン・スクール」では、中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換を行う。	ココロン・スクールを毎年度6回実施する。	「ココロン・スクール」 実施回数:0回 「ココロン・カフェ」 実施回数:2回 参加者数:63人(通訳、介助者、事務局職員を除く) 障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を開催した。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、各学校からの申込みがなく「ココロン・スクール」の開催は見送ったが、障害者と市民との意見交換やワークショップの場として「ココロン・カフェ」を開催した。 若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働き掛けていく。	健康福祉局 障害企画課
		②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」について、研修や庁内広報を通じた周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	毎年度、新規採用職員研修、管理職向け研修、窓口等職員向け研修を実施する。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。また、管理職・窓口等職員を含む全職員を対象に書面研修を実施した。 新規採用職員研修受講者数:329人	A	着実に進捗した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容を変更した研修もあったが、昨年度に引き続き、書面により全職員に対して研修を実施することができた。 今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。	健康福祉局 障害企画課
⑦	音楽ホール整備検討における市民との対話	楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、検討を進める。また、音楽ホールを身近に感じてもらうため、市民向けシンポジウム等を開催し、整備に向けた機運醸成を行う。	—	音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設である「(仮称)国際センター駅北地区複合施設」の基本構想策定に向け、有識者懇話会を設置するとともに、関係者ヒアリングやホームページでの意見募集などを行った。2月には関連シンポジウムを開催し、参加者数は約100人、オンライン配信の視聴者数は約330人であった。(令和4年度末時点)	—	着実に取り組みを進めた。令和5年4～5月にパブリックコメントを実施のうえ、夏頃までに基本構想を策定する。その後、基本計画策定に向けた検討を進める予定である。	文化観光局 青葉山エリア複合施設整備室 (文化振興課)

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑧	青葉山公園整備事業における仙臺緑彩館の利活用に関するワークショップの実施	公園センター地区の利活用について、青葉山地区をフィールドに活動する団体等にご協力いただきながら、何度も訪れたい場所にするためのプランづくりを目的に、ワークショップを開催する。	市民参加のワークショップを、年3回以上開催する。	指定管理者および青葉山地区をフィールドに活動する団体と次年度の仙臺緑彩館の運営開始に向け意見交換を3回実施した。(1～3月)	A	着実に進捗した。今後は指定管理者を中心に、より多くの関係団体とのワークショップの場を持つよう努める。	建設局 公園管理課 (公園整備課)
(3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保							
①	仙台市市民意識調査	基本計画に掲げるまちづくりの理念のもと、目指す都市の姿の実現に向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握するために、市民意識調査を実施し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の施策の推進を図る。	—	仙台市基本計画に掲げるチャレンジプロジェクトに対する本市の現状や、仙台市実施計画上の施策に関する市民へのアンケート調査を実施し、総合的な分析を行った。調査の有効性を確保するため、WEB回答の導入等を行い、回収率向上に取り組んだ。 調査対象:6,000人 有効回収率:51.9%	—	着実に取り組みを進めた。令和5年度も調査を実施し、評価の変化を分析する等し、施策の推進に生かしていく。	まちづくり政策局 政策企画課
②	まちづくりフォーラム	現在取り組んでいる施策について市民参画による評価・点検を行うため、重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。	—	市民参画による施策評価・点検とともに、市民意見を生かした施策の推進を図るため、参加者を公募したフォーラムを開催し、オンラインを併用したグループワークを行った。 参加者数:31人 なお、仙台市実施計画の進行管理の一環である企画趣旨を鑑み、仙台市市民意識調査結果を踏まえてグループワークのテーマ設定を行っている。	—	着実に取り組みを進めた。市民意見・提案をさらに施策に生かすことができるよう、テーマ設定やワークショップ形式について改善に取り組んでいく。	まちづくり政策局 政策企画課
③	市政モニターによる意見募集【再掲】	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎資料として活用する。	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱数:200人 アンケート調査の実施数:8回 平均回答率:93.2%	A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	市民局 広聴課
④	市民の声制度【再掲】	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	—	市長への手紙 : 875件 インターネット広聴等 : 2,930件 要望・陳情書 : 1,294件 電話・来庁(市政相談):1,059件 (一般相談):2,441件	—	予定通り取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	市民局 広聴課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑤	市民との対話の機会の確保	市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市長と市民との懇談会(市長とふれあいトーク)、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。	—	市長とふれあいトーク:7回 地域懇談会:39回 市政出前講座:85回	—	予定通り取り組みを進めた。今後も多様な団体との懇談を通して、直接市民との対話・交流する機会を確保することで、活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努めていく。	市民局 広聴課
⑥	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進【再掲】	施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。					
		①「ココロン・カフェ」、「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい共生社会を目指して、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」では、障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、学生向けワークショップ「ココロン・スクール」では、中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換を行う。	ココロン・スクールを毎年度6回実施する。	「ココロン・スクール」 実施回数:0回 「ココロン・カフェ」 実施回数:2回 参加者数:63人(通訳、介助者、事務局職員を除く) 障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・カフェ」を開催した。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、各学校からの申込みがなく「ココロン・スクール」の開催は見送ったが、障害者と市民との意見交換やワークショップの場として「ココロン・カフェ」を開催した。 若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働き掛けていく。	健康福祉局 障害企画課
		②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」について、研修や庁内広報を通じた周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	毎年度、新規採用職員研修、管理職向け研修、窓口等職員向け研修を実施する。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。また、管理職・窓口等職員を含む全職員を対象に書面研修を実施した。 新規採用職員研修受講者数:329人	A	着実に進捗した。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容を変更した研修もあったが、昨年度に引き続き、書面により全職員に対して研修を実施することができた。 今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。	健康福祉局 障害企画課
(4) 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施							
①	附属機関等の委員の選任における人材の多様化	附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。	—	情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。	—	予定通り取り組みを進めた。今後も長期および重複委嘱を避ける取り組みを継続する。	総務局 行政経営課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
②	附属機関等の委員の公募の推進	附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。	—	公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。 公募委員のいる附属機関等の数：12機関	—	予定通り取り組みを進めた。今後も引き続き公募委員のいる附属機関等の増加に努める。	総務局 行政経営課
③	附属機関等における女性委員の登用率の向上	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。	すべての附属機関等に女性委員が就任している状態にする。また、令和5年度末までに、女性委員の割合を40%以上とし、さらに向上を図る。	審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課への事前協議をより早い段階で行うよう運用を見直すなど、女性の積極的な登用促進に関する取り組みを強化した。 女性委員登用率：36.3%（令和4年度末時点） 女性委員の全くいない審議会（ゼロ審議会）数：2件	B	ゼロ審議会の件数に変化はなかったが、概ね進捗した。 登用率については、前年度より1.1ポイント上昇したが、ゼロ審議会は前年度に引き続き2件となっている。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。	市民局 男女共同参画課

3 多様な主体による活動の促進に関する事項

「仙台まちづくり若者ラボ」など、若者の社会参加を促進する事業の実施により、次の世代のまちづくりの担い手の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通して、町内会をはじめとした地域で活動する団体による地域活性化のための活動の促進を図りました。
また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を実施するとともに、各種イベントを通して、多様な主体の交流促進を図りました。さらに、協働の事例や支援制度等を総合的に案内する協働ナビゲーションサイトの更新頻度を高め、協働に関する理解を深める動画コンテンツを公開するなど、多様な主体の活動等に関する情報の収集・発信に取り組みました。

(1) 次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成

①	若者が活躍するまちづくり事業	①ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）【再掲】 若者にとって身近なまちづくりについて、若者団体から事業提案を募集し、市と協働で取り組むことにより、若者のアイデアを市の施策に取り入れ若者の発想を生かしたまちづくりを推進する。	毎年度3件の協働事業を実施する。	若者団体から身近なまちづくりに取り組む事業の提案を募集・採択し、若者の視点・アイデアを生かした事業を若者団体と協働で取り組んだ。 実施事業件数：7件	A	着実に進捗した。引き続き、若者への周知広報に工夫を図りながら、若者の発想を生かしたまちづくりを推進していく。	市民局 市民協働推進課
		②仙台まちづくり若者ラボ 若者が「自分ごと」として参加する実践的プログラムを実施し、若者のアイデアを地域の課題解決や活性化に生かすとともに、主体的に動く若者や将来のまちづくりの担い手の発掘・育成を目指す。	参加者数を毎年度30人以上とする。	まちづくり活動の担い手となる若者の発掘・育成を目指して、若者自らが「自分ごと」として関われるまちづくりに関するテーマを設定してワークショップとフィールドワークを重ね、その成果を発信する実践的なプログラムを実施した。 参加者数：42人	A	着実に進捗した。引き続き、本事業を通して、まちづくりに対する若者の関心をさらに喚起し、まちづくりに主体的に取り組む若者の発掘・育成に取り組んでいく。	市民局 市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 若者が活躍するまち づくり事業	③仙台若者SDGsアワード 若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と企業などの多様な主体との連携によるSDGs達成への取り組みを促すなど、若者の社会参加の促進を図る。	—	企業および若者の育成事業等を行う団体と実行委員会を組織し、社会・地域の課題解決やSDGsの達成に寄与する活動を行う若者団体を表彰するとともに、若者団体と地域企業との協働を生み出し、その活動を伴走支援する取り組みを実施した。	—	着実に取り組みを進めた。引き続き、若者の社会参画の促進に向けて、本事業の周知・広報に力を入れて取り組み、若者のモチベーションを高め、活躍を後押ししていく。	市民局 市民協働推進課
②	市民活動サポートセンターにおける若者の育成支援	市民活動サポートセンターにおいて、若者団体の拠点として活動の場を提供するほか、関係各機関と連携し、若者の地域づくり活動への参画支援を行う。 また、現に市民活動サポートセンターを利用している若者だけではなく、より多くの若者の市民活動や協働に関する理解を深め、自発的・主体的な行動につなげられるよう、若者への訴求性が見込まれる動画コンテンツを活用した情報発信を重点的に行うなど、効果的な取り組みを進める。	若者の人材育成に資する事業を、関係機関等とも連携しながら、毎年度2事業以上実施する。	若者を対象とした人材育成事業を関係機関と連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、若者の取り組みの様子を動画で配信した。 関係機関と連携した実施事業：4事業	A	コロナ禍においても動画やオンラインを活用した事業を実施し、着実に進捗した。引き続き、関係機関と連携しながら若者の地域づくり活動への参加を促進する取り組みを実施していく。	市民局 市民協働推進課
③	学生の参加による地域づくり推進事業	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。 また、大学や専門学校への働きかけを継続し、様々な機会を捉えて若者や関係団体との接点を多く持つことにより、地域のニーズに応じたマッチングを行えるようネットワークを拡げる。	青葉区における学生団体と地域活動の延べマッチング数を、令和5年度までに5件とする。	地域での活動を希望する学生団体と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域イベントへの参加を促した。 依頼件数：8件 うちマッチング実績：5件 新規登録団体数：3団体 【令和3年度からの累計値】 依頼件数：9件 うちマッチング実績：6件 新規登録団体数：6団体	A	目標を上回る水準で着実に進捗した。今後はボランティア活動や地域活動の企画など、幅広い分野でマッチングができるように努める。	青葉区 まちづくり推進課
④	みやぎの・まちづくり若手人材育成支援事業	宮城野区において、地域を担う次世代の育成を図るため、若い世代を対象に、実際にまちづくり活動を行っている団体によるセミナーやワークショップを開催し、まちづくりの知識やノウハウの蓄積を図るとともに、地域の若手同士の交流の機会を創出し、ネットワークづくりを促進する。	みやぎの・まちづくり若手人材育成セミナー受講生が取り組む地域活動を令和5年度までに2件実施する。	セミナー・ワークショップを4回、フィールドワークを2回開催した。大雨の影響で中止になったこともあったが、概ね予定通りの回数を実施できた。 また、セミナー受講生が取り組む地域活動としてまちづくりイベントを令和4年度末までに1件実施した。	B	目標に沿う水準で概ね進捗した。令和5年度から新たなメンバーでの実施となるため、早期にメンバー間の関係性構築を目指した取り組みを進める。	宮城野区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑤	わかばやし地学連携推進事業	東北学院大学の新キャンパス開設(令和5年4月)に向けて、大学と地域間の意見交換を進めることにより、区を含めた三者の協働関係構築を図る。	令和5年度までに、大学と若林区の連携事業を4件、若林区における学生と地域が協働で取り組む地域活動を2件実施する。	連携事業:2件(累計4件) 大学と地域(荒町・連坊)とが連携する取り組みを地域住民に発信する「地域だより」の年4回の発行や、学生による地域の魅力を伝える動画の制作(10本)を実施した。 地域活動:2件(累計2件) 荒町市民センターで活動しているこども食堂と大学のボランティアサークルをマッチングした。また大学と地域商店街との交流イベント「わが街マルシェ」を支援した。	A	着実に進捗した。大学と区との連携協力に関する協定の締結に向けて、協議を進めた(令和5年4月締結)。今後、協定を基に地域と連携・協働した取り組みを推進させる。	若林区 まちづくり推進課
⑥	たいはく若者まちづくりフォーラム事業	次世代のまちづくりの担い手となる人材の育成を図り、地域のまちづくり活動を推進するため、地域と大学研究室とのマッチングによる活動支援や、東北工業大学と共同で学生を対象にまちづくりをテーマとした講座を実施する。	マッチングした地域と大学の支援および東北工業大学との共同講座を毎年度実施する。	若い世代のまちづくり活動への関心の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成を図るため、まちづくりに参加・実践する機会の創出や、活動支援を行った。 《地域と大学のマッチング事業》 令和4年度～令和6年度は長町地区と連携し、初年度である令和4年度は、旧宿場町や住宅地開発による新旧住宅地の街並み調査などを実施した。 《共同講座》 大学の1、2年生を中心に共同講座を実施し、まちづくりに関する講義およびまち歩きを通じた地域の課題解決に向けた検討を行った。	A	着実に進捗した。今後もまちづくりの担い手となる人材のまちづくりに参加・実践する機会を増やすことができるように、地域と大学をマッチング、および、担い手となる人材の活動を支援していく。	太白区 まちづくり推進課
⑦	大学連携地域づくり事業	6大学、泉区まちづくり推進協議会および泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、地域と大学が連携し、地域課題の解決や活力ある地域づくりを進める。					
		①いずみ絆プロジェクト支援事業 地元6大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。	6大学がそれぞれ1事業以上実施する。	助成金交付事業数:13事業(6大学)	A	着実に進捗した。引き続き、学生による様々な地域づくり活動が展開されるよう支援を行っていく。	泉区 地域力推進担当

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 大学連携地域づくり 事業	②泉6大学まちづくりフェスティバルの開催 いずみ絆プロジェクトに取り組む団体等による活動発表などを行い、事業の成果を広く市民に周知する。	6大学の発表の場として毎年1回以上開催する。	いずみ絆プロジェクト支援事業の助成対象団体の活動内容について、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、泉中央ビルでの6日間の期間展示とし、発表動画の放映等の手法で実施した。 実施回数:1回(6日間の期間を設けて開催) 参加団体:14団体(上記助成対象団体13、泉区中央市民センター1)	A	着実に進捗した。引き続き、支援した活動のさらなる効果的な周知を図っていく。	泉区 地域力推進担当
		③大学間の交流促進事業 地域づくり活動を行う学生団体同士の交流事業を実施することにより、団体間のネットワークを広げ、互いの活動を高めあう関係づくりを促進する。	団体間の交流促進事業における交流会を年3回以上開催する。	泉6大学の学生が泉西部地区の体験型観光施設等取材し、情報発信を行った。当該取材活動の実施およびその準備として7回の交流会を開催した。 実施回数:7回	A	着実に進捗した。引き続き、6大学の学生による体験取材を行い、当該地区の魅力の発信を進めていく。	泉区 地域力推進担当
⑧	市民センターにおける若者の支援	①若者社会参画型学習推進事業【再掲】 若者が地域づくり活動への参加やさまざまな人々との学び合いを通じて、身近な地域をより良くすることへの意識を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施する。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とする。	事業数 :5 講座数 :84 参加者数 :70人 新規参加者数 :46人 新規参加者の割合:6.5割	A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	教育局 生涯学習支援センター
		②子ども参画型社会創造支援事業【再掲】 小学校中学年の児童から中学校・高等学校の生徒まで、子どもたちがそれぞれに地域社会の構成員としての意識を育みながら成長していくことを目指し、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる事業を実施する。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とする。	事業数 :13 参加者数 :267人 新規参加者数 :172人 新規参加者の割合:6.4割	A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	教育局 生涯学習支援センター

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 市民センターにおける若者の支援	③ジュニアリーダー育成支援 ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。	各区中央市民センターにおいて初級研修会を、生涯学習支援センターにおいて中級・上級の各研修会を実施した。 初級研修会受講者数:79人 中級研修会受講者数:49人 上級研修会受講者数:25人 ジュニアリーダー登録者数:343人 (新規登録者数:89人) 新規参加者の割合:2.5割 ジュニアリーダー活動率:75.5%	A	着実に進捗した。登録者数は年々微減であるが、登録者は積極的に研修を受けたり活発に活動を行っている。今後も積極的な活動に向けて支援をしていく。	教育局 生涯学習支援センター
(2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進							
①	地域防災リーダー養成・支援事業	地域における自助・共助の取り組みの推進を図るため、仙台市地域防災リーダー(SBL)の養成と活動支援を行うとともに、知名度向上のための広報活動を展開する。	毎年度新規養成を行い、600人程度を維持していく。(SBL配置数)	10~11月にSBL新規養成講習会を実施し、各区の連合町内会長協議会からの推薦および一般公募による受講者95人を新たに認定した。 また、活動継続中のSBLを対象としたバックアップ講習会を開催し、自主防災活動の活性化に向けたSBL相互の情報共有やスキルアップ等を図った。 令和4年度新規認定者数:95人 (累計1,096人) SBL配置数:842人(令和4年度末時点) 令和4年度SBL全市バックアップ講習会参加者数:326人 令和4年度SBL各区バックアップ講習会参加者数:316人	A	着実に進捗した。今後は若年層や女性の新規養成者を増やしSBL全体における多様性の確保を推進する。	危機管理局 減災推進課
②	町内会等住民自治組織・体力強化	①町内会等住民自治組織育成事業 町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。	—	町内会運営経費の一部援助を目的とした町内会等育成奨励金等の財政的支援を実施した。また、町内会役員等を永年務めた市民に対し表彰を行う、町内会永年勤続表彰式を実施した。	—	予定通り取り組みを進めた。今後も職員間の連携を図りながら、継続的に実施する。	市民局 地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 町内会等住民自治 組織・体力強化	②地域コミュニティ体力強化事業 町内会加入や活動への参加を促進するため、加入率の低いマンション等居住者や、活動の担い手として期待される定年退職者をはじめ、幅広い市民を対象として町内会活動に関する啓発を行うとともに、町内会の担い手の発掘・育成と円滑な組織運営を支援するため、町内会役員等に対する講座などを開催する。	—	マンション建築主や不動産会社・管理会社等に向けて、町内会加入に関するチラシを配布した。また、市内企業等を中心に、町内会活動等の情報を掲載した退職者向けリーフレットの配布協力依頼を行った。 また、町内会役員を対象とした町内会活性化講座について、基礎編を計7回(参加者延べ150人)、テーマ編を計5回(参加者延べ89人)実施した。	—	予定通り取り組みを進めた。引き続き、地域の現状と課題の把握に努め、柔軟な支援を行う。	市民局 地域政策課
③	町内会相談窓口機能強化	地域コミュニティの中核を担う町内会を対象に、テーマ別に専門家等による相談会やフォローアップを実施するとともに、お問い合わせが多い質問をまとめたFAQ(質問・回答集)を作成し、活動の支援を図る。	—	町内会運営の支援窓口である各区・総合支所および地域政策課が市内のデジタル化の動きを的確に認識し、窓口機能の強化に関する新たな視点やヒントを得る場とするため、デジタル化に取り組む町内会相互の意見交換会(勉強会)を開催した。	—	予定通り取り組みを進めた。引き続き、地域の現状と課題の把握に努め、柔軟な支援を行う。	市民局 地域政策課
④	地域団体連携促進	市民センターにおいて、地域づくりに係る団体間のネットワーク形成等を図る事業や取り組みを実施することにより、地域主体で地域課題を解決するための基盤形成を行う。	—	地域づくりにおける担い手育成やコミュニティ形成等をテーマに据え、地域課題の発掘と解決を図るためのネットワーク支援事業として、14地区において取り組みを実施した。	—	予定通り取り組みを進めた。今後も身近な地域の拠点である市民センターのコーディネート機能を生かし、地域の連携強化等に資する事業の展開を図る。	市民局 地域政策課 各区 中央市民センター
⑤	地域安全対策事業	①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	—	補助金交付件数:80件	—	予定通り取り組みを進めた。引き続き、地域の防犯活動を支援するため、同様の取り組みを行うていく。	市民局 市民生活課
		②仙台市地域安全安心まちづくり事業 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金の交付件数を、毎年度、新規、継続を含め15団体以上とする。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付件数:12件	B	目標には届かなかったが、概ね進捗した。今後も地域において自主的な防犯活動を行う団体に対し、制度の周知を図る。	市民局 市民生活課
⑥	交通安全事業	①地域等と取り組む交通安全運動の実施 区役所・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。	—	町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。	—	予定通り取り組みを進めた。今後も地域や関係各所との連携による啓発を行うとともに、交通事故の変化を取り入れるなど充実した交通安全教室等を実施していく。	市民局 自転車交通安全課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 交通安全事業	②仙台市交通安全指導団体への支援 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。	—	仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。 補助金交付件数:9件	—	予定通り取り組みを進めた。地域における交通安全指導団体の役割は大きく、その活動を支援することは「仙台市交通安全計画」の目標達成に向けて重要であることから、引き続き支援を行う。	市民局 自転車交通安全課
		③PTAによる交通安全誘導活動への支援 市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。	—	仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校 96校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。	—	予定通り取り組みを進めた。PTAの交通安全の見守り活動は、通学路の安全に資するものであり、継続して支援を行う。	市民局 自転車交通安全課
⑦	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	地域における支えあい・助けあい活動を推進するため、地区社会福祉協議会を主体に、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体の連携により実施される地域福祉活動の費用の一部を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。 また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催する。	地域福祉活動従事者への研修会を各区・支部事務所において年1回以上開催する。(青葉区事務所・青葉区宮城支部事務所・宮城野区事務所・若林区事務所・太白区事務所・泉区事務所の計6か所)	市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。 助成件数:104件 地域福祉活動従事者研修会開催数:6回 →実施地区:青葉区・宮城支部・宮城野区・若林区・太白区・泉区	A	着実に進捗した。今後とも市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。	健康福祉局 社会課
⑧	老人クラブ活動への支援	助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支えあい活動の充実を図る。	毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を令和7年度までに50%以上に増加させる。	老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金を交付し、花壇花植えや町内清掃などの環境美化活動や高齢者見回り等の友愛活動を実施した。 地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合:84%	A	目標を上回る水準で着実に進捗した。引き続き各老人クラブによる環境美化活動や友愛活動を通じ、地域活性化につなげていくため、老人クラブ活動を支援していく。	健康福祉局 高齢企画課
⑨	地域での子育て支援団体に対する活動支援	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。	毎年度の登録団体数140団体程度を維持していく。	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティア等さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。 登録団体数:118団体 【内訳】 育児サークル、子育てサロン:84団体 託児ボランティア:2団体 さまざまな子育て支援団体:32団体	B	新型コロナウイルス感染症の影響等により活動継続が困難となった団体があり、登録団体数は減少しているが、新規登録が9団体あった。また全市的子育て支援ネットワーク交流会には多くの団体が参加し、支援者同士で意見交換を行うなど、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。	こども若者局 総務課 (子供未来局 総務課)

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑩	子どもの居場所づくり支援事業	食事の提供や学習支援などを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所を提供する「子ども食堂」の運営団体に対して、開設・運営費の助成を行うとともに、ネットワーク会議の開催により運営ノウハウの共有などの支援を行う。	—	子ども食堂運営団体への助成事業も5年目を迎え、制度の周知が進んできた。運営費の助成を継続するとともに、ネットワーク会議の開催により団体間の情報共有などの支援を行った。助成団体数は平成30年度25団体、令和元年度34団体、令和2年度37団体、令和3年度39団体、令和4年度は40団体となった。	—	予定通り取り組みを進めた。子ども食堂への助成事業については、当初平成30年度から令和4年度までの5年間の予定であったが、枠組みを見直したうえで令和5年度以降も事業を継続する。助成事業のあり方や助成金の支給要件等については引き続き検討し、適宜見直しを行う。	こども若者局 こども支援給付課 (子供未来局 子供支援給付課)
⑪	地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業	児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。	—	助成金交付団体数:86団体 【内訳】 地域子育て支援クラブおよび同協議会:76団体 青少年健全育成団体:10団体	—	予定通り取り組みを進めた。引き続き、青少年の健全育成を推進するため、各種団体の活動を支援していく。	こども若者局 こども若者相談支援センター (子供未来局 子供相談支援センター)
⑫	多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進	①地域でのごみ減量・リサイクル推進 町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携により、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、排出実態調査の実施やごみ分別講座、アレマキャンペーンなど、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。	—	クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査 実施団体数:312団体 環境施設を見る会 参加団体数:31団体 ごみ分別出前講座の実施数:33回 春のアレマキャンペーン 5月30日～6月17日まで実施 (秋のアレマキャンペーンは新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)	—	多様な主体と連携して予定通り取り組みを進めた。引き続き市民協働によるごみ減量・リサイクルについて、PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。	環境局 家庭ごみ減量課
		②集団資源回収事業 資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。	—	実施団体に対して、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき・リーフレットを配付した。 実施団体数:1,219団体	—	予定通り取り組みを進めた。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を進めていく。	環境局 家庭ごみ減量課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 多様な主体との連携 によるごみ減量・リサ イクル推進	③クリーン仙台推進員制度 ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、 生活環境の保全のため、地域で取り組むリー ダーを育成するとともに、その活動を支援す る。	令和7年度までに、クリーン仙 台推進員を推薦する町内会の 割合を60%以上、排出実態調 査を実施するクリーン仙台推進 員の割合を40%以上とすこと を目指す。	クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割 合：約58%(令和4年度末時点) 排出実態調査を実施するクリーン仙台推進 員の割合：約22%(令和4年10月時点)	B	推進員のいない町内会への呼 び掛けを行い、推薦する町内会 の割合は令和3年度末(約 57%)から微増し概ね進捗した。 排出実態調査の実施推進員数 は、新型コロナウイルス感染症拡 大による影響等で減少傾向にあ り、目標に満たなかった。 次年度は排出実態調査の周知 機会を増やすなど排出実態調査 への参加推進に取り組む。	環境局 家庭ごみ減量課
		④ごみ集積所維持管理の支援 地域住民によるごみ集積所の清潔保持や 環境美化の取り組みを支援するため、集積 所の維持管理に関する助言や、啓発ポス ターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。 また、町内会等の申請に基づき、市が集積 所の管理状況等を診断し、排出状況等が優 秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、 適正排出・適正管理を促進する。	—	飛散防止用ネット配布数：2,176枚 五つ星集積所診断数：35カ所 (うち五つ星集積所認定数：34カ所)	—	ごみ集積所維持管理の支援に ついて、予定通り取り組みを進め た。次年度も引き続き助言や啓 発、飛散防止用ネット配布を継 続していく。 また、五つ星集積所の診断件 数について、令和2年度から減少 傾向にあったが、令和4年度は 各団体への声掛けもあり、若干 の件数の増加が見られた。令和 5年度も参加の声掛けを継続し ていく。	環境局 家庭ごみ減量課
⑬	農あるふるさとづくり 支援事業	農業を基軸とした地域における特性と資源 等を活かした住民主体の地域づくり活動の推 進を図るため、地域団体が自主的に取り組む 事業に対して助成金を交付する。	毎年度の交付件数を3件程 度とする。	2件の事業に助成金を交付した。	B	数値目標とした3件には届か ない結果であったが、概ね進捗し た。今後も、ホームページや「農 政だより」等の農業関連広報物 を活用し、事業の周知に努める。	経済局 農政企画課
⑭	スポーツ推進に係る 支援事業	①仙台市スポーツ推進委員協議会 仙台市スポーツ推進委員により、本市が行 う体育・スポーツ振興事業への参画および推 進や、地域スポーツ振興のための啓発や調 査・研究、地域団体との連絡調整、地域住 民へのスポーツ等の技術指導を行う。	—	仙台市スポーツ推進委員協議会が行うス ポーツ振興事業に要する経費に対し、補助 金を交付した。	—	着実に取り組みを進めた。今後 もスポーツ振興事業の推進、地 域スポーツ振興や地域スポーツ 活動を通じた健康増進・地域づ りを進めるとともに、市民の体力・ 競技力の向上に向けて、引き続 き団体への支援を行う。	文化観光局 スポーツ振興課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] スポーツ推進に係る 支援事業	②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。	—	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	着実に取り組みを進めた。今後もスポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興や地域スポーツ活動を通じた健康増進・地域づくりを進めるとともに、市民の体力・競技力の向上に向けて、引き続き団体への支援を行う。	文化観光局 スポーツ振興課
		③仙台市スポーツ協会育成補助 種目別競技団体により市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市スポーツ協会に助成する。	—	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	着実に取り組みを進めた。今後もスポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興や地域スポーツ活動を通じた健康増進・地域づくりを進めるとともに、市民の体力・競技力の向上に向けて、引き続き団体への支援を行う。	文化観光局 スポーツ振興課
⑮	みんなで育てる地域 交通乗り乗り事業	日常生活に必要な移動手段が課題となっている地域において、乗合タクシーの運行など地域の足の確保に向けた地域団体の主体的な取り組みに対し、運行計画検討における助言や技術的な支援を行う交通の専門家の派遣、運行に係る経費の一部補助、高齢者等割引運賃への補助を行う。	—	市民協働による地域の足の確保へ向け、青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、同秋保地区、同生出地区において、下記支援を行った。 ・地域主体の乗合タクシー試験運行等の実施に対する運行経費等の一部補助： 青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、同秋保地区、同生出地区 ・試験運行や実証運行計画策定等における専門家(コンサルタント)の派遣： 青葉区新川地区、太白区秋保地区、同生出地区	—	予定通り取り組みを進めた。今後も、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域などにおいて活用されるよう、周知に努める。	都市整備局 地域交通推進課
⑯	各種緑化支援事業	①花壇づくり助成事業 地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を支援する。	—	各種緑化支援事業などを通じ、緑化を推進した。 ①～③の助成による花壇等面積：18,101㎡ ①花壇づくり助成：274件(17,381㎡)	—	予定通り取り組みを進めることができた。引き続きパンフレットの印刷・配布や市HPを通じた広報を行い、緑化意識の啓発を継続する。	建設局 百年の杜推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 各種緑化支援事業	②花いっぱいまちづくり助成事業 道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を支援する。	—	各種緑化支援事業などを通し、緑化を推進した。 ②花いっぱいまちづくり助成:6件	—	予定通り取り組みを進めることができた。引き続きパンフレットの印刷・配布や市HPを通じた広報を行い、緑化意識の啓発を継続する。	建設局 百年の杜推進課
		③緑化木植栽助成事業 緑豊かな街並み形成を目的に、樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を支援する。	—	各種緑化支援事業などを通し、緑化を推進した。 ③緑化木植栽助成:1件(720㎡)	—	予定通り取り組みを進めることができた。引き続きパンフレットの印刷・配布や市HPを通じた広報を行い、緑化意識の啓発を継続する。	建設局 百年の杜推進課
⑰	市民参加によるみどりのまちづくり事業	①緑の活動団体 緑豊かな杜の都づくりを行うため、本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を「緑の活動団体」として認定し、交流会の開催や緑の活動体験事業の共催などを通して支援する。	団体相互の情報交換や共有を図るため、交流会を開催するとともに、緑の活動のさらなる普及・啓発に取り組むため、体験事業を年3回以上実施する。	認定団体数 :29団体 助成件数 :0団体 交流会開催数 :1回 体験事業実施数:1回	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標回数には至らなかったが、予定通り交流会等を開催、緑の活動団体入会につながる有意義なものとなり、概ね進捗した。 今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、交流会等を開催し、団体相互の親睦や情報交換を行い、協働で緑の保全、創出、普及を図っていく。	建設局 百年の杜推進課
		②仙台市公園愛護協会の 公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。	新規結成を毎年度10団体以上とする。	各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰、推薦を行った。 新規結成数:19団体	A	着実に進捗した。今後も公園愛護協会の普及に努め、既存団体への支援を継続することにより、目標が達成されると考える。	建設局 公園管理課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑱	区民協働まちづくり事業	<p>各区において、区民との協働により、区民まつりなど地域の活性化や課題解決などにつながるさまざまな事業を企画・実施するとともに、市民団体が行うまちづくり活動に対して助成を行う。</p> <p>～令和4年度各区の主な企画事業～ (青葉区) ・仙台の音を伝える紙芝居作り・上演事業 ・大倉ダム魅力発信事業 (宮城野区) ・地域はっぴい子育て支援事業 ・すずむしの里づくり事業 (若林区) ・若林区民ふるさとまつり ・若林区合唱のつどい (太白区) ・ディスカバー・たいはく ・秋保ミュージアム環境整備支援事業 (泉区) ・泉ヶ岳悠・遊フェスティバル ・七北田川クリーン運動</p>	—	<p>企画事業数 青葉区: 7事業 宮城総合支所: 3事業 宮城野区: 11事業 若林区: 9事業 太白区: 7事業 秋保総合支所: 3事業 泉区: 16事業</p> <p>助成件数 青葉区: 10件 宮城野区: 4件 若林区: 3件 太白区: 7件 泉区: 9件</p>	—	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止または縮小した事業もあったが、全体的に概ね予定通り進めることができた。今後も地域課題解決や地域の活性化に向けた取り組みを推進する。</p>	<p>各区・宮城総合支所 まちづくり推進課 秋保総合支所 総務課</p>
⑲	地域づくりパートナーシップ推進	<p>地域によって異なる課題にきめ細かく対応するため、地域団体やNPO、事業者等の多様な主体が持つ力を、地域の課題解決やにぎわいづくりなどに生かす仕組みづくりを行う。</p> <p>～令和4年度事業～ (青葉区) ・出前まちづくりサポートセンター運営 ・マンションコミュニティ強化 (宮城総合支所) ・宮城地区西部活性化 ・先端技術を活用した宮城地区の地域課題解決 (宮城野区) ・みやぎの地域づくり支援 ・海浜エリア活性化 (若林区) ・若林まちなみかき推進 ・海浜エリア活性化 (太白区) ・「小さくても未来へつながる連携」促進 ・生出地区活性化支援 ・南部拠点地域活性化支援 (秋保総合支所) ・秋保地区活性化 ・秋保地区交流人口拡大 (泉区) ・泉区西部活性化 ・泉中央地区活性化 ・協働による郊外居住地課題対応 ・地域拠点公園を活用した魅力ある地域づくり</p>	—	<p>実施事業数 青葉区: 2事業 宮城総合支所: 2事業 宮城野区: 2事業 若林区: 2事業 太白区: 3事業 秋保総合支所: 2事業 泉区: 4事業</p>	—	<p>予定通り取り組みを進めた。今後も多様な主体と連携した地域課題解決に向けた取り組みを推進する。</p>	<p>各区 まちづくり推進課 各区 地域力推進担当 宮城総合支所 地域活性化推進室 宮城野区 海浜エリア活性化担当 若林区 海浜エリア活性化企画室 秋保総合支所 総務課 泉区 公園課 市民局 地域政策課</p>

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑳	女性防火クラブ活動 支援事業	女性防火クラブ員に対して、火災予防に関する知識や災害への備えを学ぶ研修を実施するなど、意識高揚に向けた取り組みと活動しやすい環境づくりを推進する。	女性防火クラブ訓練・研修などの参加人数を毎年度9,000人以上とする。	新型コロナウイルス感染症に十分に留意しながら、火災予防知識を習得するための訓練や研修会を開催したほか、街頭キャンペーンなどを通じて火災予防啓発活動に取り組んだ。 さらに令和5年度には組織の魅力向上や活動の活性化を目的に、組織の名称を「婦人防火クラブ」から「女性防火クラブ」に変更することが決定された。 延べ活動回数:316回 参加人数:4,591人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限され、参加人数目標は達成できなかったものの、コロナ禍前の8割を超える回数の訓練や研修会等を実施した。 アフターコロナを見据えた研修体制の見直しや、組織の活性化に向けた具体的な取り組み等を検討し、計画的に実行していく。	消防局 予防課
㉑	学校・地域・家庭の 協働による学びの環 境づくり推進	①コミュニティ・スクール推進事業 学校と家庭、地域が力を合わせて学校の運営に取り組み、子どもたちを取り囲むように豊かな学びの環境を構築するため、学校支援地域本部と連携しながら、コミュニティ・スクールの導入を推進し、令和5年4月までにすべての市立学校・園での導入を目指す。 コミュニティ・スクールの理解促進と周知を図るため、市立学校・園に対する研修会を開催するとともに、学校・保護者・地域の要請に基づき説明会を開催する。また、学校に対する説明や、広く市民に周知や広報を行うため、リーフレットなどを作成する。	令和5年度までに、コミュニティ・スクールを導入し、年3回以上学校運営協議会を開催した学校を190校とする。	令和4年度末をもって仙台市立全188校・1園(151協議会)で学校運営協議会が開催され、コミュニティ・スクール(CS)となった。 年3回以上、学校運営協議会を開催した学校数:87校(令和4年度末時点) ※実沢小学校の休校に伴い、数値目標設定時の学校数から、1校減となっている。	A	目標に沿う水準で着実に進捗した。コミュニティ・スクールアドバイザーを配置し、各校の実状を把握するとともに、指導・助言を行いながら伴走支援を行っている。	教育局 学びの連携推進室
		②学校支援地域本部事業 市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに豊かな体験活動の機会を提供する。	令和5年度までに学校支援ボランティアの延べ人数を120,000人とする。	令和4年度は、新たに本部を設置した学校が5校(新規1校、連携校から本部設置校へ移行4校)あり、本部設置校および連携校は、180校となった。各校の本部および連携校で活動しているボランティアの数は延べ93,311人となっており、支援を受ける仕組みが整備され、児童生徒の学びが充実した。	B	目標に沿う水準で概ね進捗した。仙台版コミュニティ・スクールとの連携・協働のための環境整備と体制づくりを進め、児童生徒が地域差や学校規模にかかわらず、豊かな学びにつながる学校支援の効果を等しく受けることができる環境を整えていく。	教育局 学びの連携推進室

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
	[前ページ続き] 学校・地域・家庭の 協働による学びの環 境づくり推進	③地域学校協働活動推進事業 統括的な地域学校協働活動推進員を5人 程度委嘱し、地域学校協働活動の方向性の 検討や、学校と地域向けの研修を実施すると ともに、学校教育や社会教育における各研修 を周知し参加を促すことにより、地域学校協 働活動への理解を推進する。 また、コミュニティ・スクールの実施校区から 仙台版地域学校協働活動パイロット地区を 選定し、地域学校協働活動推進員がコミュニ ティ・スクール運営協議会に参加する仕組み づくりを行う。	令和5年度までに、統括的な 地域学校協働活動推進員を5 人配置する。また、地域学校 協働活動に係る研修への参加 人数を150人とする。	統括的な地域学校協働活動推進員を5人 委嘱し、推進員会議を2回開催した。 地域学校協働活動に係る内容の各種研修 を8回延べ638人に行った。 令和3年度に引き続き、コミュニティ・スクー ル実施地区から4地区を選出し、パイロット事 業を行った。地域学校協働活動推進員を4 人委嘱し、学校運営協議会に参加する体制 をとっている。 また、パイロット事業で取り組んだ学校と地 域の連携による活動事例を掲載したリーフ レットを作成した。	A	目標を上回る水準で着実に進 捗した。新任校長・教頭研修、社 会学級合同ブロック会、各区地 域学校協働推進事業等におい て地域学校協働活動の意義の 浸透を図った。また、パイロット事 業において地域学校協働活動 推進員の活動を進めた。 今後はモデル事業として実施 地区と推進員の配置を拡充して いく。	教育局 生涯学習課
②	PTA活動振興事業	学校・家庭・地域社会が連携し、心豊かに たくましく生きる子どもの育成に取り組むことを 目的として、PTA活動を支援する。	仙台市PTA協議会との共催 事業を毎年度3件以上実施す る。	ホームページ上および3年ぶりに勾当台公 園で、ハイブリッド方式により開催したPTAフェ スティバル等を通じ、PTA活動推進者育成や PTA活動の支援を行った。 「PTA活動振興」に係る補助金の交付を 行った。 新型コロナウイルス感染症の影響により、夏 季プール開放事業や研修会等は中止とし た。 共催事業件数:4件	A	新型コロナウイルス感染症の影響 により、2件の共催事業を中止 としたが、目標を達成し、着実に 進捗した。 今後、夏季プール開放事業 等、コロナ禍明けの活動を拡大・ 充実させることができるよう支援 していく。	教育局 生涯学習課
(3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進							
①	市民活動サポートセ ンターにおける事業 者の社会貢献活動 の促進	市民活動サポートセンターにおいて、事業 者の社会貢献活動事例の情報発信支援や、 事業者への市民活動団体等に関する情報 提供、他の主体との意見交換の場の創出な どを行い、地域を支える事業者による社会貢 献活動を促進する。	事業者の社会貢献活動事例 や協働事例について、市民活 動サポートセンターのブログなど で年間5件以上紹介する。 事業者が他の主体と意見交 換できる事業を毎年度実施す る。	NPOや事業者など多様な主体が意見交換 できる事業として、オンライン情報交換会およ び定期交流会を実施した。 また、機関誌「ぱれっと」や市民活動サポ ートセンターのブログにおいて、事業者による社 会貢献活動や協働事例を紹介した。 「ぱれっと」およびブログの掲載件数:12件 実施事業数:1事業(オンライン情報交換 会・定期交流会)	A	着実に進捗した。引き続き、情 報発信支援等を通じて、地域を 支える事業者による社会貢献活 動を促進していく。	市民局 市民協働推進 課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
②	地元企業等の環境活動の促進	①せんだいE-Action 市民・事業者等の協働により、省エネ・創エネ・蓄エネの3Eの普及啓発を行い、環境配慮行動の輪を広げ、脱炭素都市づくりにつなげる。	—	SDGsWeekや新緑祭等の対面型イベントへの出展や打ち水イベント、Instagram等を活用した環境配慮行動を促すキャンペーンを実施した。(延べ参加者数:3,330人) WEBを活用した取り組みとして、省エネ啓発動画の配信等を実施した。(動画配信数:6本) 緑のカーテンの普及(小学校1校)	—	着実に取り組みを進めた。コロナ禍による休止から令和4年度に再開した対面型イベントへの参加や主催についてアフターコロナの出展のあり方を検討していくほか、環境局公式Instagramアカウントを活用した情報発信などに引き続き取り組んでいく。	環境局 環境共生課
		②環境配慮事業者認定制度 環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進等に積極的に取り組んでいる事業者を「エコにこマイスター」として認定し、環境保全に関する取り組みを推進する。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを市民や事業者へ情報発信する。	環境配慮事業者認定制度の認定事業者数を増やし、令和7年度までに認定店舗・事業所等を500以上とする。	環境に配慮し、ごみの減量やリサイクルの推進等に積極的に取り組んでいる事業者を「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」として認定し、ゴールドマイスターの優れた取り組みについて「エコにこゴールドマイスター環境配慮事例集」を作成し報告した。 環境配慮事業者認定制度の認定店舗・事業所等の数:505(令和4年度末時点)	A	目標を上回る水準で着実に進捗した。引き続き当制度の周知に努め、優れた取り組みについては市民や事業者に対し情報発信を行う。	環境局 廃棄物企画課
		③アメニティ・せんだい推進協議会 市民活動団体、事業者、行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。	—	「エコフェスタ2022」来場者数:約4,000人 3R講師派遣事業実施回数:4回 3Rわかる本追加付録発行数:15,000部	—	3年ぶりに市民広場においてエコフェスタを開催し、予定通り取り組みを進めた。3R講師派遣事業について、引き続き事業実施について広く周知広報を行っていく。	環境局 家庭ごみ減量課
		④仙台まち美化サポート・プログラム 市民グループ、企業、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。	仙台まち美化サポート・プログラム登録団体数を300団体以上とする。	登録団体数:283団体(令和4年度末時点)	B	概ね進捗した。登録団体数をさらに増やすため、今後も引き続きプログラムの広報に取り組む。	環境局 家庭ごみ減量課
③	地元企業の地域活性化活動等の促進	社会的課題解決や魅力的な職場環境づくりに取り組む市内中小企業を表彰・紹介し、その取り組みを後押しするとともに、優れた事例を幅広く発信することにより、地域経済の活性化と、若者の地元定着等を促進する「仙台『四方よし』企業大賞制度」を実施する。	「仙台『四方よし』企業大賞制度」における宣言企業の新規申込件数を、毎年度5社以上確保する。	「仙台『四方よし』宣言企業」には、新たに5社の申込があり、令和4年度末時点で計31社が登録している。	A	着実に進捗した。引き続きホームページやSNS等を活用し、事業認知度の向上に努める。	経済局 経済企画課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
④	協力事業所表示制度	①消防団協力事業所表示制度 従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、企業の社会貢献を広く周知するとともに、消防団員がより活動しやすい環境づくりを促進する。	毎年度、新規の認定事業所を5事業所程度増加させる。	新規認定事業所数:7事業所 (認定事業所数:95事業所、増減数: +3事業所)	A	新規に7事業所を認定し、着実に進捗した。今後も引き続き制度理解の向上と当該事業所の認知度を高めるため、広報・PR活動を推進し、認定事業所の拡充に努めていく。	消防局 総務課
		②応急手当協力事業所表示制度(杜の都ハートエイド) 自動体外式除細動器(AED)を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。	毎年度50事業所程度増加させる。 登録事業所へのAED等の維持管理状況の定期的な確認および救命講習受講を促し、応急手当能力の向上を図る。	新規登録施設数:103施設 (登録施設数:1,477施設) 消防職員が登録事業所を訪問し、AED設置状況および登録内容の確認を行った。:177事業所	A	着実に進捗した。令和5年度もさらに制度の普及啓発に努め、新規登録事業所数を増やしつつ、応急手当能力の向上を図っていく。	消防局 救急課
(4) 多様な主体の交流の促進							
①	せんだい3.11メモリアル交流館における協力事業	地域団体、教育機関等による震災メモリアルや地域の魅力発信にかかる展示や催しに対し、せんだい3.11メモリアル交流館として場の提供や情報発信などの協力を通して、多様な主体の交流の促進を図る。	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業として、地域団体等による催し等を令和5年度に30件開催する。	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業(広報・企画・運営・会場使用等に関する協力)として、地域団体等の催し等を下記のとおり開催した。 開催数:56件	A	着実に進捗した。今後も地域団体等による継承の取り組みが継続的に展開されるよう、より一層の連携・協力を図っていく。	まちづくり政策局 防災環境都市推進室
②	防災フォーラム等の実施	「仙台防災枠組」の採択都市としての役割を踏まえ、市民参加型の防災フォーラムの継続的な開催などを通じて、ステークホルダーの育成に努める。	来場者数を令和5年度に3,500人とする。	3月4日に仙台国際センターで「仙台防災未来フォーラム2023」を開催した。発表やブース展示、体験型イベントなどを通じて市民が防災を学び、日頃の活動を発信できる機会を提供した。 延べ来場者数:3,900人	A	着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」の開催に取り組む。	まちづくり政策局 防災環境都市推進室
③	学都推進事業	地域や市民に大学などの高等教育機関の知的資源を還元する学都を目指すため、大学、市民、企業、行政など幅広い領域での連携の推進や学都の魅力の発信を図るとともに、学都仙台コンソーシアムに運営補助金を交付することで活動を支援する。	各年度において、サテライトキャンパス公開講座の定員合計の6割の受講者数を確保する。	学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座 定員合計:1,490人 受講者数合計:516人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には至らなかったものの、ウズコロナを念頭に置いて公開講座数を増やしたことや、公共施設にチラシやポスターを設置し公開講座の広報に努めたことにより、対面受講者数、オンライン受講者数ともに昨年度よりも増加し、各大学が有する知的財産の活用および還元に取り組んだ。令和5年度以降も継続してオンラインと対面で講座を設定し、引き続き受講者数の確保に取り組む。	まちづくり政策局 プロジェクト推進課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
④	市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進	市民活動サポートセンターにおいて、NPOや事業者、教育機関など多様な主体が意見を交わし交流することで相互理解を深める機会を、オンラインなども活用しながら創出する。	年間の延べ参加者数を100人以上とする。	さまざまな立場の人が自由に参加できる情報交換の場として、会場・オンラインでの情報交換会と、20代～30代を対象としたサポセニューズフェスタを開催した。 情報交換会実施回数:11回 情報交換会参加者数:245人	A	着実に進捗した。引き続き、オンラインも活用しながら情報交換会や交流の機会の創出に取り組み、多様な主体の交流促進を図っていく。	市民局 市民協働推進課
	文化活動団体への支援による交流促進	新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、公益財団法人仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。					
	①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興および郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。	文化活動団体に対し、毎年度130件程度助成を行う。	令和4年度より制度を見直し、仙台市内の個人・団体が仙台市内で行う、公演・展示・上映会・屋外イベントを対象とし、経費の一部を助成した。 助成件数(採択):122件	B	当初の目標件数には及ばなかったものの、概ね進捗した。引き続き、公演や展示等の幅広い文化芸術活動を支援していく。	文化観光局 文化振興課	
	②イベント等の制作面での協力をを行う。	毎年度50件程度、文化活動団体との協力事業を実施する。	特に公益性の高い事業について、事業団友の会への入場券の販売斡旋、資料貸出、人材の紹介、企画協力や事務局への参画等を行った。 協力件数:79件	A	着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。	文化観光局 文化振興課	
③季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。		—	季刊誌「まちりよく」については、令和4年度より掲載媒体を冊子からウェブに移行し、市民の方々が企画する文化イベント情報を掲載することで広報支援を行った。 支援件数:128件	—	着実に取り組みを進めた。「まちりよく」のウェブサイトにおいて引き続き、市民の方々における文化イベントの広報支援を行っていく。	文化観光局 文化振興課	

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
⑥	広瀬川創生・清流保全事業	広瀬川での市民活動団体のイベント情報などを集約し発信するとともに、活動団体同士の連携を促進する。また、事業負担金の交付や広瀬川魅力創生サポーターの認定を行う。	広瀬川魅力創生サポーター制度における「ゴールドサポーター」の認定数を令和5年度までに3件とする。	「広瀬川自然体験学習」および「広瀬川スマホ写真教室」(共に主催:仙台市)、「Art Standing in SENDAI」(主催:仙台商工会議所青年部、共催:河原町商店街振興組合、仙台市)の広報や、広瀬川で活動する各団体の情報発信を「広瀬川ホームページ」や「広瀬川Instagram」で行った。 また、広瀬川魅力創生サポーター認定制度においては、グリーンサポーターの更新申請1件とゴールドサポーターの新規申請1件の認定をそれぞれ行い、認定団体数はグリーンサポーターが6団体、ゴールドサポーターが4団体となった。	A	目標を上回る水準で着実に進捗した。今後もイベントの広報や広瀬川における各活動団体の情報発信を行うとともに、広瀬川魅力創生サポーターの認定を引き続き行っていく。	建設局 百年の杜推進課
⑦	学びのコミュニティづくり推進事業	子どもの健やかな育ちを支援するため、地域のさまざまな団体が連携し、地域の児童、保護者、住民などを対象とし、子どもと大人の交流や自然体験などを地域団体への委託等により実施する。	委託団体を毎年度7団体以上とする。	委託団体数:3団体(芦口、国見、新田)	B	活動を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により委託契約を見送る団体が生じた中ではあったが、各種研修会において事業のPRチラシの配布や「新田小学びのコミュニティ」の事例発表などを通して本事業の周知に努め、委託団体を一定数確保できた。 引き続き市立学校への案内配布、関連する研修の受講生への案内などを行い今後も団体数が増えるよう働き掛ける。	教育局 生涯学習支援センター
(5) 多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進							
①	「BOSAI未来プロジェクト」プロモーション事業	宮城教育大学や教育委員会、地域団体、NPO等、多様なステークホルダーの協力を得ながら、東日本大震災の経験や教訓のほか、復旧・復興に係る様々な活動の歩みを振り返るウェブサイトの立ち上げや、次世代の防災や伝承の担い手となる児童生徒向け事業等を通じたプロモーションを展開する。	—	「段ボールジオラマ防災授業」や、職員による復興・防災環境都市づくりをテーマにした出前授業を教育委員会等と連携して市内小中学校で実施した。 段ボールジオラマ防災授業実施数:5校 出前授業実施数:5校	—	予定通り取り組みを進めた。児童生徒向けに出前授業等を行う事で、次世代の防災や伝承の担い手づくりに取り組む。	まちづくり政策局 防災環境都市推進室
②	まちづくり活動事例集等の作成	本市における地域課題解決の取り組みを事例集等にまとめ、そのノウハウなど地域づくりに関する情報を他地域にも広く展開する。	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域の活動が休止または縮小を余儀なくされたため、令和4年度は事例紹介を行わなかった。	—	事業内容の検討を進めた。今後は、地域が置かれた状況や課題の性格を踏まえた地域課題解決の取り組み等の紹介により、ノウハウの横展開を行う。	市民局 地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	プランにおける目標等	令和4年度の実施状況	評価	点検結果	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
③	各種広報ツールによる情報発信	仙台市協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」や協働の手引き・事例集等の活用により、積極的な情報発信を図る。 また、市ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNPO法人の情報公開を行う。	仙台市協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」のアクセス件数を毎年度10,000件以上とする。	協働の手引き・事例集を各種イベントにて配布・展示したほか、協働ナビゲーションサイトにおいて、協働取り組み事例や各種支援制度、相談窓口等の紹介を行い、積極的な情報発信に取り組んだ。 また、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトを活用し、NPO法人の情報公開に努めた。 協働ナビゲーションサイトアクセス件数： 19,224件	A	着実に進捗した。市民活動や協働への理解と関心を高められるよう、サイトの更新頻度を高める等により引き続き積極的な情報発信に取り組んでいく。	市民局 市民協働推進課
④	市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供を行い、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行う。 また、NPOのほか、事業者や教育機関など多様な主体が相互理解を深め、協働の取り組みにつなげられるよう、情報発信支援を行う。	市民活動サポートセンターのブログの訪問者数を毎年度40,000件以上、投稿数を毎年度250件以上とする。	市民活動サポートセンターにおいて、収集した市民活動や協働に関する資料の提供や、SNS、動画コンテンツなどを活用した発信を行うとともに、同センターのブログ上では、コロナ禍における市民活動を支援する助成金情報や、気軽に参加できるボランティア情報など、市民のニーズに沿った幅広い情報を発信した。また、市民活動団体等のイベントチラシのホームページへの掲載や、広報担当者向けの講座の開催など、多様な主体間の相互理解や協働につなげる情報発信支援を行った。 ブログ訪問者数：65,527件 ブログ投稿数：322件	A	着実に進捗した。引き続き、市民活動や協働による課題解決の取り組みなどの情報が活発に発信される環境づくりに努め、市民活動の促進と多様な主体による協働の推進を図っていく。	市民局 市民協働推進課
⑤	ボランティアセンターにおける各種支援等【再掲】	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供や相談対応を行い、活動の機運醸成を図る。	ボランティアセンターへの登録団体数を、令和7年度までに既存登録団体数754団体(令和2年12月1日時点)の20%増とする。(905団体)	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数：6講座 延べボランティア育成講座受講者数：130人 ボランティア登録団体数：616団体(新規登録103団体)	B	コロナ禍による影響はあったものの、目標に沿った水準で概ね進捗した。年度当初はコロナ禍で活動を中止している団体があるため登録団体数は減少したが、年度内に活動を始めた団体が増え、最終的には、昨年度より増加した。コロナ禍におけるボランティア活動の取り組み方を受け入れ先と共に考え、コーディネートをし、地域課題解決につながるよう、引き続き取り組んでいく。	健康福祉局 社会課

Ⅲ 市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

市民協働事業

次の2つの要件を満たす事業

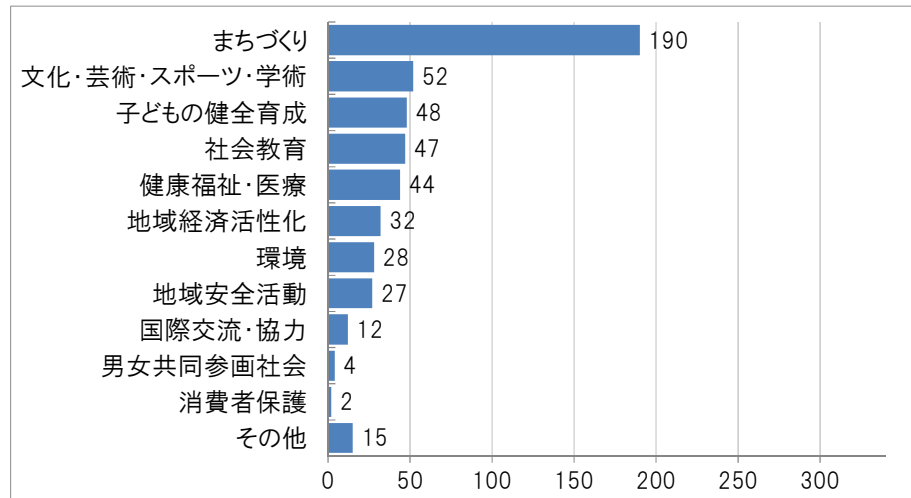
- ① 市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業等と、互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること
- ② 営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

市民協働事業の総数 311事業

「事業分野」… 事業の分野は、「まちづくり」が190事業(61.1%)であり、次いで「文化・芸術・スポーツ・学術」が52事業(16.7%)、「子どもの健全育成」が48事業(15.4%)と続きます。

「協働の相手方」… 協働の相手方は、「市民活動団体」が234事業(75.2%)であり、次いで「地域団体」が153事業(49.2%)、「教育機関等」が83事業(26.7%)と続きます。

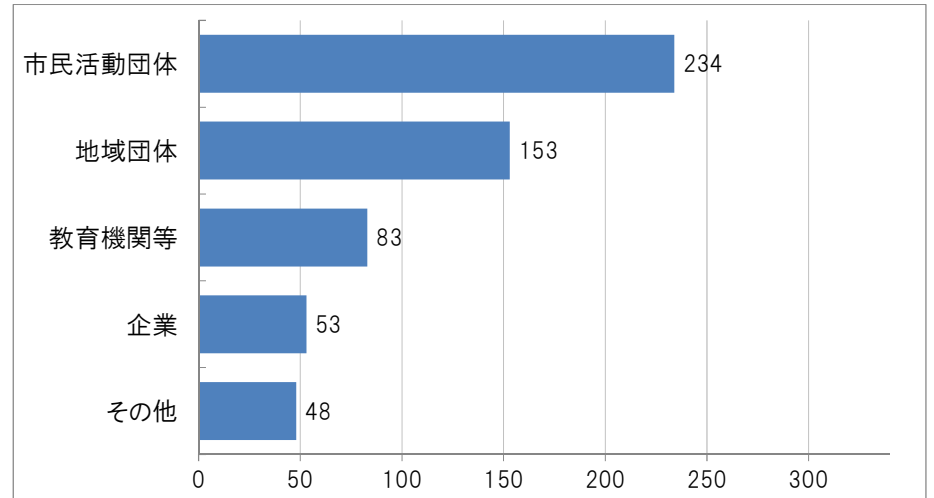
事業分野



※複数の分野に該当する事業があります

(単位：事業)

協働の相手方



※協働の相手方が複数に該当する事業があります

(単位：事業)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、活動内容や活動規模について感染拡大前に近づけるよう、実施方法を工夫して取り組みを進めました。また、仙台若者SDGsアワードや大学連携地域づくり事業など、次の世代のまちづくりの担い手となる、若者に着目した協働事業にも取り組みました。

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
1	民間企業と連携した災害時における支援体制整備	災害時に不足することが見込まれる資源を充足するため、民間企業や関係団体と応援協定を締結し、災害時における支援体制を構築する。	健康福祉・医療、地域安全活動、その他	企業、各種団体等	企業や各種団体等との協定締結：242件 (うち、7件を令和4年度に締結)	—	危機管理局 防災計画課 各協定所管課
2	広報紙等配布謝礼金	「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。	その他	市政だより等の配布を行っている団体	謝礼金交付実績：1,418件	75,416	総務局 広報課 健康福祉局 健康政策課 各区 総務課 議会事務局 調査課 水道局 営業課
3	市民協働事業提案制度採択事業：中心部商店街でのスマートシティ実現に向けたデータ活用環境の整備と活用方法の検討	Bluetoothセンサー等を用いた商店街エリアの人流データ調査と、商店街関係者等とのデータ利活用方法の検討を行い、回遊性の向上や商店街の活性化を目指す。	まちづくり	一般社団法人まちくる仙台	4月下旬～6月末まで、Bluetoothセンサー等による人流データ調査を行った。取得したデータについて、商店街関係者等と利活用方法についての検討会を実施し、データの分析を行った。	2,864	まちづくり政策局 まちのデジタル推進課 経済局 商業・雇用支援課 文化観光局 東北連携推進室
4	仙台市民活動サポートセンター指定管理における各種事業	市民活動の促進に関する事業(施設および設備の提供、連携交流の推進、情報収集および提供、人材育成、相談、調査研究等)および協働の推進に関する事業(機会の提供、情報収集および提供、事業の支援、調査研究等)を実施する。	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	仙台市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。	7,432	市民局 市民協働推進課
5	若者が活躍するまちづくり事業	ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業：「荒井東地区の過去に会い、未来に繋げる、まち歩きマップ活用事業」 荒井東地区住民の地域への愛着醸成等を目的に、荒井東地区の昔の街並みや地名を記載したまち歩きマップの作成、地域の情報を発信する公式LINEアカウントの立ち上げを行い、地域イベント(あらい七夕まつり2022)でまち歩きマップとLINEアカウントを活用した「まち歩きゲーム」を実施する。	まちづくり	仙台っ子Craftsめん、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	8月11日「あらい七夕プロジェクト」イベントにて、まち歩きマップとLINEアカウントを連携したまち歩き企画を実施。	250	市民局 市民協働推進課 若林区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
6	[前ページ続き] 若者が活躍するまちづくり事業	ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「榴岡エリアにおける罰等によらない前向き子育ての普及事業」 親自身が子どもとの課題やストレスに対し罰等によらずに解決できる子育て(ポジティブ・ディシプリン®)の導入により、外側から見える街(ハード面)の充実だけではなく、そこに住まう人々の家庭における子育て(ソフト面)の充実を図ることを目的に、乳幼児の養育者を対象としたポジティブ・ディシプリン®プログラムをセミナー形式で実施する。	子どもの健全育成	子育て応援会～おやこのミカタ～、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	ポジティブ・ディシプリン®プログラム(連続全9回)を実施。	300	市民局 市民協働推進課 子ども若者局 子育て応援プロジェクト推進担当 (子供未来局 子育て応援プロジェクト推進担当) 宮城野区 家庭健康課
7		ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「地下道マルシェ(仮)」 マイリティに寄り添う事業者のネットワーク造成および活躍機会の創出、仙台駅以外のエリアへ足を運ぶ目的ときっかけの造成、「不便な場所」から「滞在目的地」としての地下道のイメージアップを目的に、青葉通地下道を利活用したイベントを開催する。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	Studio Soda Sendai、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	10月8日～10日の3日間、青葉通地下道でマーケットイベント「地下道-3150」を開催。	300	市民局 市民協働推進課 都市整備局 都心まちづくり課 青葉区 道路課
8		ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「仙台市教員志望学生サポートプロジェクト！」 教員を志望する大学生の不安・悩み・困難・課題を軽減し、本事業によって教員志望者数の減少の解決策になり得る取り組みかどうか検証することを目的に、教員を志望する大学生にアンケート調査を行い、その分析結果を踏まえて教員志望の大学生に向けた不安や悩みを解消するためのセミナーを開催する。	子どもの健全育成	manaco、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	仙台市内の教員養成大学教育学部の大学生へのアンケート・個別ヒアリングを実施。アンケート・ヒアリングの分析結果を踏まえ、2月25日にイベント「理想の教員って何だろう？」を開催。	300	市民局 市民協働推進課 教育局 教職員課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
9	[前ページ続き] 若者が活躍するまちづくり事業	ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「地下鉄子どもアート」 公共空間に子どもの絵を飾ることで、まちの雰囲気明るくし、通行者の心に安らぎを与えるとともに、子どもたちやその家族の仙台のまちへの愛着を醸成することを目的とし、子どもたちの絵を作成するワークショップの開催、仙台市地下鉄駅構内への作品展示、効果測定のアンケート調査を行う。	まちづくり、 子どもの健全育成	学生団体ari、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	10月8日 宮城野区中央市民センターの青空縁日にて子どもたちの絵を作成するワークショップを開催。 12月15日～令和5年1月29日 ワークショップで作成した絵画を、地下鉄仙台駅地下1階コンコース中央1出入口付近の壁面に展示。期間中の5日間は団体メンバーが展示スペースに駐在し、アンケートを実施。	288	市民局 市民協働推進課 交通局 営業課
10		ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「仙台ゼリー探検隊」 「ゼリーのまち仙台」の特色を発信し、仙台の食の観光コンテンツにすることで観光客増加につなげることを目的に、仙台市内でゼリーを提供する飲食店の情報をSNSで発信するとともに、イベントでのPR活動を行う。	まちづくり、 地域経済活性化	仙台ゼリー探検隊、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	ゼリーを食べることができる場所(カフェ等)の情報をWEB上のマップに掲載し、Instagramを通じて情報発信を行った。 9月に開催されたイベント「SENDAI SDGsWeek2022～未来を考える1週間～」にて、団体が考案したゼリーのスイーツの試食会を実施し、「ゼリーの街仙台」の知名度を上げるためのPR活動を行った。	156	市民局 市民協働推進課 文化観光局 観光課
11		ユースチャレンジ！コラボプロジェクト(若者版・市民協働事業提案制度)採択事業: 「杜の都宇宙塾」 市内の子どもたちへ、宇宙理学・工学を通してそれらの分野の魅力に加え、勉強することそのものの楽しさを伝えることを目的に、企業や天文学者等の協力を得ながら、宇宙理学・工学をコンテンツとしたワークショップ、講演会、仙台市天文台の移動天文車「ベガ号」による天体観望会を盛り込んだイベントを開催する。	文化・芸術・スポーツ・学術、 子どもの健全育成	Tohoku Space Community、特定非営利活動法人都市デザインワークス(サポート団体)	3月21日 榴ヶ岡市民センター、榴ヶ岡公園にて「杜の都宇宙塾」イベントを開催。 参加者数:児童約80人	283	市民局 市民協働推進課 教育局 生涯学習課 文化観光局 G7科学技術大臣会 合推進室 (G7科学技術大臣会合推進室は令和5年7月1日付で廃止)
12		【仙台まちづくり若者ラボ】 若者が「自分ごと」として参加する実践的プログラムを実施し、若者のアイデアを地域の課題解決や活性化に生かすとともに、主体的に動く若者や将来のまちづくりの担い手の発掘・育成を目指す。	まちづくり、 その他	株式会社JTB仙台支店、一般社団法人ONE TOHOKU HUB	まちづくり活動の担い手となる若者の発掘・育成を目指して、若者自らが「自分ごと」として関わられるまちづくりに関するテーマを設定してワークショップとフィールドワークを重ね、その成果を発信する実践的なプログラムを実施した。 参加者数:42人	3,005	市民局 市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
13	[前ページ続き] 若者が活躍するまちづくり事業	【仙台若者SDGsアワード】 若者団体の社会貢献活動を表彰するとともに、若者と企業などの多様な主体との連携によるSDGs達成への取り組みを促すなど、若者の社会参加の促進を図る。	まちづくり, その他	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、一般社団法人ワカソク	社会・地域の課題解決やSDGsの達成に寄与する活動を行う若者団体を表彰するとともに、若者団体と地域企業との協働を生み出し、その活動を伴走支援する取り組みを実施した。	513	[前ページ続き] 市民局 市民協働推進課
14	地域づくりパートナープロジェクト推進 助成事業	鶴ヶ谷団地の環境維持保全に向けた団地住民の意識醸成を図るための実践的事業【課題調査検証助成】 永続的に鶴ヶ谷団地全体の環境維持保全を住民自らが実施できる組織・体制として立ち上げ、団地のブランド価値向上などを通して、活気溢れる鶴ヶ谷団地を新たな形で創り出していくために、住民自らが進んで考えていく意識を醸成する活動を、各種教育機関や商業組合などと協働しながら実践する。	健康福祉・ 医療、社会 教育、まち づくり、環境	つるがや元気会 NEXT50 鶴ヶ谷団地再生委員会	・鶴ヶ谷団地に関する環境維持保全講座・セミナー(計6回実施、計168人参加) ・団地全体について考えるワークショップの開催 ・商業施設に関するリノベーション・ワークショップの開催 ・鶴ヶ谷団地内ウォーキングマップの製作 ・空き家、空き店舗の活用に関する所有者等との話し合い	500	市民局 市民協働推進課
15		若い力を活かした地域モデル活動を試行し、泉エリアを活気づける学生目線からの地域づくりの課題検証【課題調査検証助成】 平成24年から継続的に参加してきた「いずみ絆プロジェクト」での経験を基に、これまでの学生ボランティアと地域住民との活動履歴を振り返り、高齢化が進む住宅地環境をリフレッシュさせる地域活動を試行し、学生だけでなく地域の若い世代も活躍できる環境ニーズや課題を検証し、学生目線から活力ある地域づくりを進めるための調査を行う。	健康福祉・ 医療、社会 教育、まち づくり、地域 安全活動	仙台白百合女子大学 地域生き生きプロジェクト	・地域モデル活動(夏祭り子どもイベント、秋の交流イベント、冬の落葉交流イベント) ・アンケート調査(計3回) ・鶴が丘一丁目学習教室の実施 ・学生と地域の若い世代との意見交流「若者会議」の開催(計7回)	500	
16		「GOZAIN-八木山」プロジェクトによる地域課題解決・活性化事業【協働実践助成】 後期高齢化率が高い八木山地区において、現在の八興クラブの活動拠点の機能を拡張し、ソーシャルインクルージョンの理念に基づく互助の仕組みを作り上げる。	健康福祉・ 医療、まち づくり	八興(老人)クラブ、一般社団法人ございん八木山、特定非営利活動法人まちづくりスポーツ仙台	・不要なものを近隣で譲渡し合える「ただもん市」の実施(計7回) ・「わいわい会議」(居場所づくりのワークショップ)を開催(計5回)	1,440	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
17	[前ページ続き] 地域づくりパートナープロジェクト推進 助成事業	ふるさとを整える一若林区井土地区における地域資源活用を軸にした地域の継承に向けた取り組み【協働実践助成】 「住民自身が主体性を持って井土を『ふるさと』として継承していくための仕組みをつくる」ことを目標に、「多世代が集まれる場づくり」、「固有の資源を内外に発信するための魅力づくり」および「ふるさとに通うきっかけづくり」に重点を置いた活動を展開する。	まちづくり、 地域経済 活性化、環 境	井土町内会、井土実行組合	・井土プチマルシェの開催 ・井土自然環境学習会の実施(計3回) ・井土クリーン作戦(計11回) ・井土まちづくりレポートの作成(計5回発行)	543	[前ページ続き] 市民局 市民協働推進課
18		空き店舗を活用した子育ての孤立・孤独防止のためのシェアスペース事業【協働実践助成】 長年空き店舗だった雑居ビルをリノベーションしたスタジオ空間を活用し、地域の子育て層の孤立・孤独防止を目的に様々な支援事業を行う。母親の趣味を小さな商いに発展させることでエンバワメントすることを目的に、空間、趣味の材料、子育てのシェアを促進する取り組みを、固定の場所というメリットを活かし促進する。また、市内の文化芸術の発展のため子育て世帯との橋渡し的な役割を果たす。	まちづくり、 子どもの健 全育成	NPO法人アートワークショップす んぶちよ、ママンコン運営委 員会	・子供を遊ばせたり、昼食をとることができる子育てひろばを開催(計40回) ・子育てひろば登録者数(計44人) ・子育て関係団体等との連携促進	1,036	
19		荒町・連坊地域におけるニーズ・シーズのマッチングシステムの構築【協働実践助成】 地域(町内会・商店街・住民)、大学(教職員・学生)の間で双方のシーズとニーズのマッチングを図る「場」を創出し、その「場」を介して相互理解促進に繋がる取り組みを行う。	社会教育、 まちづくり、 地域経済 活性化、地 域安全活 動	東北学院大学地域連携セン ター、荒町地区連合町内会、 連坊地区町内会連合会、荒町 商店街振興組合、連坊商興 会、むにやむにや通り商店街商 興会、荒町市民センター	・地域と大学の意見交換会(計9回) ・事業キックオフミーティングの実施 ・地域と大学による交流イベント(ワーク ショップ)の実施 ・地域と大学の学生が協働する活動に向 けた意見交換会	237	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
20	[前ページ続き] 地域づくりパートナープロジェクト推進 助成事業	荒井地区における地域企業の通勤バスを 活用した地域モビリティの実証実験【ソー シャルビジネス的手法による地域づくり促進 助成】 地域住民の外出機会の増加や住民同士 の交流、地域のお店等への経済効果など を目指し、地域企業が運行する通勤バス の非稼動時間帯を活用した地域モビリティ の事業性を検討するため、地域交通政策 の専門家のアドバイスを受けながら、昨年 度実施したアンケート分析結果等をふま えた運行内容の検討とシステム開発を行い、 モニターによる実証実験を通じた検証を行 う。	まちづくり、 地域経済 活性化	一般社団法人荒井タウンマネ ジメント、産電工業株式会社	・モニター募集チラシの配布(3,000部) ・荒井モビリティの実証実験(12日間、モ ニター計46人) ・モニターへのアンケート調査実施 ・アンケート結果報告 ・実施報告の作成	3,000	[前ページ続き] 市民局 市民協働推進課
21		シェア型図書館を通じた多世代コミュニ ティの構築～社会的処方のできる地域丸 ごとケアサポート～【ソーシャルビジネス的 手法による地域づくり促進助成】 私設シェア型図書館として、地域コミュニ ティのサードプレイスを設置する。福祉専門 職が中心として関わり、子育て世代や小中 高校生、そして高齢者を含めて無理のない 形でゆるやかにつながり、それぞれの世代 での役割づくりを行い、荒井地域での地域 共生社会の実現に寄与する。	健康福祉・ 医療、社会 教育、まち づくり、子 どもの健全育 成	特定非営利活動法人まちあ す、Hugくみ	・荒井まちのわ図書館を開館 ・図書カード発行(計100人超) ・本棚オーナーの募集(延べ63人) ・社会福祉人と共催でイベントを実施 ・私設図書館について対話型イベントを 開催	2,848	
22	地域協働サポートプログラム	【将監地区】 将監複合施設内に設置予定の市民交流 スペースについて、スペースの管理・運営 方法等の課題の整理等を行う。	まちづくり	「みんなのサロン」運営委員会	まちづくり活動に関する専門的人材 (コーディネーター)を派遣し、課題の整 理等に向けた検討会議の実施等につい て伴走支援を行った。 派遣期間:4月～令和5年2月	500	市民局 地域政策課
23		【ハイランド地区】 今後のまちづくりやあり方を検討していく にあたって、他のエリアの事例やまちづくりに 関する知識を持った有識者を派遣し、当該 地域住民等の協議・検討が円滑に進めら れるようにサポートする。	まちづくり、 地域安全 活動	ハイランド自治会	まちづくり活動に関する専門的人材 (コーディネーター)を派遣し、地域の課 題解決に向け伴走支援を行った。 派遣期間:7月～令和5年3月	300	
24	コミュニティまつり助成	町内会、連合町内会が主催または中心 となり実施するコミュニティまつりの一層の 振興を図るため、その経費の一部を補助す る。	まちづくり	仙台市内の町内会または連合 町内会(コミュニティまつりのた めに設けた実行委員会を含む)	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 から、131件の助成金を交付した。なお、 令和4年度は時限的に、コロナ禍で停滞 した町内会等の活動再開を後押しするた め、助成1件当たり一律1万円を増額し た。	5,465	市民局 地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
25	町内会等育成奨励金	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会の運営経費の一部を援助することにより、町内会等の育成を図り、もって地域住民の福祉の向上を図るとともに、住民の市政参加を促進することを目的とする。	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	町内会等育成奨励金交付世帯数：402,927世帯	213,552	市民局 地域政策課
26	市連合町内会会長会運営補助金	市内の連合町内会組織との連絡協調を目的として活動する仙台市連合町内会会長会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	まちづくり	仙台市連合町内会会長会	補助金交付実績：1件	2,800	市民局 地域政策課
27	市連合町内会会長会創立五十周年記念事業補助金	本市と町内会等住民自治組織とのパイプ役として活動されている仙台市連合町内会会長会の創立五十周年を祝い、今後のより活発な同会の活動を期するとともに、市との協力関係を維持するため、記念事業費の一部を補助する。	まちづくり	仙台市連合町内会会長会	補助金交付実績：1件	3,841	市民局 地域政策課
28	市連合町内会会長会創立五十周年記念事業共催負担金	本市と町内会等住民自治組織とのパイプ役として活動されている仙台市連合町内会会長会の創立五十周年を祝い、今後のより活発な同会の活動を期するとともに、市との協力関係を維持するため、町内会加入促進事業の一部を負担する。	まちづくり	仙台市連合町内会会長会	負担金交付実績：1件	1,642	市民局 地域政策課
29	区連合町内会会長協議会運営補助金	区内の連合町内会組織との連携協調を目的として活動する区連合町内会会長協議会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	まちづくり	区連合町内会会長協議会	補助金交付実績：5件	4,276	市民局 地域政策課
30	地区連合町内会運営補助金	地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営および活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。	まちづくり	地区連合町内会	補助金交付実績：111件	11,846	市民局 地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
31	地区集会所建設等補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	補助金交付実績：29件	80,562	市民局 地域政策課
32	地区集会所借上補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	補助金交付実績：9件	1,285	市民局 地域政策課
33	屋外掲示板設置補助金	町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	屋外掲示板設置実績：19基	534	市民局 地域政策課
34	仙台市民間シェルター入所者支援等事業補助金	女性に対する暴力の根絶およびDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。	男女共同 参画社会	(DV被害者の安全確保の観点から、非公開)	民間シェルター入所者に対する支援およびDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。	2,400	市民局 男女共同参画課
35	多様な性のあり方に係る居場所づくり事業	性的少数者などが抱える孤独や不安の解消の一助および多様な性のあり方についての理解促進を図るため、安心して過ごせる居場所を設ける。 ※平成30年度から令和元年度にかけて行った市民協働事業提案制度採択事業「にじいる協働事業」において行った事業の一部を市が引き継いで実施するもの。	男女共同 参画社会	一般社団法人プレスみやぎ	コミュニティースペース「にじのひろば」を4月～令和5年3月の間月1回設置した。 延べ参加者数：136人	536	市民局 男女共同参画課
36	父親の家事・育児参加推進事業	企業等で働く男性を対象とした男女共同参画意識醸成に向けた出前型講座を行う。 ※令和3年度市民協働事業提案制度採択事業	男女共同 参画社会	特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク	企業等で働く男性に向けて、男性が家事や育児等に参加することの必要性や効果、男性自身が得られるメリット等について伝える講座を行った。 参加団体数：3団体 男性の講座参加者数：17人	230	市民局 男女共同参画課
37	仙台市防犯団体に対する補助金交付事業	犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	まちづくり、 地域安全 活動	仙台市防犯協会連合会、各地区防犯協会連合会、各単位防犯協会	補助金交付実績：80件	22,858	市民局 市民生活課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
38	仙台市地域安全安心まちづくり事業	地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	まちづくり、地域安全活動	概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付実績：12件	862	市民局 市民生活課
39	国分町地区安全安心街づくり推進	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民および来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。	まちづくり、環境、地域安全活動	国分町地区安全安心街づくり推進協議会	国分町安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。 夜間パトロール：10回 環境美化活動：1回 国分町安全安心パレード：1回	—	市民局 市民生活課
40	各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。	まちづくり、地域安全活動	町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察	各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動などの安全安心街づくりに向けた事業を実施した。	1,109	市民局 市民生活課
41	山岳遭難防止活動団体に対する補助金	山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	地域安全活動	宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部	補助金交付実績：3件	990	市民局 市民生活課
42	地域版避難所運営マニュアル作成	指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。	まちづくり、地域安全活動	町内会等の地域団体、学校等の施設管理者	地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣：7件 指定避難所195か所すべてのマニュアル作成済み。	125	市民局 市民生活課
43	仙台市自転車の安全な活用推進計画に基づくモデル事業	各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動に関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。	地域安全活動	地域住民、学校、地区交通安全協会等	定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。	2,897	市民局 自転車交通安全課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
44	仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業	地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。	地域安全活動	仙台市交通安全母の会連合会	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限されながらも、市内各地域で交通安全啓発活動を行った。	910	市民局 自転車交通安全課
45	消費生活パートナー事業	消費生活センターと地域をつなぐ担い手(パートナー)を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止および消費生活相談窓口の周知を図る。	消費者保護	市民(公募による)	消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。 登録者数:47人	31	市民局 消費生活センター
46	仙台市消費者団体活動補助金	消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。	社会教育、消費者保護	認定特定非営利活動法人消費者市民ネットワーク、仙台市生活学校連絡協議会、特定非営利活動法人障がい者の暮らしとお金の相談室、宮城野親子で料理プロジェクト	補助金交付実績:4件	1,750	市民局 消費生活センター
47	福祉避難所	介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。	健康福祉・医療	社会福祉施設等運営法人	令和4年度協定締結施設:16施設 (累計156施設)	1,523	健康福祉局 総務課
48	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	地域における支えあい・助けあい活動を推進するため、地区社会福祉協議会を主体に、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体の連携により実施される地域福祉活動の費用の一部を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	健康福祉・医療	地区社会福祉協議会	助成金交付実績:104件	18,678	健康福祉局 社会課
49	再犯防止推進事業	仙台保護観察所、仙台矯正管区、本市の共催で仙台市再犯防止推進ネットワーク会議を設置し、更生支援や福祉的支援を実施する機関や団体が、支援の現場での円滑で継続的な連携・協力関係を築き、犯罪や非行をした人の立ち直りと地域生活の継続を支える取り組みを推進する。	健康福祉・医療	仙台地方検察庁、宮城刑務所、東北少年院、東北少年院青葉女子学園、仙台少年鑑別所、宮城県地域生活定着支援センター、仙台市社会福祉協議会、仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてつぷ」、仙台矯正管区、仙台保護観察所、仙台市保護司会連絡協議会	・仙台市再犯防止推進ネットワーク会議:3回 ・仙台市再犯防止推進セミナー:1回 ※セミナーは主に協働の相手方の実務者 参加者数:41人 ・支援者のための立ち直り支援ハンドブックの作成	447	健康福祉局 社会課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
50	福祉まつり「ウエルフェア」	障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。	健康福祉・医療	仙台市障害者福祉協会(受託者)、その他実行委員会を構成する関係団体	開催回数:2回(秋季屋外ウエルフェア、冬季屋内ウエルフェア・障害者週間記念式典、障害者差別解消条例に関する講演など開催)	4,502	健康福祉局 障害企画課
51	障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業 バリアフリー・コミュニケーション・イベント「バリコミュ・シュワッチ・クラブ」	若年層への障害理解の促進および心のバリアフリーの推進を図るため、市内児童館に通う児童等を対象に手話のワークショップを実施する。	健康福祉・医療	特定非営利活動法人とっておきの音楽祭	実施回数:10回	2,000	健康福祉局 障害企画課
52	難病医療相談会	患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働により企画を行う。	健康福祉・医療	特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)	実施回数:12回 (MPC委託による実施7回、各区主催の実施5回)	508	健康福祉局 障害者総合支援センター
53	仙台市給食サービスボランティア助成事業	ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保および孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。	健康福祉・医療	食事サービスふたばの会、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」	助成金交付実績:3件 延べ配食数:37,812件	13,368	健康福祉局 高齢企画課
54	老人つどいの家(好日庵)	高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。	健康福祉・医療	老人クラブ	助成金交付実績:77件	23,551	健康福祉局 高齢企画課
55	老人クラブ活動事業助成	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。	健康福祉・医療	老人クラブ	助成金交付実績:368件	17,251	健康福祉局 高齢企画課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
56	仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業	ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。	健康福祉・医療	フラッシュグループ、ゆうゆう(結遊)、ふれあいサロンゆうあんどあい、ふれあいサロンかざとり、南光台ボランティア友の会、けやきの会、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会	助成金交付実績:7件 延べ実施数:470件	5,487	健康福祉局 高齢企画課
57	住民主体による訪問型生活支援活動団体立ち上げ支援等事業	要支援者等を対象とする、住民主体による訪問型生活支援活動を実施するボランティア団体等の立ち上げに要する費用の助成を行う。	健康福祉・医療	ちよこつとお助け隊、寺岡地区社会福祉協議会、生活サポートKIRAKU	助成金交付実績:3件	244	健康福祉局 高齢企画課
58	認知症カフェ支援事業	認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。令和元年度から、認知症カフェに対して認知症当事者とパートナーを派遣して講話等を行う事業を実施。	健康福祉・医療、まちづくり	認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体(認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等)	①情報交換会(認知症カフェネットワークミーティング・認知症カフェセミナー)実施回数:2回 ・認知症カフェネットワークミーティング参加者数:40人 ・認知症カフェセミナー参加者数:集合型90人、オンライン型218人 ②認知症カフェへの認知症当事者・パートナー派遣(出張おれんじドア):10か所	734	健康福祉局 地域包括ケア推進課
59	介護予防自主グループ支援事業	地域における介護予防活動の推進を目的に、介護予防運動サポーターの人材育成、介護予防自主グループ活動が継続するための後方支援を実施する。	健康福祉・医療	地域住民により自主的に結成されている介護予防自主グループ、地域包括支援センター	・サポーター養成研修 実施回数:57回 参加者数:延べ379人 ・スキルアップ研修 実施回数:39回 参加者数:延べ779人 ・活動継続支援 実施回数:32回 支援者数:延べ62人 ※自主グループ数:235グループ	5,591	健康福祉局 地域包括ケア推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
60	認知症サポーター等養成事業	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成するための講師を派遣する。なお、養成のための講師は、講座開催のために「キャラバン・メイト養成研修」を受けた「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボランティアの立場で行う。認知症サポーターとして実際に活動している方の事例を紹介し情報を共有する「認知症サポーター情報交換会」も開催している。また、ご本人の思いや希望に耳を傾け、味方になって一緒に歩む人を「パートナー」と呼び、身近にいる当事者と話をし、やりたいことを手助けできる人を養成する「認知症パートナー講座」を実施する。認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。	健康福祉・医療、まちづくり	「キャラバン・メイト」として登録された人、市民(認知症サポーター養成講座を受講した人等)	・キャラバンメイト養成研修:1回(養成者数:34人) ・認知症サポーター養成講座:139回(養成者数:4,867人) ・認知症サポーター情報交換会:1回(参加者数:26人) ・認知症パートナー講座指導者養成研修(キャラバンメイトスキルアップ研修):1回(養成者数:26人) ・認知症パートナー講座:27回(委託2回、地域での開催25回)(養成者数:391人(委託63人、地域での開催328人))	1,196	健康福祉局 地域包括ケア推進課
61	市民健康プラン推進(フッ化物歯面塗布助成事業)	むし歯のない3歳児を増加させることを目指し、乳児健診等において、歯と口の健康づくりへの動機づけを行う。また、生後8か月から1歳6か月を迎える前日までの乳幼児を対象に、登録歯科医療機関でのフッ化物歯面塗布に要する1回分の費用を公費助成する。	健康福祉・医療	一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市医師会	・「☆せんだい☆でんたるノートF」を作成し、8か月児から9か月児の保護者へ啓発を実施。 ・登録歯科医療機関を対象とした研修会(WEB開催):2回開催 ※令和3年度まで記載していた「市民健康プラン推進(3歳児カリエスフリー85プロジェクト)」は、目標達成に伴い発展的に解消し、令和3年度途中から本事業により継続して取り組むこととしたもの。	8,251	こども若者局 こども家庭保健課 (子供未来局 子供家庭保健課)
62	市民健康プラン推進(がん予防啓発)	民間企業と協定を締結し、がん検診等市民健診受診に関する啓発を行う。	健康福祉・医療	アイリスオーヤマ株式会社他 21企業・団体	企業との協定締結:累計22件	312	健康福祉局 健康政策課
63	歯と口の健康週間 市民のつどい	歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に普及啓発し、適切な健康習慣の定着を図る。	健康福祉・医療	東北大学大学院歯学研究所・歯学部、一般社団法人仙台歯科医師会、仙台市私立幼稚園連合会、宮城県栄養士会等	5歳児むし歯予防絵画作品展 来場者数:8,751人 WEB開催で関係団体より歯科保健情報発信	100	健康福祉局 健康政策課
64	看護師離職防止対策事業	看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。	健康福祉・医療	公益社団法人宮城県看護協会	新卒新人研修 3テーマ 計8回 卒後2年目研修 1テーマ 計2回	1,019	健康福祉局 健康政策課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
65	食で健康サポート店事業	健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。	健康福祉・医療	市内飲食店、食料品販売店、給食施設	登録件数:83件	11	健康福祉局 健康政策課
66	受動喫煙防止宣言施設事業	県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。	健康福祉・医療	事業所、飲食店等	令和4年度登録件数:32件 (累計:1,288件、うち市内施設:699件)	—	健康福祉局 健康政策課
67	こころの健康づくり事業(自死遺族等に対する支援事業補助)	自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台いのちの電話他2団体	補助金交付実績:3件	487	健康福祉局 健康政策課
68	せんだい健康づくり推進会議	健康づくりに取り組む関係団体および企業(ワーキング)と共に、健康づくりの取り組みを共有するほか、イベント実施等を通し、市民の健康づくり啓発に繋げる。	健康福祉・医療	健康づくりを推進する関係団体および企業	推進会議2回開催(対面1回、書面1回) ワーキング対面1回開催 活動量増加の取り組みを実施中	44	健康福祉局 健康政策課
69	収容動物の譲渡事業	動物管理センター(アニマル仙台)に収容された犬や猫の譲渡会を実施する。	その他	特定非営利活動法人エーキューブ	収容動物譲渡会実施回数:33回	—	健康福祉局 動物管理センター
70	仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発および検査受検促進事業	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知および充実を図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。 (2)MSM(男性間性交渉者)を対象とした受検促進 HIV感染のハイリスク層であるMSMを対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。	健康福祉・医療、その他	やるっこ	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 ・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続 閲覧件数:4,577件 ・Twitterを用いた情報発信:エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR (2)MSMを対象とした受検促進 ・MSM向けアプリケーション(バナー)広告掲載回数:年2回、合計5週間 ・仙台市が行った「男性限定検査イベント in 仙台(10月)」、および世界エイズデー(12月)に合わせた検査機会増設について、啓発ポスター・カードを作成。市内のMSM向け商業施設に配布。 (配布実績:2回、各10店舗、ポスター計50部、カード計600部)	574	健康福祉局 感染症対策室
71	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付	献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。	健康福祉・医療	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会	補助金交付実績:1件	275	健康福祉局 健康安全課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
72	環境衛生改善機器等整備補助金交付	ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に布設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。	健康福祉・医療, 環境	原則として町内会(これにより難しい場合には連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組合)	補助金交付実績:34件	995	健康福祉局 生活衛生課
73	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協会員)が会員となつて行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協会員の中から選任されたサプリーダーが行う。	子どもの健全育成	協会員	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。	4,155	子ども若者局 総務課 (子供未来局 総務課)
74	のびすくネット仙台	コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。	子どもの健全育成, その他	ラジオ3(株式会社仙台シティエフエム)	子育て支援に関する情報発信を行った。 放送回数:52回(うち半数は再放送)	—	子ども若者局 総務課 (子供未来局 総務課)
75	ひとり親家庭等生活向上支援事業	専用ホームページによる情報発信や支援制度をプッシュ型でお知らせするほか、メールを活用した相談や平日夜間・土曜日の対応、居宅への訪問による相談支援、区役所等支援機関への同行支援等を行う。	子どもの健全育成	特定非営利活動法人STORIA	延べ相談件数:7,101件	21,290	子ども若者局 子ども支援給付課 (子供未来局 子供支援給付課)
76	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中학생に対し、学力の向上のための学習支援および心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人アスイク	平成25年度は太白区、平成26年度は太白区と青葉区でモデル事業を実施し、平成27年度より全区へ拡大した。 参加者数:244人	70,384	子ども若者局 子ども支援給付課 (子供未来局 子供支援給付課) 健康福祉局 保護自立支援課
77	子ども食堂助成金	子どもの健やかな育ちを応援するため、「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体に対し、事業費の一部を助成する。	子どもの健全育成	「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体	助成金交付実績:40件	10,663	子ども若者局 子ども支援給付課 (子供未来局 子供支援給付課)

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
78	仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付	青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。	社会教育、子どもの健全育成	ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会連合会、仙台市子ども育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会、仙台市児童・青少年健全育成推進会議、一般社団法人宮城県青年会館	補助金交付実績：10件	5,077	こども若者局 こども若者相談支援センター (子供未来局 子供相談支援センター)
79	仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付	仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。	まちづくり、子どもの健全育成	仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体および、それらの団体の連絡協議会	補助金交付実績：76件	8,000	こども若者局 こども若者相談支援センター (子供未来局 子供相談支援センター)
80	せんだいE-Action	市民、企業、行政などが協働して3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行い、脱炭素都市づくりにつなげる。	社会教育、まちづくり、環境	せんだいE-Action実行委員会	SDGsWeekや新緑祭等の対面型イベントへの出展や打ち水イベント、Instagram等を活用した環境配慮行動を促すキャンペーンを実施した。(延べ参加者数：3,330人) WEBを活用した取り組みとして、省エネ啓発動画の配信等を実施した。(動画配信数：6本) ・緑のカーテンの普及(小学校1校)	4,938	環境局 環境共生課
81	社の都の市民環境教育・学習推進会議(FEELSendai)	市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。	社会教育、まちづくり、環境、子どもの健全育成	社の都の市民環境教育・学習推進会議	・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。(実践件数：62件) ・市民活動団体等による環境社会実験企画を募集・実施した。(実施企画数：4件) ・環境フォーラムせんだいを開催し、市民、事業者等が環境に関する取り組みについて市民向けに展示、発表を行った。(延べ来場者数：3,900人)	3,784	環境局 環境共生課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
82	アメニティ・せんだい推進協議会	市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言および意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ごみ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動を行う。	環境	全環衛生事業協同組合、株式会社仙台市環境整備公社、一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会、特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「エコフェスタ2022」来場者数:約4,000人 3R講師派遣事業実施回数:4回 3Rわかる本追加付録発行:15,000部	3,894	環境局 家庭ごみ減量課
83	集団資源回収事業	資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。	環境	町内会、子ども会等	実施団体に対して、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき・リーフレットを配付した。 実施団体数:1,219団体	61,371	環境局 家庭ごみ減量課
84	地域清掃支援	「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人に対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	環境	ボランティア清掃活動を行う市民、事業者、町内会等	ごみ袋配布枚数: 大袋339,176枚、小袋120,691枚	10,315	環境局 家庭ごみ減量課
85	仙台まち美化サポート・プログラム	市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	環境	ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等	登録団体数:283団体	—	環境局 家庭ごみ減量課
86	クリーン仙台推進員制度	ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	環境	町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト	クリーン仙台推進員:2,443人 クリーンメイト:1,485人 【クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合:約58%(令和4年度末時点)】	6,894	環境局 家庭ごみ減量課
87	地域ごみ出し支援活動促進事業	ごみ出しが困難で一定の要件を満たす高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体を対象に、活動実績に応じ、奨励金を交付する。	健康福祉・医療、環境	高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体	登録団体数:52団体 支援世帯数:104世帯(※実績報告のあった世帯数) 支援実施回数:6,790回	940	環境局 家庭ごみ減量課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
88	中心部商店街活性化促進事業	市中心部の8商店街振興組合等で構成される中心部商店街活性化協議会の運営の支援と中心部商店街の持続的発展のためににぎわい創出や来街機会向上を推進する。	まちづくり、地域経済活性化	中心部8商店街振興組合(名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール一番町、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市)	9月に仙台市中心部商店街活性化協議会が実施予定だった「一番町夜市」については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 (開催準備のために発生した広報費・製作費等の経費について、市から補助を実施した。)	1,623	経済局 商業・雇用支援課
89	商店街にぎわい創出事業・基盤整備支援	商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。	まちづくり、地域経済活性化	商店街振興組合および任意の商店会等	・商店街イベント助成事業:16件 ・商店街魅力向上事業:3件 ・商店街交流促進事業:1件 ・商店街集客力向上事業(商店街ファンづくりサポート事業):1件 ・商店街チャレンジ応援事業:0件	6,303	経済局 商業・雇用支援課
90	東北大学IIS研究センター	東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企業との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。	地域経済活性化	東北大学	延べ来訪数:61社 延べ訪問数:682社 延べWEB会議数:1,328社 競争的資金獲得支援:6件	26,995	経済局 産業振興課
91	せんだい日本語講座	外国人住民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から上級まで13クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	社会教育、国際交流・協力	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	講座開催数:666回 受講者数:前期73人、後期95人	1,960	文化観光局 交流企画課
92	日本語ティールーム	外国人住民を対象に行う日本語講座(託児付)。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティールームボランティアが務める。	社会教育、国際交流・協力	日本語ティールームボランティア	講座開催数:73回 受講者数:58人	300	文化観光局 交流企画課
93	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス 宮城	日本語を母語としない親子のために、高校進学についての相談対応を行う。	国際交流・協力、子どもの健全育成	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等	「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス 宮城」を7月に実施し、高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談を行った。オンライン配信を併用し、来場できない参加者が通訳付きで参加できるよう試みた。 参加者数:18人	70	文化観光局 交流企画課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
94	外国につながる子どもサポートせんだい	日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。	国際交流・協力、子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS	外国につながる子どもに関する相談対応およびコーディネーター派遣による支援の実施 相談受付:65件 コーディネーター派遣:41件	313	文化観光局 交流企画課
95	日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室	日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。	国際交流・協力、子どもの健全育成	宮城教育大学等	「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を8月3日～4日の2日間対面で実施し、学習支援を行った。 参加者数:外国につながる子ども18人	16	文化観光局 交流企画課
96	仙台多文化共生センター相談業務	仙台多文化共生センターにて、各種相談サービスを行う。	社会教育、まちづくり、国際交流・協力	外国人支援の会OASIS	相談受付数:3,518件 (日本人:1,219件、外国人:2,299件)	14,932	文化観光局 交流企画課
97	市民国際交流事業補助金	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。	国際交流・協力	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体	補助金交付実績:5件	444	文化観光局 交流企画課
98	秋保・作並定義・泉西部観光振興事業	主要観光地である仙台西部地区(秋保地区、作並定義地区および泉西部地区)において、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的とした事業について助成する。	まちづくり、地域経済活性化	仙台西部地区に所在地を有し、観光振興を目的として活動している観光協会、旅館組合、商工会、その他観光推進団体	助成金交付実績:15件	11,973	文化観光局 観光課
99	スポーツコミッションせんだい	大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。	文化・芸術・スポーツ・学術	スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関	スポーツイベントについての開催支援数:3件 大会誘致数:7件	5,243	文化観光局 スポーツ振興課
100	仙台市学区民体育振興会連合会育成補助	小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会、117学区民体育振興会	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 補助金交付実績:1件	17,779	文化観光局 スポーツ振興課
101	仙台市スポーツ協会育成補助	種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。	文化・芸術・スポーツ・学術	市スポーツ協会、区スポーツ協会	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 補助金交付実績:1件	17,814	文化観光局 スポーツ振興課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
102	仙台市レクリエーション協会育成補助	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。	文化・芸術・スポーツ・学術	市レクリエーション協会、区レクリエーション協会	仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 補助金交付実績:1件	605	文化観光局 スポーツ振興課
103	公益財団法人仙台市市民文化事業団事業(支援・助成・協力)	市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。 ①助成事業:審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。 ②協力事業:イベント等の制作面での協力をを行う。 ③支援事業:公益財団法人仙台市市民文化事業団のホームページ等を活用し、市民企画事業などの発信、広報支援を行う。	文化・芸術・スポーツ・学術	事業を主催し実施する市内の団体(個人)、事業を主催し市内で実施する市外の団体(個人)	①助成件数(採択):122件 ②協力件数:79件 ③支援件数:128件	15,461	文化観光局 文化振興課
104	舞台芸術振興事業(につかわ文化祭)	作並小学校新川分校跡施設を会場に、地域住民、文化芸術団体等との連携のもと、演劇を中心とした舞台芸術等の企画を多数盛り込んだ文化祭を模した事業を実施する。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人作並・新川地区活性化連絡協議会	学校の教室や体育館を会場に、演劇や朗読劇、音楽ライブなど、文化芸術にまつわる出し物を行った。地域住民による特産品販売や、地域の伝統である田植え踊りに関する展示、地域探索ツアーなど、新川地区にまつわる出展も行い、文化芸術を通して地域の魅力創出、交流拡大、活性化にも繋げることができた。 開催期間:11月12日～13日 来場者数:299人	3,384	文化観光局 文化振興課
105	まちづくり支援専門家派遣事業	【あすと長町北部地区】 杜の広場や民間集客のポテンシャルを最大限生かし、杜の広場を起点ににぎわいを創出するとともに、商店街等を含む地域の回遊性を高めることで、長町地区の中長期的な価値向上につなげるため、まちづくりアドバイザーを派遣し、支援を行う。	まちづくり	杜の広場にぎわいづくり協議会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計5回	250	都市整備局 都市計画課 地下鉄沿線まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
106	[前ページ続き] まちづくり支援専門家派遣事業	【元寺小路地区】 仙台駅東地区の暮らしやすさやにぎわいを高めるまちづくりへの寄与を目指し、地域住民等が担い手となって公園を運営していくための勉強会等の実施を、公園まちづくりの実施計画案の作成のため団体に対して、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	まちづくり	1、2号公園および藤村広場におけるイベント活性化委員会	コンサルタントを派遣し、検討会議などを行った。 派遣期間:10か月(6月1日～令和5年3月31日)	825	都市整備局 都市計画課 宮城野区 公園課
107		【中原地区】 地域の活性化を図りながら、災害に対する安全性・防災性の向上と良好な生活環境の形成に取り組み、幅広い世代が安心して住むことが出来るまちづくりに取り組むことを目的とした勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	まちづくり	中原振興会 まちづくり部会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計9回	450	都市整備局 都市計画課 宮城野区 街並み形成課
108		【宮町地区】 門前町にふさわしい活気に満ち、安全・安心な宮町(宮町通り)の実現に向けて、その歴史的・文化的価値を改めて確認・共有しながら、地域に必要な取り組みや「無電柱化」を含めた宮町・宮町通りのあり方などについて地域住民の間で再確認するため、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	まちづくり	「お宮町」まちづくり協議会準備会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計10回	500	都市整備局 都市計画課 青葉区 まちづくり推進課
109		【仙台駅北部地区】 地域のにぎわいづくりと来街者の増加による商業の振興のため、名掛丁地下歩道の環境改善に向けたワークショップの実施、東西それぞれの地区におけるまちづくり活動の連携を図るため、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	まちづくり	名掛丁地下歩道リノベーション事業推進協議会準備会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計10回	500	都市整備局 都市計画課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
110	[前ページ続き] まちづくり支援専門家派遣事業	【愛子東地区】 周辺環境と調和した市街地を図るべく、土地区画整理事業による道路、公園、広場、河川等の公共施設の整備を行い、良好な市街地を目指すことを目的とした勉強会等の実施や、まちづくり計画案の作成のため、まちづくりコンサルタントを派遣し、支援を行う。	まちづくり	愛子東地区世話人会	コンサルタントを派遣し、検討会議などを行った。 派遣期間:10か月(5月1日～令和5年2月28日)	660	都市整備局 都市計画課 市街地整備課
111		【連坊地区】 連坊エリアにおける、高架下をコミュニティ醸成の場とすることを軸としつつ、東北学院大学の開校も機として、新しい時代に向けた連坊エリアの取り組みを発展させるための今後のまちづくりの構想を作るため、まちづくりアドバイザーを派遣し、支援を行う。	まちづくり	連坊商興会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計7回	350	都市整備局 都市計画課 経済局 商業・雇用支援課
112		【実沢・小角地区】 休校となっている実沢小学校の今後をテーマとした意見交換や、検討を行う場を設置し、実沢小学校校舎の利活用の可能性や、利活用の検討を契機とした地域の活性化について検討するため、まちづくりアドバイザーを派遣し、支援を行う。	まちづくり	実沢小学校の今後とまちづくりを考える会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計4回	200	都市整備局 都市計画課 教育局 学校規模適正化推進室
113		【荒井駅北地区】 交通結節点としての好条件を生かした新たな視点のある市街地を図るべく、荒井駅を基点とした地域住民や来訪者の回遊性の向上、土地区画整理事業で整備される公園、広場等の公共空間を活用したにぎわいの創出など、地域を活性化しつつ持続的ににぎわいが生まれるまちの形成を目指す勉強会を実施するため、まちづくりアドバイザーを派遣し、支援を行う。	まちづくり	荒井駅北地区のまちづくりを考える会	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	300	都市整備局 都市計画課 地下鉄沿線まちづくり課
114	東部地域移転跡地利活用推進事業	防災集団移転後の七北田川以南の5地区(南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚)の跡地について、市民・事業者など、民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進める。	まちづくり	移転跡地利活用事業候補者	・事業者決定数:0事業者(累計18事業者) ・事業開始事業者数:1事業者(累計13事業者)	163,663	都市整備局 市街地整備課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
115	生活交通運行維持対策事業	【青山地区】 青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。	まちづくり	青山地区交通検討会	青山地区交通検討会での検討の場に参加し、地域住民、関係するバス事業者や区役所とともに検討を行った。安全なバスの運行のために設置した大型車感知システムの維持管理を行った。	825	都市整備局 地域交通推進課
116	みんなで育てる地域交通乗り乗り事業	【燕沢地区】 燕沢地区において、地域が主体となって運営する燕沢乗合タクシー「のりあい・つばめ」の取り組みを支援する。	まちづくり	燕沢乗合タクシー運営協議会	乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。	5,435	都市整備局 地域交通推進課
117		【坪沼地区】 坪沼地区において、地域が主体となって運営する坪沼乗合タクシー「つばぬま号」の取り組みを支援する。	まちづくり	坪沼乗合タクシー運営協議会	乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。	1,862	
118		【新川地区】 新川地区において、地域が主体となって運営する新川地区地域交通「ハツ森号」の取り組みを支援する。	まちづくり	新川地区地域交通運営検討会	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行等を支援するため補助金を交付した。	15,725	
119		【秋保地区】 秋保地区において、地域が主体となって運営する秋保地区地域交通「ぐるりんあきう」の取り組みを支援する。	まちづくり	秋保地区の交通を考える会	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行等を支援するため補助金を交付した。	16,024	
120	【生出地区】 生出地区において、地域が主体となって生出地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。	まちづくり	生出地区交通検討会	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行等を支援するため補助金を交付した。	10,605		

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
121	マンション管理適正化推進事業	マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。 市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。	その他	マンション管理支援ネットワーク せんだい・みやぎ(事務局:一般社団法人宮城県マンション管理士会)	・情報提供啓発事業 マンション管理基礎セミナー:2回 個別相談会(セミナー併設) 交流会(セミナー併設) 相談窓口等一覧の作成および 管理組合向けに配布 ・ネットワーク運営 全体会議:1回 運営会議:5回 各種部会:計8回 ・各団体相談事業(日常の相談対応、公開相談会の開催等) ・連合町内会意見交換会:1回	3,685	都市整備局 住宅政策課
122	住民モビリティ・マネジメント	路線バスの沿線住民を対象に、公共交通に関する情報の提供を行うとともに、住民が公共交通機関の利用について考える機会と場の提供を行い、自発的な行動変容を促すことで、過度な自動車利用からの脱却および路線バス利用の促進を図るもの。	まちづくり	川平地区関係町内会、川平小学校PTA、鶴ヶ谷地区関係町内会	鶴ヶ谷、川平地区の地域住民を対象に、公共交通利用を促す情報提供ツールの配布を行ったほか、公共交通をはじめとした乗り物のメリット・デメリットを遊びながら学ぶことができる交通すごろくを鶴ヶ谷西児童館で行った。また、地域の代表である町内会やPTAとの意見交換を行った。	4,164	都市整備局 公共交通推進課
123	まち再生・まち育て活動支援事業	【仙台駅東地区】 仙台駅東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり	仙台駅東まちづくり協議会	地域のエリアマネジメント団体が主体的に行う、民有地および道路や公園などの公共空間を利活用した回遊性の向上、にぎわいの創出に資する取り組みについて支援を行った。 仙台駅東まちづくり協議会の社会実験や活動支援:1件	5,995	都市整備局 都心まちづくり課
124		【青葉通地区】 青葉通エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり	青葉通まちづくり協議会	青葉通の日常利用を促進するため、街なかで働く人の平日利用に着目し、青葉通で働くことの価値の再発見を目指し、ワーカーの平日利用を豊かにする多様な場を公共空間や民地に設置する社会実験を実施した。 青葉通まちづくり協議会の社会実験や活動支援:1件	—	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
125	[前ページ続き] まち再生・まち育て活動支援事業	【肴町地区】 肴町公園周辺エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり	肴町公園周辺エリアまちづくり協議会	肴町公園周辺エリアビジョン検討委員会が、肴町公園周辺エリアまちづくりビジョン(案)を作成した。また、肴町公園において小規模拠点整備社会実験を実施し、晩翠通・広瀬通において、テラス席を設置した。 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会の社会実験や活動支援:1件	—	[前ページ続き] 都市整備局 都心まちづくり課
126		【荒井東地区】 荒井東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 地域安全活動	一般社団法人荒井タウンマネジメント	エリアマネジメント活動のうち、都市公園での収益体制構築について、団体からの継続的な相談や情報共有を図った。	—	都市整備局 地下鉄沿線まちづくり課
127		【八木山動物公園駅周辺地区】 八木山動物公園駅周辺エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり	八木山地区まちづくり研究会	地域団体のエリアマネジメント活動において、活動支援や庁内調整等を図った。	—	
128		【泉中央駅周辺地区】 泉中央駅周辺エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	まちづくり	泉中央駅前地区活性化協議会	国家戦略特区を活用した駅前広場の各種活動において、継続的な相談や情報共有を図った。	—	
129	まちなかウォークアブル推進事業	都心において、多様な人々の出会いや交流が生まれる人中心の都市空間へと転換していくため、居心地が良く巡り歩きたくなるようなウォークアブルなまちなか空間の形成を推進する。 道路や公園において、まちなかウォークアブルに関する改修や再構成を実施するとともに、人々の滞在環境を向上させる空間づくりに関するデザイン検討や社会実験などを実施する。 また、まちなかウォークアブル区域内の民間事業者による、公共空間と一体的に人々の滞在快適性を向上させる空間整備やイベントなどの事業の実施を支援するとともに、まちづくり活動に取り組む民間事業者などによる、道路や公園の占用特例制度の活用を推進する。	まちづくり	青葉通まちづくり協議会、仙台駅東まちづくり協議会、肴町公園周辺エリアまちづくり協議会	地域住民等が主体になって取り組む公共空間を活用した社会実験やイベント等の取り組みを支援した。計1,346日 【内訳】 ・青葉通の利活用を検証する社会実験(2日) ・宮城野通における多様なモビリティの社会実験等(365日)および榴岡公園での新たなにぎわいの創出とサービス向上を図る社会実験(241日) ・肴町公園における小規模拠点整備社会実験(363日)および晩翠通等におけるテラス席の設置(365日) ・定禅寺通等でのマルシェ等(10日)	1,675	都市整備局 都心まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
130	ストック活用型都市再生推進事業 (せんだいリノベーションまちづくり)	都心のスモールエリアや地下鉄沿線のエリアなどで、低未利用地の不動産オーナーなどの協力を得ながら、民間による遊休不動産のリノベーション事業を推進することで、民間による新たなローカルコンテンツの創出を支援する。 また、上記エリアやその周辺エリアにおいて、事業者による公共空間でのにぎわいづくりに資する利活用事業が日常的に実施できるよう支援する。	まちづくり	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会の委員が主体となる地域団体	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会のメンバーが、定禅寺通沿道に所有する民間ビルの一部を「IDOBA」にリノベーションした。また、同メンバーが、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使ったイベントを行った。(2件) 民間遊休不動産リノベーション事業:1件 公共空間等イベント件数:2件	—	都市整備局 都心まちづくり課 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課
131	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエアーマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。	まちづくり	定禅寺通街づくり協議会、一般社団法人定禅寺通エアーマネジメント、その他地域活動団体	道路空間の再整備と公共空間を活用した官民連携の取り組みにより、定禅寺通エリアの魅力を高め、都心全体の回遊性向上と活性化を図るため、「定禅寺通再整備方針」を3月に策定した。 公共空間利活用の取り組み(LIVING STREET PROJECT、イナトラほろ酔い縁日、ストリートアライアンス・ストリートショップ社会実験など)を実施した。 定禅寺通活性化推進事業や定禅寺通エリアのまちづくりについてお知らせするニュースレターを4回発行した。	36,609	都市整備局 都心まちづくり課 建設局 道路計画課 公園管理課 (まちづくり政策局 定禅寺通活性化室)
132	第40回全国都市緑化仙台フェア	都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることで、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的に開催される国内最大級の花とみどりの祭典「全国都市緑化フェア」を令和5年度に本市で開催するにあたり、市民や地域団体、民間事業者等との協働による会場づくりおよびフェア会期中のにぎわいの創出や公園の新たな利活用の推進等を図る。	まちづくり、 地域経済 活性化、環 境、その他	市民活動団体、地域団体、市内幼稚園・保育所・学校、企業、市民等	・市民参加等によるメイン会場などの花壇づくり 8回 ・市内小学校によるプランターづくり 16校(100基) ・仙台市老人福祉施設協議会と連携したプランターへの花植え 45施設(135基) ・東部エリア会場(せんだい農業園芸センター みどりの杜、海岸公園、高砂中央公園)における協働事業の実施に向けた連携協定の締結	362,089	建設局 全国都市緑化フェア 推進室
133	私道等整備補助	私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。	地域安全 活動	町内会等	補助金交付実績:21件	82,247	建設局 道路管理課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
134	街路灯整備補助	仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。	地域安全活動	町内会等	①街路灯設置補助 補助金交付実績:207団体 ②電気料金補助 補助金交付実績:580団体	①25,667 ②28,600	建設局 道路管理課
135	仙台雪道おたすけ隊	市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体	登録団体数:4団体 (今までに登録した団体総数:79団体)	—	建設局 道路保全課
136	仙台市歩道等除雪機械購入補助金	市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会等	補助金交付団体数:3団体 (今までに補助金を交付した団体総数:126団体)	795	建設局 道路保全課
137	ふるさとの杜再生プロジェクト	復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。 また、地元町内会、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットフォームとする。	まちづくり、環境、子どもの健全育成	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	・仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議開催数:6回 ・市民植樹の実施回数:2回 ・市内児童との協働による育樹体験:12回(東二番丁小学校ほか15校) ・市内生徒との協働による育樹活動:4回(東北学院高校、仙台第一高校) ・育樹会の実施回数:4回 ・海岸林育樹サポーター養成講座開催	37,104	建設局 百年の杜推進課
138	緑の活動団体の認定 緑の活動団体助成金	みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。	まちづくり、環境	緑の活動団体	緑の活動団体認定団体数:29団体 助成金交付実績:0団体	—	建設局 百年の杜推進課
139	花壇づくり助成事業	地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	まちづくり、環境	地域団体等	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:274件	9,989	建設局 百年の杜推進課
140	花いっぱいまちづくり助成事業	道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	まちづくり、環境	商店街	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:6件	2,436	建設局 百年の杜推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
141	仙台市公園愛護協会	公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。	まちづくり、環境	仙台市公園愛護協会各会	結成数:1,338団体 新規結成数:19団体	42,577	建設局 公園管理課
142	仙台市河川愛護会	河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。	環境	仙台市内の各河川愛護団体	延べ延長:971,701m 延べ参加者数:12,480人	1,300	建設局 河川課
143	広瀬川1万人プロジェクト	「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。	まちづくり、環境	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	参加者数は2,293人(春:894人と秋:1,399人)となり、また、回収したごみの量は488袋(春:227袋と秋:261袋)となった。 ※回収したごみの量は家庭用ゴミ袋大換算	—	建設局 百年の杜推進課
144	百年の杜づくりフォーラム	市民にみどりへの親しみを持ってもらい、みどりについて共に考える機会を提供する。	まちづくり	市民	「創造・想像しよう未来のまちの勾当台公園」と題して、勾当台公園再整備の基本計画策定に向けた、市民参加型のワークショップを開催した。	68	建設局 百年の杜推進課
145	緑化木植栽助成事業	緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	まちづくり、環境	地域団体等	助成金交付実績:1件	68	建設局 百年の杜推進課
146	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台伝統ものづくり塾	仙台の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台伝統ものづくり塾実行委員会	11月に仙台の瓦に関する全3回の連続講座、12月に藍で染める型染め体験、令和5年1月に玉虫塗のハンコ蒔絵体験を行った。 参加者数:仙台の瓦20人、藍染18人、玉虫塗10人	96	青葉区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
147	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区民まつり	11月3日(文化の日)に、地域や世代を超えた交流と区民意識の高揚を図ることを目的に、区内の多くの市民団体や企業の協賛を得ながら、区民の代表からなる実行委員会を組織し、区を挙げて区民手づくりのまつりを実施する。	まちづくり、 文化・芸術・スポーツ・学術	青葉区民まつり実行委員会	勾当台公園市民広場等を会場に、ステージや催事を行った。 開催日:11月3日 来場者数:約16,000人	6,180	青葉区 まちづくり推進課
148	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演	仙台のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演体験を実施し、上演者の養成も行っている。	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会	4月～令和5年1月にかけて計6回の上演会を行った。また、演じ手の育成を目的として紙芝居の上演体験会を行った。	45	青葉区 まちづくり推進課
149	区民協働まちづくり事業-企画事業: ほたるの里づくり	ホテルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民のホテルに対しての関心と、ホテルを大切にす運動を盛り上げるとともに、ホテルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。	まちづくり、 環境	仙台市ほたるの里づくり協議会	ホテルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動のほか、ホテル観賞会を開催した。また、市民にホテルの幼虫飼育を行ってもらう「里親の会」活動を通して、自然環境の維持保全等に積極的に関わる人材の育成に取り組んだ。	1,000	青葉区 まちづくり推進課
150	区民協働まちづくり事業-企画事業: 回文の里づくり事業	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、回文をことば遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。	地域経済 活性化	仙台・作並回文の里づくり実行委員会	「第25回日本ことば遊び回文コンクール」の開催、「地域回文クイズ及び回文募集」の実施、回文普及のため湯のまち作並観光交流館ラサントへ「回文ガチャガチャ」の設置、宮城地区まつりへの出店等を行った。	700	青葉区宮城総合支所 まちづくり推進課
151	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区まつり	まつりにかかわる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	いきいき宮城地区推進協議会、宮城地区まつり実行委員会	今年度3年ぶりに宮城地区まつりを10月23日に開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から飲食の出店を行わず、地域で活動する団体によるステージ発表、農産物・特産物の販売や子どもが楽しめるブースなどを実施した。また夜間にはイルミネーションの点灯、花火の打ち上げを行った。	2,020	青葉区宮城総合支所 まちづくり推進課
152	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大倉ダムの魅力発信事業	地域資源である大倉ダムを活用し、人口減少の続く仙台西部地区への交流人口の拡大と、西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼりを掲げることで、児童生徒の郷土愛を育むことを目指す。	まちづくり、 地域経済 活性化	大倉ダムの魅力発信実行委員会	5月3日～5日までの間、大倉ダムの堤体やダム下公園に西武地区の小中学校児童生徒が製作した鯉のぼりを設置、またにぎわいを作るためキッチンカーの手配、イステーブルや記念撮影用パネルを設置し、大倉ダムとその周辺の魅力を発信した。	500	青葉区宮城総合支所 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
153	区民協働まちづくり事業-企画事業: 個性ある地域づくり計画策定委員会	連合町内会単位の地域で策定委員会を組織し、2年間にわたり、これまで地元で形成されてきた貴重な歴史や文化をもとに自主的・主体的に地域の個性の創出に関する調査・学習活動等を行い、地域住民がまちづくりの方針を共有できる個性ある地域づくり計画の策定に取り組む事業であり、郷土固有の誇りと愛着を持てるまちづくり活動を進める。	まちづくり	「お宮町」まちづくり協議会	計画策定に着手し、令和5年度末までの完成を目指して検討が進められた。	483	青葉区 まちづくり推進課
154	区民協働まちづくり事業-企画事業: 令和風土記作成事業	かつて封内風土記や安永風土記などがその後のまちづくりと歴史研究に大きな役割を果たしたことを参考に、青葉区内の今日現在における地理の状況や遡れる範囲の歴史的知識(今後忘れ去られる恐れのある地域歴史や市民生活の歴史)を地域住民の手で連合町内会単位の「令和版風土記」としてまとめ、これからの歴史づくりに資するとともに郷土史の研究に役立てる。	まちづくり	東六地区令和風土記作成委員会	風土記作成に着手し、令和5年度末までの完成を目指して検討が進められた。	—	青葉区 まちづくり推進課
155	区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【環境教育と地域交流の融合】 学校林である青陵の森において、自然保護活動を行うことで森の安全を維持しながら、自然観察会を定期的に開催することにより環境教育の重要性を啓発し、地域交流の場としての活用を促す。	環境	特定非営利活動法人珀杜	青陵の森のスズメバチの駆除、自然観察会の実施、図鑑制作などを行った。	267	青葉区 まちづくり推進課
156		【白沢カルデラプロジェクト実行委員会】 白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を生かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指す。地域内の町内会や関係団体等との連携を強化し、地域コミュニティの活性化を図る。	社会教育、 文化・芸術・スポーツ・学術	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラの調査やパネル・写真展の開催などを行い、白沢カルデラのガイドブックを制作した。	450	
157		【おばあちゃんの玉手箱～手仕事ワークショップ～】 多くの世代が交流する場を設け、孤立・孤独の解消につながり新たなコミュニティを創るため、高齢者や子育て世代など、誰もが安心して過ごせるような手仕事ワークショップを開催する。	子どもの健全育成	一般財団法人仙台YWCA	計6回のワークショップを開催した。	180	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
158	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【美術公募展「第11回 せんだい21アンデパンダン展2022」】 審査がなく誰でも参加ができる公募展を、仙台市内の複数箇所の民間ギャラリーや町内会の管理スペースを会場として開催することで、表現者と観覧者の新たな交流の機会創出や、地域の魅力・活力を高めることにつなげる。	地域経済 活性化, 文 化・芸術・ス ポーツ・学 術	せんだい21アンデパンダン展実行委員会	美術公募展「第11回 せんだい21アンデパンダン展2022」を開催した。	300	[前ページ続き] 青葉区 まちづくり推進課
159		【定禅寺リビングストリート2022】 顔が見える日常的なにぎわいづくりのため、テーブルセットやベンチ等を歩道のケヤキ間に設置し、出店イベント等を実施することで、コミュニティの場の創出を目指す。	まちづくり, 地域経済 活性化	定禅寺リビングストリートプロジェクト	定禅寺通の歩道にテーブルセットやベンチを設置する「定禅寺リビングストリート」やマルシェの開催、フォトコンテストの開催などを行った。	343	
160		【青葉の風テラスを活用した屋外DJイベントにおける新たなコミュニティづくり】 市営地下鉄駅併設の屋外テラスを利用し、ウィズコロナ時代に即したDJイベントを開催する。ワークショップや県内食材を使用したテイクアウト等も実施し、幅広い世代が楽しめる機会を生み出す。	まちづくり, 文化・芸 術・スポー ツ・学術	一般社団法人IKI ZEN	屋外テラスを利用したDJイベントを計2回開催した。	350	
161		【謡 栗生流をひろめる事業】 「栗生流」と呼ばれる謡の文化および習俗を調査整理し、保存する。出版した書籍を基に、WEB公開やパネル展示など広報活動を行い、謡の後継者の発見、育成を目指す。	文化・芸 術・スポー ツ・学術	栗生の民俗をたずねる会	栗生流のDVDを作製し、地区まつり等で上演した。また、栗生流の紹介チラシやWEBページを制作した。	331	
162		【く(国見ヶ丘)よ(吉成)み(南吉成)の自然を守る・歴史文化を伝える】 地域に愛着を持たせ、共通の想いを創るためには、地域の自然・歴史文化を知ることが必要と考え、地域住民を対象とした自然観察会の開催や街道歩きガイドマップの作成を行う。	環境	くよみ郷土研究会	青陵の森などでの自然観察会や、芋沢街道のガイドマップ制作を行った。	190	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
163	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【子育てサロンおよび認知症カフェ等の共催運営事業】 地域の中にある子育てや高齢者向けの既存団体・組織と共催して、子育てサロンや認知症カフェ等を運営する。各地域の自助だけでは困難になってきている地域活動を、既存組織との共催という形をとることで、不足部分を補いながら地域のコミュニティカを最大限に生かして企画運営する。	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	一般社団法人WITH	児童向けブックトークや老壮大学講座などを共催で開催した。	31	[前ページ続き] 青葉区 まちづくり推進課
164		【ともに学び一緒にアクション・八幡町SDGs商店街】 SDGsについて、地域住民・店主・子供たちが楽しみながら「気づき・学び・アクション」していける仕組みと場づくりを行う。リアル・オンラインのハイブリッドのセミナーやハロウィンイベントなどを開催する。	地域経済活性化	八幡町商店街ファンコミュニティ	「はちまんSDGsハロウィン」を開催した。	350	
165	未来につなぐ地域力推進事業: 学生の参加による地域づくり推進事業	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。	まちづくり	町内会等の地域団体、仙台市内の学生団体(サークル等)	地域での活動を希望する学生団体と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域イベントへの参加を促した。 依頼件数:8件 うちマッチング実績:5件 新規登録団体数:3団体	272	青葉区 地域力推進担当
166	未来につなぐ地域力推進事業: 仙台萬本さくらプロジェクト	青野木地区・大倉地区において、住民・事業者・行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。	まちづくり	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会	桜の苗の植樹本数:約600本	—	青葉区宮城総合支所 地域活性化推進室
167	未来につなぐ地域力推進事業: 作並・新川地区活性化事業	作並・新川地区において、町内会・自治会、事業所、各種団体等が連携して、協議会を設置し、地域活性化に向けた取り組みを行う。	まちづくり	特定非営利活動法人作並・新川地区活性化連絡協議会	令和4年度に作並・新川地区活性化プランを策定し地域の活性化に向けた事業を行った。	145	青葉区宮城総合支所 地域活性化推進室

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
168	未来につなぐ地域力推進事業： 先端技術を活用した宮城地区西部 の課題解決事業	高齢化や人口減少が急速に進む宮城地区西部において、休耕地の増加や学校の統廃合に伴う跡地利用、鳥獣害の増加などの様々な問題をICT等の先進的な技術を用いて解決する。	まちづくり	宮城地区西部地域課題検討会議(宮城地区西部の各町内会)	検討会議：年5回実施 ・個人所有の携帯端末を用いた電子回覧システムの実証を行うとともに、地域のニーズに対応した新たな機能を追加した。 ・農業の効率化、高収益化を目指し、農薬や肥料を使用しない早期湛水深水管理水稻栽培の実証を継続して行った。 ・鳥獣被害対策について、AIカメラによる鳥獣の動態把握の実証を開始した。	11,196	青葉区宮城総合支所 地域活性化推進室
169	戦災復興展	昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台的のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにするとともに、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。	社会教育、 まちづくり	仙台的のまちの復興と平和を語り継ぐ会等	戦災復興展を各種団体の協力により開催した。 来場者数：1,820人	1,500	青葉区 まちづくり推進課
170	青少年健全育成事業 子供のための日本語講座 「さっと日本語クラブ」	在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。 事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。	国際交流・ 協力、子ども の健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	実施回数：34回 延べ参加者数：458人	280	青葉区 中央市民センター
171	区民協働まちづくり事業-企画事業： 地域はつばい子育て支援事業	子育てを支える市民グループ・団体・区役所の協働により「地域はつばい子育てプロジェクト」を企画運営し、子育て中の母親の育児不安や地域での育児孤立の解消につながるよう、子育て情報の提供や保護者が子供と一緒に成長し子育ての楽しさを実感できる機会を提供する。	健康福祉・ 医療、まち づくり	みやぎの区民協議会子育て支援部会	①会議等の実施：5回 ②ママらいふ手帳の作成：3,000部(乳幼児のいる子育て中の世帯等に配布) ③部会員対象のママらいふ手帳活用講座のワークショップ体験：6月3日 ④わらべうたのふれあい遊び動画の作成・発信(動画はせんだいTubeに掲載) ⑤手作りおもちゃ、子育て支援センター写真付き案内パンフレットの配布(いずれもママらいふ手帳とともに配布)	374	宮城野区 まちづくり推進課 家庭健康課
172	区民協働まちづくり事業-企画事業： すずむしの里づくり事業	仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会・交換会の他、小学校等におけるスズムシ出前講座なども行う。昔の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。	環境	すずむしの里づくり実行委員会	講師派遣：小学校9校、環境局環境共生課・吉成市民センター共催「虫の声を楽しむ会」 配布会の実施：3会場、525人来場 実験放虫：6カ所に放虫 展示：市内17カ所に展示	436	宮城野区 中央市民センター

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
173	区民協働まちづくり事業-企画事業: おらほの公園草刈隊支援事業	魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸出のほか、活動を周知する看板を公園に設置する。	環境	企業、町内会、公園愛護協力会等によるボランティア団体(登録制)	登録団体数:51団体 (企業19団体、町内会等32団体) 実施団体数:33団体 (企業16団体、町内会等17団体) 延べ実施回数:142回 (企業40回、町内会等102回) 延べ機械貸出数:304台 (自走式草刈機:123台) (肩掛式草刈機:151台) (ヘッジトリマー:30台)	1,473	宮城野区 公園課
174	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの地域力向上支援事業	「地元学」の経験に学びつつ、1960～90年代に撮影された宮城野区の写真をもとに、定点撮影などのフィールドワークや地域住民へのヒアリングを通して、アーカイブ(記録)しながら地元の良さを再発見し情報発信する企画「みやぎの・アーカイブ」を実施する。「みやぎの・アーカイブ」を通して、地域のアイデンティティ形成や愛着の醸成を図る。	社会教育、 まちづくり、 文化・芸術・スポーツ・学術	町内会、区民等	・部活動(まち歩き)計3回 ・ミーティング:計1回 ・施設訪問:計3回 ・Facebook、Instagramを活用した情報発信(延べ60記事) ・活動成果発表会の開催:1回	725	宮城野区 まちづくり推進課
175	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野盆踊り普及事業	地域の繋がりづくりや地域活動の活性化のツールとして、宮城野区発祥の「宮城野盆唄」を使用した盆踊りを普及していく。	まちづくり、 文化・芸術・スポーツ・学術	やりましょう盆踊り実行委員会、 町内会、地域団体等	・踊り手派遣:計6人 ・講師派遣:計10人 ・青葉通地下道ギャラリー、夏まつり仙台 すずめ踊り、みやぎの・まつりでのPR活動 ・広報用手ぬぐいの作成(500枚)	619	宮城野区 まちづくり推進課
176	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野通・榴岡公園ふれあい魅力UP事業	宮城野通や榴岡公園等の地域資源の活用により魅力に満ちた公共空間を創出し、地域の活性化を図る。	まちづくり	地域団体等	・榴岡公園桜まつり(お花見)における桜のライトアップ	909	宮城野区 まちづくり推進課
177	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮文活性化事業	仙台市宮城野区文化センター前広場の活用により、地域のにぎわい創出を図る。	まちづくり	仙台市宮城野区文化センター (指定管理者:公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため催事の開催は中止し、広場内の環境整備を行った。	106	宮城野区 まちづくり推進課
178	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの・まつり	区民の相互交流とふるさと意識の醸成を図るとともに新たな出会いとコミュニケーションの輪を広げるため、区民協働のまつりを開催する。	まちづくり、 地域経済活性化、 文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎの・まつり実行委員会、 市民活動団体、区民等	・役員会:4回 ・実行委員会:5回 ・コロナ対策をしたうえで3年ぶりにまつりを開催。 ※感染対策の困難なコーナー(露店等)は中止	5,542	宮城野区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
179	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの・まちづくり若手人材育成 支援事業	次世代を担う若手人材育成を目的として、セミナーやワークショップ開催等を通してまちづくりの知識やノウハウの蓄積を図るとともに、地域の若手同士の交流の機会を創出し、ネットワークづくりを促進する。	社会教育、 まちづくり	市民活動団体、企業、区民等	・全体会(セミナー、ワークショップ):4回 ・フィールドワーク:2回 ・メンバー主催のまちづくりイベントの開催:1回	764	宮城野区 まちづくり推進課
180	区民協働まちづくり事業-企画事業: 震災の記憶伝承と命を守る防災学習事業	東日本大震災から10年以上が経過し、徐々に震災時の記憶が薄れつつある社会の風潮に歯止めをかけ、宮城野区に生きる区民全員が震災の記憶の伝承者となり、その記憶から得た教訓を生かした防災教育を展開できるような企画を実施する。	まちづくり、 地域安全 活動	市民活動団体、区民等	・朗読会(映像出演含む):4回 ・子どもたちへの語り部指導:1回 ・防災研修会:3回	240	宮城野区 まちづくり推進課
181	区民協働まちづくり事業-企画事業: ご近所ふれあいステップアップ事業	地域の安全安心に関わる課題に対し、地域社会全体のきずなを深めていくことで無縁社会に陥らないやさしいまちづくりを推進し、共に生き自立できる社会づくりを目指す。	まちづくり、 地域安全 活動	防犯協会を始めとした地域団体等	・会議:2回 ・防犯パトロール:1回 ・特殊詐欺防止キャンペーン:5回 ・飲酒運転防止キャンペーン:1回 ・市民センター・児童館での啓発活動:5回 ・注意喚起の横断幕設置:1か所	76	宮城野区 区民生活課
182	区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト】 仙台市の東西市街地を結んできたX橋「宮城野橋」をテーマにした講座やまち歩きイベントの企画、開催を通じ、X橋と駅東の歴史文化遺産を伝承・共有することにより、新旧住民の交流や活気ある地域コミュニティづくりに貢献する。	まちづくり、 地域安全 活動、国際 交流・協力	X橋保存会	・モニュメントのサイン制作 ・講座:1回 ・座談会:2回	200	宮城野区 まちづくり推進課
183		【ケアブレンドカフェミヤギノ】 地域コミュニティの創出の場として多職種多世代多国籍での集いを開催する。	まちづくり、 地域安全 活動、国際 交流・協力	特定非営利活動法人ケアブレンド	・カフェの開催:5回 ・説明会および交流会の開催:3回	156	
184		【デイハウス】 70～80代の方を対象に、要介護・要支援状態を未然に防止するとともに地域住民の生活の質を向上させることを目的とし、専門家による介護・健康のミニ講話、専門家による介護予防トレーニング、脳機能トレーニング等を実施する。	健康福祉・ 医療、まち づくり	デイハウス運営委員会	デイハウス事業:10回 地域セミナー:1回	250	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
185	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【市バスに乗って行こう-新浜の貞山運河 小屋めぐり】 新浜の集落から貞山運河までのガイド マップ制作や「新浜みんなの家」を拠点とし た、若いアーティストの視点による地域の魅 力を聞きながら新浜の集落から貞山運河 までを巡るガイドツアーを実施する。	まちづくり 文化・芸 術・スポー ツ・学術	貞山運河倶楽部	小屋めぐり:3回 ガイドマップ作成	182	[前ページ続き] 宮城野区 まちづくり推進課
186	未来につなぐ地域力推進事業: 海浜エリア活性化	東部沿岸地域において、東日本大震災 の記憶の継承と発信を行うとともに、地域の 豊かな自然など魅力ある資源を活用しな がら、海辺のにぎわいづくりを進める。	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体 等	地域の方々にご意見をお伺いしなが ら、「南蒲生町内会集会所」の施設ガイド 板を設置し、地域の魅力を発信した。	26,381	宮城野区 海浜エリア活性化担 当
187	未来につなぐ地域力推進事業: みやぎの地域づくり支援	多様な主体の連携による地域づくり活動 を支援するため、情報共有・課題検討を行 う勉強会や、実践活動につながるワーク ショップの開催などをサポートする。	まちづくり	田子西中央町内会	田子西中央町内会をモデルとして、地 域の課題を共有するためのワークショップ を1回、実践活動の子育て相談会を2回 開催した。	196	宮城野区 地域力推進担当 家庭健康課
188	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区民ふるさとまつり	地域、世代を超えた交流および区民意 識の醸成を図ることを目的に、区民との協働 により区民まつりを開催する。	まちづくり	若林区まちづくり協議会	・10月16日に若林区役所特設会場で 「第34回若林区民ふるさとまつり」を開催 した。 来場者数:延べ15,000人 ・若林区民ふるさとまつり実行委員会会 議を計7回開催した。	5,422	若林区 まちづくり推進課
189	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域メディアの活用によるく新しい 地縁>創造プロジェクト	コミュニティFMを活用して、若林区および 若林区まちづくり協議会が行う事業等の情 報を発信する。区民から番組を制作するス タッフを募り、取材や編成を行う。	健康福祉・ 医療、社会 教育、まち づくり、文 化・芸術・ス ポーツ・学 術、子どもの 健全育成	若林区まちづくり協議会	・7月2日～令和5年3月25日までの期間 中、第1・第3土曜日の午前10時～10時 30分に本放送、第2・第4土曜日に再放 送した。(制作本数18本) ・「ラヂオはいらいん若林」全体会議を計 4回開催した。 ・新たな取り組みとして、「ラヂオはいらい ん若林」まちづくり懇談会&ラジオ公開録 音を11月26日に開催した。	863	若林区 まちづくり推進課
190	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区合唱のつどい	合唱を通じた地域交流を図り、音楽を通 じて地域の人々との触れ合いの機会をつ くるとともに、地域文化活動の活性化を目 指している。	まちづくり 文化・芸 術・スポー ツ・学術	若林区まちづくり協議会、合唱 連盟わかばやし	・7月2日に若林区文化センターホールで 「第29回若林区合唱のつどい2022」を 開催した。 来場者数:約500人(出演者含む) ・若林区合唱のつどい運営委員会3回、 参加団体全体会議1回、区民合唱団 「宙(そら)」の練習6回を実施した。	393	若林区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
191	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」事業補助	広瀬川の河川敷(宮沢橋～広瀬橋)に特設会場を設営し、野外コンサート、花火打ち上げ、灯籠流し、縁日コーナーを開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	広瀬川灯ろう流し実行委員会	・8月20日に広瀬川河岸で「光と水とコンサートのタベ」を開催した。 来場者数:延べ40,000人	1,418	若林区 まちづくり推進課
192	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区健康づくり区民会議	「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇、健康づくりフェスティバルなどの主要事業、区内ウォーキングイベントでの健康啓発の他、健康づくり推進を検討する会議を行う。	健康福祉・ 医療	若林区マイタウンスポーツ協会、若林区スポーツ協会、若林区内内科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、仙台青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会	・会議等の開催:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・健康づくり寸劇の上演:感染対策を行い、保育所、幼稚園、健康づくりフェスティバルで実施。交流会を開催し、コロナ禍での今後の活動について検討。 ・健康づくりフェスティバル:感染対策を行い実施した。次年度は会場が大規模改修で使用できないため、開催内容について検討が必要。次年度以降の実施にむけ、実行委員会を開催。 ・若林区マイタウンスポーツ協会が主催するウォーキングイベントにおいて、げんきくん体操を実施した。	440	若林区 管理課 家庭健康課
193	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区魅力発信事業	若林区への愛着や興味を促進させることを目的に、地域の魅力を体感できるイベントである「若林わくドキまち歩き」の開催や区内の魅力を再発見できるように区内地下鉄沿線について記載したまち歩きマップ「若林WALKER」を発行する。また、若林区の魅力を広く発信するため、若林区の魅力を伝えるCMを作成するなど、若林区の魅力発信のための事業を進める。	まちづくり、 地域経済 活性化、そ の他	若林区まちづくり協議会	・4月9日に「新寺こみちを歩く 桜・お寺通り」をテーマにまち歩きを開催した。 ・9月10日に「貞山堀と震災復興」をテーマにまち歩きを開催した。 ・荒井駅、卸駅の「若林WALKER」を増刷し、各駅や区内施設に配架した。 ・プロボーザルによる業務委託で約7分の本編と30秒のCMを作成し、2パターンとも「せんだいTube」で公開するとともに、区内商業施設での放映等広報ツールとして活用した。	709	若林区 まちづくり推進課
194	区民協働まちづくり事業-企画事業: 六郷地区の健康づくり推進事業	幼少期からの肥満傾向の割合や成人期の生活習慣病の有所見の割合が高い六郷地区の、あらゆる世代の健康向上に向けて、住民や地域の団体が地域の中で実践できることを目指した健康づくり啓発事業を3か年計画で行う。	健康福祉・ 医療	六郷地区町内会連合会、六郷地区学区民体育振興会、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構、宮城大学、仙台青葉学院短期大学、六郷市民センター、六郷児童館、東六郷・東部かあちゃん'ず、六郷中学校、六郷小学校、六郷・沖野地区幼稚園・保育園、プロマート今泉店、六郷地域包括支援センター	・体験型啓発イベント(尿ナトリウム測定)の実施:6回、130人参加 ・六郷健康レシポの発行、配布:2回、延べ550部 ・六郷健康通信の発行、配布:3回、延べ7,500部 ・スーパーとのコラボイベントで啓発資料の配架:1,350部 ・ワークショップの開催:5回、延べ48人参加 ・児童館、保育園、幼稚園との連携(情報共有):17機関 ・小・中学校の保健体育の授業で、生活習慣病とその予防について啓発:2校、延べ315人	605	若林区 家庭健康課 障害高齢課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
195	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台海手におけるにぎわいづくり事業	本市東部沿岸地域のにぎわい創出を企図して、エリア内各施設の管理者等による協議体「仙台海手(せんだいうみのて)ネットワーク」と協働し、エリア内の交流・集客施設、公園、イベントなどを掲載したリーフレットを作成し、本市内陸部の駅・市有施設等へ配架する。	まちづくり、 地域経済 活性化	仙台海手ネットワーク	・仙台海手ネットワークと情報や意見交換のための会議に2回参加し、リーフレット掲載内容について検討を行った。 ・令和4年度末にリーフレットの納品を受けた。	699	若林区 海浜エリア活性化企画室
196	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区安全安心街づくり活動推進事業	連坊地区と若林地区において物品提供および、当該地区の防犯協会が主催する啓発活動に参加した。また、六郷地区や薬師堂防犯協会婦人部と接触し、当該協会が実施する啓発活動や青ノヤによる地域巡回にも参加した。	まちづくり、 地域安全 活動	連坊、若林、六郷、薬師堂の 各地区防犯協会	各地区の防犯協会が主催する啓発活動に必要な物品を提供し、また活動に参加し、青ノヤによる地域内巡回にも参加した。	79	若林区 区民生活課
197	区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【連坊オモシロ街あるき】 連坊の歴史資産を活用して街あるきを行い、来訪者の増加を促す。また、動画を制作し活動を広める。	まちづくり、 文化・芸 術・スポー ツ・学術	連坊商興会青年部	・街あるき8回、座学3回を実施し、計190人の参加があった。 ・連坊地区の魅力を伝える動画を5本制作し、YouTubeにアップロードした。	318	若林区 まちづくり推進課
198		【あらい七夕プロジェクト】 荒井駅周辺に、地域の子どもたちや地域にかかわりのある人たちが作成した七夕飾りを展示し、まち歩きを開催する。	まちづくり、 文化・芸 術・スポー ツ・学術、子 どもの健全 育成	あらいフェローズ	・8月11日に荒井駅前大和ハウス工業株式会社所有地で「あらい七夕夏まつり」を開催した。 来場者数:約2,000人 ・協賛、協力企業および参加団体、教育・福祉施設等66件、七夕飾りの制作には地域内の人口の約3割の1,500人程が参加した。	250	
199		【仙台屋台を活用した「集まる場を整える」プロジェクト】 譲り受けた希少な「仙台屋台」を修繕するためのワークショップを開催し、修繕後は屋台を活用した屋外イベントを実施する。	まちづくり、 文化・芸 術・スポー ツ・学術	株式会社めぐみキッチン	・屋台修繕のためのワークショップを3回実施。 ・屋台を活用したトークイベントを2回実施。また、イベントの様子をYouTubeでライブ配信/アーカイブをした。	500	
200	未来につなぐ地域力推進事業: 若林まちみがき推進	区内9連合町内会地区において、地域特性に応じた地域主体のまちづくりを進めるため、地域団体等との意見交換会を開催し、具体的な地域課題に対し、解決に向けて伴走型の支援を行う。	まちづくり	連合町内会、単位町内会、地域団体	区内9つの連合町内会ごとに地域課題について意見交換会(ワークショップ)を開始した。地域課題の抽出を行った地域では、取り組む課題の解決策について意見交換会を実施し、アイデアの具体化や実行に向けた準備を進めている。	215	若林区 地域力推進担当

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
201	未来につなぐ地域力推進事業： わかばやし地学連携推進	東北学院大学の新たなキャンパス開設(令和5年4月)に向けて、大学と地域間の意見交換を進めることにより、区を含めた三者の協働関係構築を図る。	まちづくり	東北学院大学、町内会、商店街	東北学院大学と地域(荒町・連坊)とが連携する取り組みを地域住民に発信する「地域だより」を年4回発行したほか、学生による地域の魅力を伝える動画制作(10本)の実施や、開学を歓迎する記念フラッグ等を地域と協働して掲示した。 また、令和5年4月1日の「東北学院大学と仙台市若林区との連携協力に関する協定」の締結に向けた協議を行った。	400	若林区 地域力推進担当
202	海浜エリア活性化事業	本市東部沿岸地域のにぎわい創出を企図して、エリア内各施設の管理者等による協議体「仙台海手(せんだいうみのて)ネットワーク」と協働し、東部沿岸エリアの回遊性向上に向けた取り組みを行う。	まちづくり、 地域経済 活性化	仙台海手ネットワーク	・仙台海手ネットワークと情報や意見交換のための会議に2回参加した。 ・東部沿岸エリアの回遊性向上について検討するため、仙台海手ネットワークのメンバーを対象に交通資源の勉強会を2回開催した。(1回目ポート、2回目電動キックボード)	155	若林区 海浜エリア活性化企画室
203	区民協働まちづくり事業-企画事業： 太白区民まつり	文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流など、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	規模を縮小し、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、3年ぶりに区民まつりを開催した。 来場者数：16,959人	5,981	太白区 まちづくり推進課
204	区民協働まちづくり事業-企画事業： たいはくっこくらぶ	太白区内の小学5年生および6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うことを通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。	社会教育、 まちづくり、 子どもの健 全育成	太白区まちづくり推進協議会	太白区内の自然、歴史、文化等に関するさまざまな体験学習を行う「まちづくり塾」を市民活動団体やジュニアリーダー等の協力を得ながら実施した。	564	太白区 まちづくり推進課
205	区民協働まちづくり事業-企画事業： ディスカバーたいはく	冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。	社会教育、 まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	太白区内の名所旧跡を巡る探訪会を実施したほか、名所旧跡を案内する様子を撮影した動画を制作し、太白区YouTubeチャンネルへ掲載した。	353	太白区 まちづくり推進課
206	区民協働まちづくり事業-企画事業： 太白区まち物語	地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源(人・物・場所)、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめた手づくりの地域誌「まち物語」(冊子)や小冊子・マップを製作することにより、地域を未来に語り継ぐとともに地域愛を育み、今後のまちづくりの推進に繋げる。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、 太白区まち物語地区委員会	「長町地藏堂町内会」の小冊子の製作活動を支援した。	286	太白区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
207	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはく若者まちづくりフォーラム	次世代のまちづくりの担い手となる人材の育成を図り、地域のまちづくり活動を推進するため、地域と大学研究室とのマッチングによる活動支援や、東北工業大学と共同で学生を対象にまちづくりをテーマとした講座を実施する。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、東北工業大学、地域団体等	若い世代のまちづくり活動への関心の高揚とまちづくりの担い手となる人材の育成を図るため、まちづくりに参加・実践する機会の創出や、活動支援を行った。 《地域と大学のマッチング事業》 令和4年度～令和6年度は長町地域と連携し、初年度である令和4年度は、旧宿場町や住宅地開発による新旧住宅地の街並み調査などを実施した。 《共同講座》 大学の1、2年生を中心に共同講座を実施し、まちづくりに関する講義およびまち歩きを通じた地域の課題解決に向けた検討を行った。	440	太白区 まちづくり推進課
208	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」事業補助	広瀬川の清流を背景に、灯ろう流しや近隣学校吹奏楽部等のコンサート、花火の打上げ、縁日を実施することにより、地域住民が楽しい夏のひと時を過ごしながら、川にまつわる自然や歴史・文化に触れる機会を提供する。	まちづくり	広瀬川灯ろう流し実行委員会	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、灯ろう流しやコンサート、花火の打上げおよび縁日の実施を支援した。 来場者数:延べ約40,000人	1,418	太白区 まちづくり推進課
209	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域づくりの担い手支援事業	①太白区内で活動している地域団体の活動紹介を通して、組織や分野を越えた団体同士の交流を促進する。 ②区内の市民センターが、地域住民との協働で実施している地域づくりの担い手の交流やネットワーク化、人材の発掘・育成事業への支援を通して、地域住民主体の地域づくり活動の活性化を促進する。	まちづくり	①地域団体等 ②各事業の実行委員会	①地域活動の活性化を図るため、まちづくり活動助成団体の報告会を実施し、団体同士の交流の場を設けた。 ②市民センター5館(茂庭台、西多賀、生田、山田、富沢)で実施した。	①50 ②718	①太白区 まちづくり推進課 ②太白区 中央市民センター
210	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保ミュージアム環境整備支援事業	秋保全体を中山間地ミュージアムと捉え、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付け、人材の育成や資源の整備、地域のまちづくり団体の情報共有を図る。	まちづくり、 地域経済 活性化	地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議	・秋保の魅力を伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×10,000部、増刷4種類×10,000部 ・魅力ある地域資源の環境整備 野尻鷹ノ巣山散策ルート刈払い、境野森峯山刈払い、板嵐峠道簡易整備を実施 ・「秋保地区地域活動のつどい」の実施	1,144	太白区秋保総合支 所 総務課
211	区民協働まちづくり事業-企画事業: まつりだ秋保	自然豊かな秋保地区を多くの市民にPRし、市民交流と地域活性化を図り、秋保地区における総合的な交流の場を創出する。	まちづくり、 文化・芸 術・スポ ーツ・学術	まつりだ秋保実行委員会	新型コロナウイルス感染症対策を行い、前回よりも規模を縮小しながら、3年ぶりに「まつりだ秋保2022」を開催した。 来場者数:約1,750人 出店者数:22団体 出演団体数:4団体	1,265	太白区秋保総合支 所 総務課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
212	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保地区スポーツレクリエーション大会	秋保地区の冬期間において、ニュースポーツを取り入れたレクリエーション大会を開催し、地域住民の交流および世代間交流を図る。	まちづくり 文化・芸術・スポーツ・学術	スポレク実行委員会	実行委員会において開催に向けて検討を進め、準備を行ってきたが、室内での開催となる等のため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。	—	太白区秋保総合支所 総務課
213	区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【ながまちSDGsプロジェクト】 長町商店街の店舗で実施されているSDGsの取り組みについて、学生が調査することで、学校で学んだものがどのように実践されているのかを体感する機会を創出する。 また、調査した内容に関するポスターの作成および展示により地域の方々へ向けて発表することで、地域におけるSDGsの認知度を高め、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいく。	まちづくり	一般社団法人ながまちマチキチ	・参加した学生は取材・まとめ・ポスター制作と積極的に取り組み、各店主とのコミュニケーションがうまくとれていた。 ・制作したポスターは、よりたくさんの方が集まるイベント「長町秋のフェスティバル」で展示し、地域の方々にSDGsの取り組みを周知した。	117	太白区 まちづくり推進課
214		【秋保・さかいの村のふれあい体験交流事業～里山の体験イベントを通じた交流活動～】 秋保・境野地区において、地域外住民が参加するイベントを開催することにより、地域の魅力発信の機会を創出するとともに、交流人口の拡大や若年層の移住・定住を促進する。 また、地域資源である森峯山や旧街道等の整備を通じて、新たな資源の発掘を行い、さらなる魅力創出と地域住民の誇りの醸成を図るほか、産直市を開催し、観光者等に地元の野菜等をPRする。	まちづくり	さかいの地区創生会	・芋苗植付・収穫体験並びに水辺の生き物探索体験は円滑に運営できた。 ・産直市はリピーターも増え、より一層の充実が図られた。	380	
215		【住民参加を促す地域イベントの創出】 八木山地区において、LEDライトを活用したイベント等を開催し、住民が見に来るだけでなく、LEDライトの設置等に主体的に参加・活躍できる環境づくりをすることにより、地域との関連の薄い若年層や子育て世代が地域づくりに積極的に参画する機会を創出するとともに、地域づくりの担い手となる若者世代のネットワーク形成を図る。 また、近隣町内会や団体等との協働により、地域全体の活性化につなげる。	まちづくり	八木山地区まちづくり研究会	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となるイベントもあったが、全体として14回の地域イベントを開催し、延べ17団体と協力して地域イベントを開催した。	420	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
216	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【わがまち 富沢・西多賀地域住民の健康づくり”いきいき はつらつ 100まで 元気”】 高齢化が進む富沢・西多賀地域において、高齢者の関心の高い健康相談会などを開催することで老々介護や独居世帯を含めた高齢者など地域住民が外出して交流する場を創出し、互いに顔が見える安心な地域社会を形成する。	健康福祉・医療、まちづくり	富沢健康サロン「緑の会」	毎週開催したことで、高齢者が自主的に参加するなど、事業の定着が図られた。	230	[前ページ続き] 太白区 まちづくり推進課
217		【楽元の森活用事業】 楽元の森を地域の資源として活用できるようツリーテラス等の整備や維持活動を行う。 市民センターやPTA、近隣小中学校等関係団体と連携して、地域の子供を対象とした様々なイベントを開催し、地域一体となった子供の育成や地域づくりの担い手の発掘を図る。	まちづくり、 子どもの健全育成	楽元の森運営委員会	・楽元の森での多様な研修を行うことで、本格的で多様な野外活動をサポートできる地域の人材の育成や活用を図る場を設けることができた。 ・新型コロナウイルス感染症による様々な影響があったが、子ども達や地域住民、地域団体にイベントの参加や活動の機会を提供することができた。	350	
218		【だれもが行きたくなる”まち”づくり —「八木山テラス」構想—】 地域住民や関係団体等の協力を得ながら、金剛沢緑地を地域と世代を超えた交流の場「八木山テラス」として整備し、さらにイベント等を実施することで「だれもが行きたくなるまち」づくりの実現を目指す。	まちづくり	金剛沢緑地愛護協会	・金剛沢緑地の整備を通して「八木山テラス」が近隣住民に認知されるようになった。 ・「地域と世代を超えた交流の場」としてジャズコンサートなども開催した。 これらの取り組みが認められ「緑の環境プラン大賞 国土交通大臣賞」を受賞した。	320	
219		【三神峯”桜縁”のさらなる「発信」と「協働」の深化(第2章)】 桜の整備を行うことでにぎわいを創出し地域の活性化に繋がるとともに、樹名板製作や昔遊び、史跡等の学びを通して、次世代を担う子供達と大人の「世代間の繋がり意識」の醸成を図る。	まちづくり、 子どもの健全育成	西多賀まちづくり推進委員会	・三神峯公園の自然環境を生かした学校や地域の活動が熱心に行われ、利用知名度が上りつつある。 ・三神峯公園花見PRイベントで、新しい桜の楽しみ方の提案を実施した。	300	
220	未来につなぐ地域力推進事業： 生出地区活性化支援	①生出地区まちづくり支援 生出学区連合町内会からの諮問を受け「生出地区まちづくり委員会」が平成30年度に取りまとめた「生出地区まちづくりの答申」に沿って、地域が主体的に農業・子育て・交通等の地域課題解決に向けたまちづくり活動を支援する。	まちづくり	生出地区まちづくり委員会	生出地区においては、郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト補助金により整備した作業拠点を活用し、農業を基軸とした都市部住民等との交流事業や東北工業大学との協働による取り組みについて支援を行った。また、活動資金確保の一助となるよう、干し柿やイチジク等地域特産品の販売や具材の活用として、店舗や加工所との連携した取り組みを支援した。	106	太白区 地域力推進担当

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
221	[前ページ続き] 未来につなぐ地域力推進事業： 生出地区活性化支援	②坪沼地区活性化支援 坪沼ふるさと活性化研究会がまちづくり専門家派遣制度を活用し、平成28年度から坪沼小学校跡施設活用案を検討しており、坪沼小学校跡施設を引き続き地域づくりの拠点と位置付けたうえで、望ましい活用方法や運営方法等を整理する。 また、坪沼地区において、農業を基軸として主体的に課題解決にあたっている地域活動団体に対して、地域の取り組みやニーズを確認しながら、地域づくりの推進に必要な支援を行う。	まちづくり	坪沼ふるさと活性化研究会、 やるつちヤツボヌマ	令和3年度に、地域代表を交えたプロポーザル審査会を経て坪沼小学校跡施設利活用事業者を選定。地域の方針や意見を踏まえた仕様による賃貸借契約を令和4年6月に締結するにあたり、地域説明会や地元協議の場などにおいて地域調整に努めた。 また、地域の特色である農業を活用した栽培指導型農園、産直市、田舎の収穫祭の企画・運営の他、令和4年度は芸能関係の事業者による地元ロケによる地域資源を活用した映画制作に協力する等、地域が主体となって行っている交流人口・関係人口拡大の取り組みについて、広報や他地域との連携促進、相談対応等の支援を実施した。	—	[前ページ続き] 太白区 地域力推進担当
222	未来につなぐ地域力推進事業： 南部拠点活性化支援	基本計画で市の南部広域拠点に位置付けられている長町地区にぎわい創出、域内外の交流促進に向け、まちづくり支援法人の機能強化と多様な主体との連携による地域活性化に資する取り組み等を実施する。	まちづくり	南部拠点地域おこし協力隊、 一般社団法人ながまちマチキチ	地域おこし協力隊員2人を委嘱し、主に長町商店街エリアにおける地域活動を支援した他、域内外の交流人口拡大に資する「東北の地域おこし協力隊祭」を開催した。また、長町を拠点として活動するまちづくり支援法人と連携して、トークセッションの運営やまち歩きイベントを実施した。	7,490	太白区 地域力推進担当
223	未来につなぐ地域力推進事業： 秋保地区活性化	野尻地区において、交流カフェ「ばんどころ」を拠点とした体験観光による交流活動を支援し、交流人口の拡大に取り組む。境野地区において、「さかいの産直市」を起点とした交流活動や地域資源である「森峯山」等の環境整備を支援し、交流人口の拡大に取り組む。	まちづくり、 地域経済 活性化	野尻いぐる会、宮城手打ちそば研究会、東北工業大学、さかいの地区創生会	○野尻地区 交流カフェ「ばんどころ」の営業 天神淵川遊び体験の実施 雪遊び体験の実施 ○境野地区 さかいの産直市の営業 さつま芋・里芋植付、収穫体験の実施 水辺の生き物調査会の実施 森峯山刈払い、板風峠道整備作業の実施	48	太白区秋保総合支 所 総務課
224	未来につなぐ地域力推進事業： 秋保地区交流人口拡大(そばの郷「秋保」振興事業)	秋保の特産品である「そば」文化を基軸とした地域の活性化を図るため、一般社団法人全麵協、宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合と連携して地域ブランドの向上、そばの生産意欲の増進と地元そば店の消費拡大、地産地消を推進する。	まちづくり、 地域経済 活性化	一般社団法人全麵協、「仙台秋保そばフェス2022」連絡会議	・「一般公開そば大学in仙台」の実施 ・「仙台秋保そばフェス2022」の実施 ・「秋保そば街道」パンフレット作成5,000部	668	太白区秋保総合支 所 総務課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
210 と 同一	未来につなぐ地域力推進事業: 秋保地区交流人口拡大(秋保 ミュージアム環境整備支援事業) 【再掲】	秋保全体を中山間地ミュージアムと捉え、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付け、人材の育成や資源の整備、地域のまちづくり団体の情報共有を図る。	まちづくり、 地域経済 活性化	地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議	・秋保の魅力を伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×10,000部、増刷4種類×10,000部 ・魅力ある地域資源の環境整備 野尻鷹ノ巣山散策ルート刈払い、境野森 峯山刈払い、板風峠道簡易整備を実施 ・「秋保地区地域活動のつどい」の実施	1,144	太白区秋保総合支 所 総務課
225	たいはく朝市	4月～12月の毎月第2・4日曜日に、朝市を開催する。	まちづくり、 その他	たいはく朝市推進協議会	太白区役所南側駐車場等で、18回開催した。	—	太白区 まちづくり推進課
226	貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動	子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもの食をめぐる問題の解決を図り、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。	子どもの健 全育成	特定非営利活動法人おりぎの家	「おりぎの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。 令和元年度から自主的なグループへと発展しており、区としては保健師が定期的に事務局会議へ参加することにより活動を支援している。	—	太白区 家庭健康課
227	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみ朝市	生産者と消費者の交流および地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。	まちづくり	いずみ朝市運営委員会	4月～12月までの第2・4日曜日にいずみ朝市を開催した。(4月は第4日曜のみ) 開催回数:17回 来場者数:延べ6,878人	95	泉区 まちづくり推進課
228	区民協働まちづくり事業-企画事業: 七北田川クリーン運動	泉区のシンボルである七北田川流域の清掃活動やアユの放流、小学生を対象とした自然観察会を行うことにより、住民が自然を大切にする気持ちを育て、アユの棲む美しい川を守っていこうという環境美化意識の向上とふるさと意識の醸成を図る。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	・七北田川クリーン運動:6月5日 七北田川流域の4会場での一斉清掃と、子どもたちによる稚アユの放流を3会場で行った。 参加団体数:103団体 参加者総勢:1,492人 ・七北田川自然観察会 七北田川についての学習や、いかだ下りを実施予定であったが、連日続いた雨による増水のため、安全面を考慮し中止とした。	30	泉区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
229	区民協働まちづくり事業-企画事業: 将監沼ふれあい事業	中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。 区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。	まちづくり	「将監沼の自然」とふれあいを育む会	将監沼周辺の間伐、下刈り間伐作業等(24回)を実施など環境整備を行った。 ・地域のコミュニケーションを図るため下記の事業を行った。 将監ふれあいコンサート 将監市民センターまつり 泉ヶ岳悠・遊フェスティバルに出店(輪投げゲームなど、子供向けのゲームや展示等を行った)	187	泉区 まちづくり推進課
230	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳利活用推進事業	泉区のシンボルである泉ヶ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ヶ岳の魅力を生かした利活用を促進する。	まちづくり	泉ヶ岳利活用推進市民会議	・芳の平植樹地の下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。 実施回数:6回 参加者数:205人 ・希望する市民を対象に登山を楽しむ泉ヶ岳自然観察会を実施した。 実施回数:4回 参加者数:104人 ・リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布した。 ・会報誌を2回発行した。	560	泉区 まちづくり推進課
231	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	市民に対し、泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、市民の交流を促進することを目的に開催する。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	10月2日開催 ・3年ぶりの開催と晴天にも恵まれ、5,000人を超える来場者があった。 ・子供向けのイベントブースが多く、親子での参加が目立ち、どのブースも盛況であった。 来場者数:5,540人 実施内容: ステージイベント(踊り等) フィールドイベント (体験メニュー、展示、工作等) (飲食関係ブース(飲食出店))	1,350	泉区 まちづくり推進課
232	区民協働まちづくり事業-企画事業: 区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発を行うとともに、泉区写真コンクール等を開催する。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	・泉区写真コンクールを実施し、表彰式および入賞作品の展示を区内数カ所で行った。 ・泉区民ふるさとまつりに参加し、区民意識普及啓発のブースを運営した。 ・ペガルタ、マイナビ仙台の応援コーナーを区役所内に設置。また泉中央地区商業施設中心部にて両チームを応援するイベントに参加した。	334	泉区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
233	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行う。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	・緑化活動 春と秋の花植え:6回 参加者数:1,069人 ・清掃活動 秋と春の一斉清掃:2回(11月、3月) 参加者数:1,657人 回収ごみ330kg	310	泉区 まちづくり推進課
234	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会等を開催する。	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	・いずみのふるさと探訪会の開催 「伊達家ゆかりの地をめぐる」をテーマに、鷲神社、白石城跡、満興寺、大満寺、永安寺を巡った。 参加者員:19人 定例サポーター会:毎月計12回開催 ・「いずみのふるさと総集編」、「続・み〜つけた」の頒布。	121	泉区 まちづくり推進課
235	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民ふるさとまつり	「ふるさと泉、まつりの輪」をコンセプトに、地域の子どもの夏休みの思い出づくりと区民のふるさと意識の高揚を図ることをテーマに開催する。	まちづくり	みやぎ仙台商工会	8月19日準備・サプライズ花火 8月20日イベント実施 来場者数:約16,000人 イベント内容 ・協賛会企画イベント 鮎のつかみ取り、竹灯り、灯籠作成・灯籠点灯、ミニSL乗車コーナー ・市民展示広場等 消防コーナー、警察車両展示コーナー、団体活動紹介コーナー等【18団体】 ・サプライズ花火【約450発】(祭り前日19日に実施)	7,899	泉区 まちづくり推進課
236	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民文化祭	一般の方々が文化芸術を気軽に体験できる機会を設けるとともに、伝統芸能の発表を行うなど様々な形で文化芸術に触れてもらう機会を提供する。	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市泉区文化協会	開催日:11月5日~6日 開催場所:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 総観客数:530人 茶席入場者数:319人 舞台出演者数:170人	580	泉区 まちづくり推進課
237	区民協働まちづくり事業-企画事業: IZUMINATION in NANAKITA PARK	新型コロナウイルス感染拡大を防止しつつ、地域の思い出づくりの機会としていただくことを目的とし開催。「ひかりの実」「樹木のライトアップ」「LEDスカイランタンの打ち上げ」と大きく3つのイルミネーションを題材とした手法で構成する。	まちづくり	一般社団法人泉青年会議所	令和3年度は「泉区民ふるさとまつり」の代替イベントとして開催。令和4年度は泉青年会議所が実行委員会を立ち上げ開催した。	500	泉区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
238	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	【大学地域ネットワーク】 大学の知的資源や学生の創造性等を生かしたまちづくりを推進するため、泉6大学等との連携協定にもとづき協力活動を進める。	まちづくり	泉・大学地域ネットワーク(泉区内および近隣に所在する6大学、泉区まちづくり推進協議会)	・ネットワークに参画する主体が連携し、協働によるまちづくりを推進するため、ネットワーク幹事会を開催した。 ・泉6大学まちづくりフェスティバル(絆プロジェクトの活動発表等)を開催した。	673	泉区 地域力推進担当
239		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【造形活動を通じた地域行事支援プロジェクト】 地域行事に造形作品を展示・掲示し、手作りの作品を介した地域交流を目指す。	まちづくり, 子どもの健全育成	聖和学園短期大学 佐々木研究室	ハロウィンを想起する造形作品を制作し、「いずみハロウィン」会場の一角に展示・装飾を施すとともに、令和4年度は新たに、七夕飾りをのびすく泉中央に展示した。	96	
240		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【スポーツによる地域貢献活動事業】 地域の児童を対象とした各種スポーツ教室を通じ、運動不足の解消や心身に対する健康二次被害の問題の解消、スポーツを通じた地域交流・活性化を目指す。	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	聖和学園短期大学 スポーツクラブBOA SORTE	地域の小学生を対象に、サッカー教室9回、ダンス教室2回、健康づくり教室4回、バレーボール教室3回開催するとともに、令和4年度は新たに児童センターでのダンス教室を開催し、交流を図った。	100	
241		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【外国人とコミュニケーション-仙台白百合女子大学生による外国人への日本語および生活支援-】 泉区在住の外国人が、生活をするうえで困る場面を想定し、その解決方法を英語をはじめとした母国語で紹介し、日本での生活支援を目指す。	まちづくり, 国際交流・協力	仙台白百合女子大学 大本研究室グループ	7か国の区内在住外国人を対象に、緊急時の対応方法や、日本で生活する上でのマナー等について外国語で紹介する交流会を4回開催した。	100	
242		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【女子大生の重い想い届けっ☆きてきて泉！広がれいずみ！】 伝統工芸の体験教室や栄養学を生かした講座開催、それらの情報発信を通じ、孤立化防止や交流促進を目指す。	健康福祉・医療、まちづくり	仙台白百合女子大学 佐々木研究室	陶芸教室や栄養学に基づいたお酒の飲み方教室を2回開催するとともに、SNSを通じた情報発信に取り組んだ。	55	
243		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【2022しらゆり森のがっこう～視たり・聴いたり・触ったり、五感を感じる体験プロジェクト】 地域の子どもや高齢者が参加できるイベントを通じ、自然を五感で感じられる身体活動を行うとともに、世代間交流の促進を目指す。	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台白百合女子大学 仁藤研究室	令和4年度は地域住民にも参加いただきながら、大学構内を会場に自然と触れ合いながら楽しむことのできるイベントを3回開催した。	100	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
244	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【にこにこプログラミングプロジェクト～デジタルの世界へ きみもチャレンジ～】 プログラミング教室や電子工作のワークショップ開催を通じ、プログラミング学習機会の提供や論理的思考を有する人材育成等を目指す。	まちづくり、 子どもの健全育成	仙台白百合女子大学 ベアーズラボ	小学生を対象としたワークショップを3回開催し、地域内交流やプログラミング学習の促進を図った。	100	[前ページ続き] 泉区 地域力推進担当
245		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【白百合小築校】 コロナ禍における、地域の子どもたちが参加する行事や交流の機会創出を目指す。	まちづくり、 子どもの健全育成	仙台白百合女子大学 Bonds	令和4年度は開催イベントを1回から3回に拡充し、夏から冬の季節にあわせて、交流の場を提供した。	100	
246		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【笑ってほしい♪スマイルもりもりプロジェクト事業】 オリジナル体操を活用した健康づくり教室を通じ、健康増進と地域交流を目指す。	まちづくり、 子どもの健全育成	東北学院大学 菅原真枝ゼミ	令和4年度は新たに小学生を対象に、児童向けの体操教室を2回開催し、地域交流を図った。	66	
247		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【泉区産の大豆×スポーツ栄養・地域活性化プロジェクト】 スポーツ栄養学等に基づき、泉区産の食材を用いた料理・加工品を考案し、レシピ本として周知することで地域活性化や健康づくりを目指す。	健康福祉・ 医療、まちづくり	東北生活文化大学 スポーツ栄養研究会	令和4年度は泉区産食材を大豆に変更し、スポーツ女子向けのレシピ集を作成するとともに、区内17の中学校やスポーツクラブ18か所等に配布した。	100	
248		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【生文大ソルトサークルによる「幼少期からの適塩・減塩の大切さ」ワークショップ】 減塩・適塩の啓発を通じ、泉区民の健康意識を高め、ひいては健康寿命の延伸を目指す。	健康福祉・ 医療、まちづくり、子どもの健全育成	東北生活文化大学 ソルトサークル	適塩幼児食を考案し、大学祭での出店や適塩・減塩に取り組む店舗を取材するとともに、適塩・減塩リーフレットを作成し、児童館等子育て施設26箇所に配付した。	45	
249		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【親子ふれあいプロジェクト】 親子間のコミュニケーションの促進、子育て世代の孤立の防止を図るとともに、人形劇の講演や子育て講習会を通じ、地域交流を促進する。	まちづくり、 子どもの健全育成	宮城学院女子大学 人形劇&遊び部	子育て親子を対象に、人形劇や絵本の読み聞かせを開催するとともに、令和4年度は子育て相談会をあわせて開催した。	100	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
250	【前ページ続き】 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ラジオ番組:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「バワフル奮闘記」】 ラジオ番組を通じた情報発信を通じ、対面での地域活動の活性化と泉区民の絆の形成に貢献する。	まちづくり	宮城学院女子大学 正木ゼミ	ラジオ番組の1コーナーとして、全26回にわたり、食と健康をはじめとした泉区の情報等を発信した。	100	【前ページ続き】 泉区 地域力推進担当
251		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【デザインによる地域活動支援プロジェクト】 地域イベントのポスター等の広報デザインを通じ、集客やコミュニティの活性化、地域間・住民同士のつながり創出を目指す。	まちづくり、 文化・芸術・スポーツ・学術	宮城大学 マイチゼミ	3つの地域イベントのポスターを作成し、掲示・配布することでイベント自体の認知度向上を図るとともに、令和4年度は地域とのデザイン体験ワークショップを開催し交流を図った。	100	
252		【大学間の交流促進事業】 地域づくり活動を行う学生間の交流事業を実施することにより、団体間のネットワークを広げ、互いの活動を高めあう関係づくりを促進する。	社会教育、 まちづくり	一般社団法人プラス、泉6大学の大学生	泉6大学の学生が泉西部地区の体験型観光施設等取材し、情報発信を行った。当該取材活動の実施およびその準備として7回の交流会を開催した。	660	
253	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青少年健全育成推進	青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を提供することにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。	まちづくり、 地域経済活性化	泉区まちづくり推進協議会	・青少年健全育成事業実行委員会の開催:3回 ・少年の主張実行委員会の開催:5回 ・少年の主張泉区大会:七北田中学校にて開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で審査のみとした。 ・標語コンクール参加校:14校 参加者:225人 ・地球のステージ:応募校なく中止	321	泉区 家庭健康課
254	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会や、区民を対象とした親子の交流会を実施する。	まちづくり、 地域経済活性化	子育て応援倶楽部いずみん	・全体会実施:2回 参加者数:28人 ・三役会議実施:1回 ・三役等打合せ:7回 ・参加団体情報交換会 参加親子:母11人、乳幼児12人 参加団体:10団体 13人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て応援倶楽部いずみん登録団体所属の親子に案内をし、実施した。	35	泉区 家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
255	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央地区活性化事業	泉中央駅周辺において、周辺事業者や関係団体と連携しながら、にぎわいづくりのイベントを開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	いずみハロウィン実行委員会	泉中央駅おへそ広場を会場に、地域のまちづくり関係団体や商工団体等との連携・協力のもと、「いずみハロウィン2022」を10月14日～31日まで開催し、会場をイルミネーションで彩ったほか、フォトコンテストなどの関連イベントを実施した。	970	泉区 地域力推進担当
256		七北田公園において、周辺事業者や関係団体と連携しながら、にぎわいづくりのイベントを開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	七北田公園活性化協議会	キッチンカーの出店等を通じ、七北田公園のにぎわい等を創出する「IZUMIパークデイ」の開催に対し、助成を2回行った。	400	
257		泉中央駅周辺において、周辺事業者や関係団体と連携しながら、にぎわいづくりのイベントを開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	泉マルシェ実行委員会	泉中央駅ペDESTリアンデッキおよび泉区役所区民広場等を会場に、地域のまちづくり関係団体や商工団体等との連携・協力のもと、「泉マルシェ」を9月23日に開催し、フランスの朝市をテーマに、飲食やアンティーク、雑貨など、約110ブースが出店したほか、ワークショップ等を開催した。	457	
258		区役所建替に伴い新たに整備する区民広場等の利活用促進に向けた検討や実証事業などを行う。	まちづくり、 地域経済 活性化	まちづくり関係団体、商工事業者団体、大学、大学生等	建替事業者による新区民広場の提案に対する区民参加型ワークショップを1回開催したほか、泉マルシェ開催時に出店者アンケート等を実施し、これらの結果も共有しながら、泉中央地区のにぎわい創出に向けた意見交換会を4回開催した。	8,140	
259	区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【くらしの保健室事業】 医療を含めた相談支援の場を地域の交流の場に設置し、早い段階で地域、医療、看護、介護によりつながり、適切なアドバイスや情報を得るとともに、住民が生き生きと主体的に行動を起こすことができるようにする。 (令和2年度から助成)	まちづくり、 地域経済 活性化	特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと	専門職と住民主体の支え合い活動とが連携し、制度サービスでは担えない細やかなケアを実施。専門職(薬剤師、看護師、理学療法士等)の方を招き地域の方々の悩み相談や専門知識を学ぶための講座や相談を下記のとおり行った。 サロン形式:30回 Zoomサロン毎週月曜日実施 個別相談:78件	300	泉区 まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
260	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【「七北田宿ガイドボランティア」養成講座 実施事業】 泉区の歴史に深く関係している七北田宿 を主軸として、泉区の歴史を地域の方や小 中学生に伝承していく活動を実施。また、 2023年には七北田宿開設400周年とな る。それに向け、同じ宿場町であった富谷 市・大和町吉岡にて歴史の普及活動をして いる団体とタイアップした記念イベントを実 施することで、宿場町の魅力を発信してい く。 (令和3年度から助成)	まちづくり 地域経済 活性化	七北田宿研究会	・現在の七北田宿、市名坂で七北田宿 に関係する商店を訪問する活動を実施 した。 ・郷土史を学ぶという文化的活動を深 め、メタボ予防と地域の人々のコミュニ ケーションを図るため「まちなか散歩」を 促進した。 ・七北田・市名坂の地域振興とまちづく りに寄与するため七北田宿開宿400年記 念イベントを開催した。また普及活動と して泉区内の小中学校にパンフレットを配 布した。 開催場所:イズミティ21、泉区中央市民 センター ・町歩き実践教室イベントを5回実施 ・場所:泉区中央市民センター ・参加者数:計55人	80	[前ページ続き] 泉区 まちづくり推進課
261		【南中山中学校区・地域の担い手育成事 業】 地元新聞の作成を通じて、地域の子供達 やその家族に地域への愛着を持ってもら う。 また、卒業生カフェの名称で、中学校を 卒業した学生が企画・運営を行い、幅広い 世代の交流を促進させる。 (令和3年度から助成)	まちづくり	南中山中学校区住民活動サ ポートチーム「Mサポ」	・「やまやましんぶん」への興味関心 昨年度に引き続き、全町内会での回 覧、小学校でも配布をした。前年度より取 材依頼が多くあり17取材記事がHPに掲 載された。 市民センターと包括支援センター共催 の「地域いきいきプロジェクト」に参加し「お さんぼマップ」製作への参加や、北中山 小、南中山小学校区の学校地域支援本 部スーパーバイザーとの懇談会が実現し た。	70	
262		【SMILE FES】 七北田公園、将監団地を会場に、子供を 対象としたイベントを開催。低価格での販売 品や飲食物、無料の企画を実施すること で、子供だけで来場しても楽しめるイベン トを企画し開催する。 (令和3年度から助成)	まちづくり	SMILE FES 実行委員会	・ファッションショーは通年4回、ステー ジパフォーマンスは要望があった回には都 度開催。 ・「古着でワクチン」は通算605kgの衣類 提供実施。	200	
263		【桂音頭サルベージ&リビルドプロジェクト】 かつて桂地区での運動会や地域のイベン トなどで披露されていた地域の伝統・宝で ある伝統的な「桂音頭」を、地域のコミュニ ケーションツールとして再度活性化させ、地 域のつながりに寄与する。 (令和3年度から助成)	まちづくり	桂音頭を踊り隊	・桂小学校への桂音頭指導の実施 ・ポートプラザ記念祝典開催 ・桂文化祭での絵(桂音頭をモチーフとし た)の掲載 ・桂音頭POPSの作成等の実施	250	

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
264	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【新しい地域の防災まちづくり推進】 超高齢化・人口減少傾向の虹の丘地区において、住まいと暮らしの両面において安全性向上と暮らしやすさが持続的に享受できるよう、コロナ禍を捉えた新しい地域の防災まちづくり活動を進めるための各種取り組みを行う。	地域安全 活動	虹の丘安全安心まちづくり推進委員会(虹の丘連合町内会)	アンケート調査の実施により各町内住民の防災意識が把握できたことにより、今後の防災活動の参考となった。 地区住民全戸に対して、防災豆知識やアンケート調査結果概要を印刷物として配布することにより、本取り組みを地区内住民に広報・周知できただけでなく、住民各自が防災意識向上にも役立てることができた。	100	[前ページ続き] 泉区 まちづくり推進課
265		【泉中央伊達な秋フェス～東北の地酒と創作料理と音楽～】 新型コロナウイルスの影響により冷え込んでいる泉中央周辺の飲食店が一体となり、笑顔あふれ、人が集まりやすい泉中央の実現を目指す。	まちづくり、 地域経済 活性化	泉中央伊達な夏フェス実行委員会	11月27日開催 会場:isMe!おへそ広場 参加者数:約300人 飲食関係参加団体数:9団体 ステージイベント参加者数:13団体	50	
266		【豊齢社会での「集う場所づくり」とサロン活動応援事業】 豊齢者の「集う場所づくり」「居場所づくり」を確保し、交流を継続できる地域社会の実現を目指す。	まちづくり	百縁ひろばネットワーク	・百縁カフェ:毎月第2火曜日 居場所&集う場所づくりとしてカフェ店をオープン。 ・豊齢サロン:年4回実施(4月、7月、10月、1月の第4木曜日) ・ふれあい塾:年3回実施(5月、8月、11月の第4木曜日)	50	
267		【泉かむりの里コメプロジェクトで地域活性化～泉区西部地区発アグリツーリズム構想～】 泉区西部地区の住民を対象に根白石地域で収穫した上質な米を食し「コメ」の価値並びに生産者と地域住民の交流促進を目的とした「コメフェス」イベントを企画開催する。	まちづくり、 地域経済 活性化	KAMURIコミュニティプロジェクト	10月22日開催 ・来場者数:1,200人 ・運営協力団体:20団体(町内会、自治体、仙台市内の高校・大学など) ・広報:ミヤギテレビでの放映、IZUMIWESTや泉区プラスなどWEB掲載、市民センター広報誌への掲載など	100	
268	未来につなぐ地域力推進事業: 郊外居住地区の課題対応事業	泉区内の郊外居住地域における様々な課題について、町内会、地域住民等が専門的知見やノウハウを有する大学や民間事業者等と協働し対応する取り組みに助成し、地域団体の主体的な活動を支援する。	まちづくり	加茂まちづくり協議会、鶴が丘はあとネット	加茂まちづくり協議会や鶴が丘はあとネットが行う地域課題の解決へ向けた取り組みに対し、助成を行った。	307	泉区 地域力推進担当

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
269	未来につなぐ地域力推進事業： 泉西部地区活性化事業	泉西部地区の活性化や魅力向上を図るため、住民主体で検討・実践する場として開催する「泉西部地区まちづくり懇談会」を通じ、具体的な取り組みを支援する。また、地域資源の効果的な情報発信の取り組みへの支援を行う。	まちづくり、 地域経済 活性化	地元町内会、泉かむりの里観光協会、地域事業者等	まちづくり懇談会を2回、情報発信に係る情報発信ワーキンググループを6回開催するとともに、泉かむりの里観光協会と連携し、泉西部地区の情報発信等を支援した。	3,676	泉区 地域力推進担当
270	未来につなぐ地域力推進事業： 地域拠点公園を活用した魅力ある 地域づくり	地域住民とともに地域の拠点となる公園を活用した魅力ある街づくりを推進するため、「公園管理運営計画」および「都市公園の管理運営に関する協定」を策定し、公園の有効活用を図る。	まちづくり、 環境	桂島緑地未来プロジェクト(地域活動団体)、桂島緑地公園愛護協力会、桂連合町内会	地域住民とともに「公園管理運営計画」を作成し、「都市公園の管理運営に関する協定」を町内会や地域活動団体と締結した。 管理運営計画策定にあたり地域住民により公園の有効活用が検討され、地域イベント開催や清掃・除草などのボランティア活動が実施された。 また、行政からの支援として、材料の支給や公園施設の修繕を行った。	1,617	泉区 公園課
271	社会を明るくする運動仙台市泉区 推進委員会	法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。	地域安全 活動	社会を明るくする運動泉区推進委員会	・総会、役員会等の開催：計4回 ・広報、泉区役所懸垂幕、のぼり旗掲示 ・泉区民ふるさとまつり、地下鉄泉中央駅前・八乙女駅前での広報活動 ・内閣総理大臣メッセージの伝達 ・小学校での講話(毎年1校)：松森小学校 ・泉区まちづくり推進事業との共催事業(標語コンクール) ・ペガルタ仙台 社明運動啓発活動(社会を明るくする運動宮城県推進委員会と共催) ・作文コンテスト	122	泉区 家庭健康課
272	仙台市泉区子ども会育成会	泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。	まちづくり、 子どもの健 全育成	仙台市泉区子ども会育成会	・総会、役員会等の開催、校区交流会(3回)および研修会(2回)の開催 ・泉っ子キャンプ(夏・冬 計2回) ・泉区民ふるさとまつり、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへの参加 ・広報誌の発行	753	泉区 家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
273	女性防火クラブ活動支援事業	女性防火クラブ員に対して、火災予防に関する知識や災害への備えを学ぶ研修を実施するなど、意識高揚に向けた取り組みと活動しやすい環境づくりを推進する。	地域安全活動	仙台市女性防火クラブ連絡協議会	新型コロナウイルス感染症に十分に留意しながら、火災予防知識を習得するための訓練や研修会を開催したほか、街頭キャンペーンなどを通じて火災予防啓発活動に取り組んだ。 さらに令和5年度には組織の魅力向上や活動の活性化を目的に、組織の名称を「婦人防火クラブ」から「女性防火クラブ」に変更することが決定された。 延べ活動回数:316回 参加者数:4,591人	12,700	消防局 予防課
274	自分づくり教育推進事業： 職場体験活動推進協議会	学校におけるキャリア教育に対する支援を目的に企業関係者が参画する会議体として、主に職場体験およびインターンシップの受け入れについての支援促進を図るために、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議する。	まちづくり、 子どもの健全育成	仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ仙台商工会、宮城県中小企業家同友会、公益社団法人仙台青年会議所	職場体験活動推進協議会を開催し、令和4年度のキャリア教育の実施内容をもとに、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議した。	24	教育局 学びの連携推進室
275	自分づくり教育推進事業： 仙台子ども体験プラザ事業	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、将来の生き方について考える意欲や態度を育むため、協賛事業所等の協力のもと、体験型経済教育プログラム「スチューデントシティ」「フィナンスパーク」を実施する。	まちづくり、 子どもの健全育成	市内協賛事業所等	小学校対象のスチューデントシティを119校(市立学校118校、私立学校1校)で、中学校対象のフィナンスパークを68校(市立学校65校、県立学校1校、私立学校2校)で実施した。	53,926	教育局 学びの連携推進室
276	不登校支援ネットワーク	市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特性を生かしながら相互にパートナーとして融合し、不登校の児童生徒やその保護者の支援を実施する。	子どもの健全育成	仙台市不登校支援ネットワーク事業に参加する市民団体、民間企業、教育機関等	・動物介在活動:5回(参加者数:26人) ・稲作体験活動:2回(参加者数:21人) ・ハートフルサポーター活動 大倉自然体験:2回(参加者数:117人) 土曜のひろば:9回(参加者数:79人) ・ボランティア養成講座:2回(参加者数:77人) ・進路相談会:1回(参加者数:327人) ・フリースクール相談会:1回(参加者数:90人) ・創作活動:1回(参加者数:3人) ・職場体験:3回(参加者数:64人)	—	教育局 教育相談課
277	楽学プロジェクト	小学5・6年生を対象に、さまざまな職業の講師による「講話」や「体験活動」を経験させることにより、子どもたちが「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会とする。	子どもの健全育成	楽学プロジェクト委員会	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集人員や対象、場所等の工夫をして実施した。 1日半開催で、19講座359人の小学生が参加した。	328	教育局 生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
278	スタジオ協働事業	「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。	社会教育	てつがくカフェ@せんだい、みやぎ民話の会「民話声の図書館」プロジェクトチーム等	・考えるテーブル Zoomによるオンライン「てつがくカフェ」を実施した。 「第九回 民話ゆうわ座 伝承のみちすじをたどる」を実施した。 ・ラウンジでの展示 「2011.3.11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた《いいつたえ、むかしばなし、はなし》その十 亘理郡山元町周辺の民話」を実施した。	2,306	教育局 生涯学習課
279	地域文化アーカイブ	市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらを基とした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎ民話の会「民話声の図書館」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台等	「民話声の図書館」CD制作、「どこコレ？ーおしえてください昭和のセンダイ」等を実施。	事業番号 278と共通	教育局 生涯学習課
280	バリアフリー文化事業	目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための取り組みを行う。	健康福祉・医療、社会教育	ボランティア「まほうの手」等	・手ではなすおはなしの会 参加者数：130人	969	教育局 生涯学習課
281	地域文化連携事業	各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を生かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	仙台短篇映画祭実行委員会、仙台建築都市学生会議	・定禅寺通祭り連携事業は中止 ・「ショートピース！ 仙台短篇映画祭」の実施 参加者数：198人 ・「せんだいデザインリーグ2023卒業設計日本一決定戦」(展示・公開審査等イベント)を実施。 参加者数：1,020人	1,039	教育局 生涯学習課
282	震災の記録・市民協働アーカイブ事業	震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形での利活用を行う。	社会教育、地域安全活動	市民の参加者	ウェブ閲覧数：3,020,223回 ※展示と上映「星空と路」を実施。 参加者数：2,818人	14,607	教育局 生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
283	仙台市立学校施設の開放(学校施設開放事業)	社会体育の普及ならびに幼児および児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	管理運営委員会	学校施設開放実績:185校 (うち自由活動開放実績:15校)	25,873	教育局 生涯学習課
284	社会学級開設	学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	小学校・特別支援学校に開設する社会学級	社会学級開設実績:99件	2,823	教育局 生涯学習課
285	学校図書室等開放事業	市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図ることを目的とした、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。	社会教育、子どもの健全育成	各学校図書室等開放推進委員会(学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織)	学校図書室等開放実績:22件	4,656	教育局 生涯学習課
286	仙台市小中学校PTA運営費補助金	市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	社会教育、子どもの健全育成	仙台市PTA協議会(各市立小・中・特別支援学校PTA)	補助金交付実績:1件	12,640	教育局 生涯学習課
287	仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金	実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会	補助金交付実績:8件 利用者数:延べ13,223人	9,700	教育局 生涯学習課
288	ともに学びともに育つ! せんだい・まなびやネットワーク構築モデル事業	学校卒業後の18歳以上の障害者とともに、生涯学習のプログラムを作りそれを実践する。 (文部科学省委託事業)	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	実践プログラム「スブノアカデミア」実施回数(成果発表会含む):6回 参加者数:延べ132人(オンライン含む) コンファレンスの実施:1回 参加者数:148人(オンライン含む)	—	(文部科学省委託事業) 教育局 生涯学習課
289	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の建物が持つ歴史的な雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	10月15日に第15回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を実施した。 参加者数:21人	—	教育局 文化財課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
290	歴史民俗資料館サポーター活動	仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	歴史民俗資料館サポーター会	・サポーター養成講座を5回実施し、受講者に企画展や特別展の概要説明や見学等を行い、新たに3人が登録してサポーターは計23人となった。 ・小学3年生の校外学習補助を中心とする展示解説は延べ15校に実施した。館のイベント補助は3回実施した。	7	教育局 文化財課
291	仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動	富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	・新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者と近距離で対面・接触する場面(体験活動者への支援・助言など)での活動制限を行ったが、通常の展示解説などは再開した。そのほか、イベント等の準備作業や自主研修などの活動を行い、ボランティア登録者64人が延べ911人、2,680時間の活動を実施した。 ・新規登録希望者5人を対象としたボランティア養成講座などを5回開催した。縄文の森広場と共同で視察研修も行うなど、両館で連携してボランティアのスキルアップを図った。 ・学生サポーターとして市内大学の学生有志6人が登録(うち5人が新規)し、ボランティア活動を12回行った。	23	教育局 文化財課
292	地底の森フェスタ2022	富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	・感染症対策を施したメニューへと変更し、「おいでよ地底の森2022秋」として10月8日～10日の3日間に分散して実施した。 参加者数:307人	43	教育局 文化財課
293	縄文の森広場ボランティア活動	縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	縄文の森広場ボランティア会	ボランティア登録数:52人 ・令和4年度は、一部来館者との対面の活動を再開した。 年間活動人数:延べ566人 年間活動時間:延べ1,231時間 ・館主催のボランティア育成講座を6回開催したほか、富沢遺跡保存館ボランティアと合同で視察研修を2回実施した。 ・ボランティアの定例会(月1回)をオンライン併用で実施した。	506	教育局 文化財課

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
294	仙台・文化財サポーター会	文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	仙台・文化財サポーター会	文化財サポーター養成講座を全7回実施して育成を支援した。10人が参加し、うち5人が新たに仙台・文化財サポーター会に興味を持ち入会した。	54	教育局 文化財課
295	段ブロックコーナー設置	段ブロックプロジェクトと協力し、段ボールを素材としたブロックの普及を図るとともに、子どもの科学やものづくりへの興味関心を高める。	文化・芸術・スポーツ・学術	段ブロックプロジェクト	令和3年度から段ブロックで製作した迷路を常設展示している。	—	教育局 科学館
296	猫の譲渡会	保護猫団体に協力して譲渡会を開催する。	社会教育、まちづくり	しつぽゆらゆら杜猫会	実施回数：10回	—	教育局 科学館
297	市民センター事業	地区市民センターにおいて各種事業(講座)を実施する。 市民協働事業例： 図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座	社会教育、まちづくり、環境、文化・芸術・スポーツ・学術、国際交流・協力、男女共同参画社会、子どもの健全育成	地域住民、地域団体等	講座数：722講座 3,164回	21,453	教育局 生涯学習支援センター
298	市民センターまつり	作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供するとともに、まつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。	社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	地域住民、地域団体等	開催館数：55館 ※新型コロナウイルス感染症の影響による中止：1館 ※大規模修繕工事による未実施：1館	事業番号 297を含む	教育局 生涯学習支援センター
299	学びのコミュニティづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。	社会教育、まちづくり	芦口学コミ推進委員会、国見小学校学びのコミュニティ小菫、新田SPOT	委託実績：3件(うち新規3件)	576	教育局 生涯学習支援センター
300	地域文庫の会の活動に対する補助金	公共図書館と連携し、会員の交流と研修を深め文庫活動を盛んにし、子どもたちと地域住民のためのよりよい文化環境を作るために要する経費に対し、補助金を交付する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	仙台手をつなぐ文庫の会、泉手をつなぐ文庫の会	補助金交付実績：2件	570	教育局 市民図書館

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
301	地域のボランティア育成と活動支援	①ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトークを実施する他、講演会や講座等を行う。 ②配架や本の修理等を行うボランティアを募集し、市民参加を促進。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	①読み聞かせボランティア団体、登録した個人 ②市民の参加者	①ボランティアや自宅等で地域住民に本の貸し出しをしている団体の協力を得て、おはなし会を実施。 読書推進活動のボランティア人数：延べ1,027人 講演会のボランティア人数：8人 ②返却された本を書架に戻す作業や本の修理等について、ボランティアの協力を得た。	48	教育局 市民図書館
302	障害のある人へのサービスの充実	①視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービス ②ボランティア団体による拡大写本制作	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	①朗読ボランティア ②拡大写本の会	①対面朗読件数 138件 ②拡大写本 1タイトル7分冊完成	①68 ②事業番号301と共通	教育局 市民図書館
303	学校連携事業	ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトーク	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	仙台市図書館ブックトークボランティア「ランプ」	利用校：20校(団体) 延べ実施回数：44回	—	教育局 市民図書館
304	ヤングアダルト世代の読書支援	中高生からボランティア参加者を募り、イベント企画・実施やブックリスト等の作成を通し同年代への読書のきっかけづくりを促進する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	市内中学生・高校生	・YA図書委員会や選書サポーター会議等を通して、見学・POP作成・選書サポート・ブックリストの作成を行った。 ・高校の図書委員会をはじめ、高校生に選書をしてもらい、本の福袋企画を実施した。 ・ビブリオバトルを企画し実施した。 ・中高生から図書館に投稿されたおススメの本の紹介文をホームページ掲載や図書館での展示に活用した。(投稿数：55件)	—	教育局 市民図書館
305	地域の専門機関との連携	地域の専門機関と連携し、市民向け講座の開催などにより、地域に関する情報を発信する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」	ボランティア団体の協力を得て、地域の魅力を知るまちあるき講座を開催した。	—	教育局 市民図書館
306	市内大学との連携	宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を実施する。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	宮城教育大学附属図書館	宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を実施し、館内掲示により周知を図るとともに利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。	—	教育局 市民図書館

事業番号	事業名	事業内容	事業分野	協働の相手方	令和4年度の実施状況	決算額 (千円)	担当課 ※()内は 令和4年度担当課
307	選挙出前授業	仙台市内の中学校、高等学校および大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアActivate仙台	市内学校等10か所にて計14回実施した。	—	選挙管理委員会事務局 選挙管理課
308	選挙啓発ボランティア事業 (Activate仙台)	投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。	その他	市民の参加者	定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見の提供や提案を行ったほか、議員交流会等のイベントへ積極的に参加した。	45	選挙管理委員会事務局 選挙管理課
309	選挙啓発事業	東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取り組み機会を増やすため、同センターの事業への市の参加について協議する。	その他	東北大学(東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター)	令和3年の市長選挙後に実施した「仙台市民投票意識調査」の結果について、東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに引き続き分析を依頼するとともに、12月の啓発団体合同研修会にてセンター長である吉田教授が分析報告を行った。	10	選挙管理委員会事務局 選挙管理課
310	災害時給水栓による地域の飲料水確保	災害により応急給水が必要になった際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるように、市立小中高校等に災害時給水栓を設置するとともに、操作説明会や防災訓練を通じて操作方法の理解を深め、習得を促す。	地域安全活動	地域団体(避難所運営委員会等)、市立小中高校等	災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明会を実施した。 令和4年度に説明した箇所:15箇所 (令和4年度末までに説明した箇所:152箇所)	—	水道局 水道危機管理室
311	院内の案内・介助支援	院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、および四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し、養成講座を実施した後にボランティア登録した方が活動している。	健康福祉・医療	ボランティア登録者	年間活動日数:243日 ボランティア参加者数:延べ1,269人	155	市立病院 総合サポートセンター